

平成29年度

男女共同参画についての  
市民意識調査

報 告 書

平成30年3月

村上市 市民課 生活人権室



# 目次

	頁
I 調査概要	1
II 調査結果	2
1 回答者の属性	2
(1) 居住地区	2
(2) 性別	2
(3) 年齢	2
(4) 職業	3
(5) 婚姻状況	3
(6) 子どもの有無	3
(7) 世帯構成	3
2 男女の平等感について	4
(1) 男女の地位の平等について	4
① 家庭生活の中で	6
② 職場の中で	7
③ 学校教育の場で	8
④ 地域社会の中で	9
⑤ 政治・経済活動の場で	10
⑥ 慣習・しきたりで	11
⑦ 法律や制度の面で	12
3 家庭・結婚生活について	13
(1) 家庭や結婚生活について	13
① 男は仕事、女は家庭を中心にする方がよい	15
② 男の子は男らしく、女の子は女らしくした方がよい	16
③ 男女とも平等に家事・子育てをする方がよい	17
④ 子どもが小さい時は母親が子育てに専念した方がよい	18
⑤ 女性が仕事を持つのはよいが、家事・子育てはきちんとすべきである	19
⑥ 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	20
⑦ 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	21
⑧ 今の社会では離婚すると女性の方が不利である	22
⑨ 結婚願望があっても、様々な理由で結婚できない	23
(2) 理想とする家庭内の仕事の分担	24
① 生活費の確保	25
② 家計の管理	26
③ 家族の介護	27
④ 家庭の大事な問題の決定・将来の生活設計	28
⑤ 炊事・掃除・洗濯	29
⑥ 子育て（教育、しつけ、PTAなどの学校行事）	30

	頁
⑦ 親戚・近所とのつき合い	31
⑧ 町内会や自治会の会合への出席	32
(3) 実際の家庭内の仕事の分担	33
① 生活費の確保	34
② 家計の管理	35
③ 家族の介護	36
④ 家庭の大事な問題の決定・将来の生活設計	37
⑤ 炊事・掃除・洗濯	38
⑥ 子育て（教育、しつけ、PTAなどの学校行事）	39
⑦ 親戚・近所とのつき合い	40
⑧ 町内会や自治会の会合への出席	41
(4) 男性が家事等に積極的に参加していくために必要なこと	42
<b>4 就労について</b>	<b>45</b>
(1) 理想の女性の働き方	45
(2) 現実の女性の働き方	46
(3) 現実と理想が違っている理由	47
(4) 女性が働く環境について	48
① 働く場が多い	49
② 能力発揮の場が多い	50
③ 労働条件が整っている	51
④ 育児施設が整備されている	52
⑤ 昇進・給与等に男女の差別的扱いがない	53
⑥ 結婚・出産退職の圧力等がない	54
⑦ 家族の理解や協力が得やすい	55
(5) 女性が働き続けるために必要なこと	56
<b>5 教育について</b>	<b>59</b>
(1) 学校生活の中で経験したこと	59
(2) 学校生活以外の場で経験したこと	61
<b>6 地域活動等について</b>	<b>63</b>
(1) 地域団体の役員に男性が多い原因	63
<b>7 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について</b>	<b>65</b>
(1) 希望のワーク・ライフ・バランス	65
(2) 現実の生活状況	66
(3) 男女が共に家事や子育て、地域活動に参画していくために必要なこと	67
<b>8 暴力等について</b>	<b>70</b>
(1) セクシュアル・ハラスメントについて	70
(2) 被害を受けたときの対応	72
(3) 相談しなかった理由	74

	頁
(4) ドメスティック・バイオレンスについて	76
(5) 被害を受けたときの相談経験の有無	78
(6) 被害を受けたときの相談先	79
(7) 相談しなかった理由	81
<b>9 男女共同参画の推進について</b>	<b>83</b>
(1) 法律や制度の認知度	83
① 女性差別撤廃条約	86
② 男女共同参画社会基本法	87
③ 男女雇用機会均等法	88
④ 育児・介護休業法	89
⑤ DV防止法：配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律	90
⑥ 新潟県男女平等社会の形成の推進に関する条例	91
⑦ 村上市男女共同参画計画	92
⑧ ジェンダー（社会的性別）	93
⑨ ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	94
⑩ リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する女性の健康と権利）	95
⑪ 家族経営協定	96
⑫ ハッピー・パートナー企業	97
⑬ 女性活躍推進法（女性の職場生活における活躍の推進に関する法律）	98
⑭ イクボス（従業員や部下の育児参加における活躍の推進に関する法律）	99
⑮ マタニティ・ハラスメント（働く女性が妊娠・出産を理由に職場で受ける嫌がらせ）	100
⑯ パタニティ・ハラスメント（育児のため休暇などを希望する男性が、職場で受ける嫌がらせ）	101
⑰ ワーク・ライフ・バランス（家庭と生活の調和）	102
(2) 男女共同参画社会推進のために、今後市が力を入れていくべきこと	103
<b>10 自由記入の結果</b>	<b>106</b>

(付) 調査票



# I 調査概要

## 1 調査方法

- (1) 調査地域 村上市全域
- (2) 調査対象 村上市在住の満 20 歳以上の男女
- (3) 標本数 2,000 人
- (4) 標本抽出法 住民基本台帳より無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送により調査票・返信用封筒を配布し、郵送により回収
- (6) 調査期間 平成 29 年夏期 (6 月～8 月)

## 2 調査項目

- (1) 回答者の属性
- (2) 男女の平等感について
- (2) 家庭・結婚生活について
- (3) 在宅介護について
- (4) 就労について
- (5) 教育について
- (6) 地域活動等について
- (7) ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和) について
- (8) 暴力等について
- (9) 男女共同参画の推進について
- (10) 自由記入の結果

## 3 回収結果

- (1) 有効回収票 838 票 (女性 452 票、男性 376 票、性別不明 10 票)
- (2) 有効回収率 41.9%

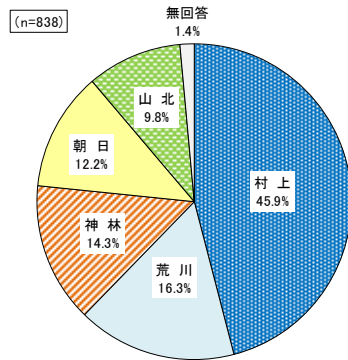
### ◇ 本報告書の利用にあたっての注意点

- 1. 本文及び図表中の回答者の割合は、百分比 (%) で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入してある。そのため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。
- 2. 図表中の「n (number of cases の略)」とは、回答者総数 (該当者質問では該当者数) のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- 3. 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。
- 4. 回答数が極端に少ない (概ねに 10 以下の) 属性については分析対象外とした。

## Ⅱ 調査結果

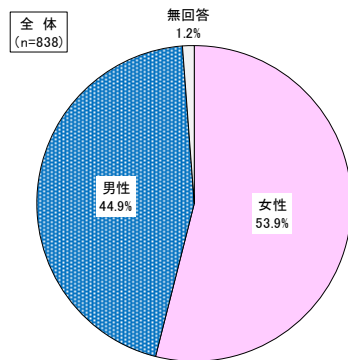
### 1 回答者の属性

F 1 あなたは、どの地区にお住まいですか。



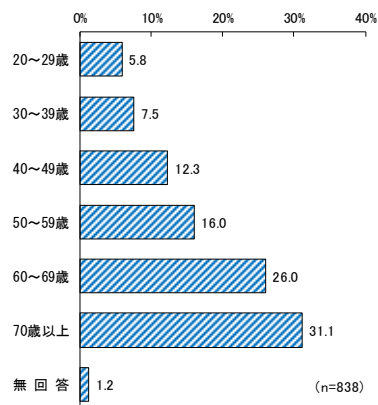
居住地域		
回答者総数	100.0%	(838人)
村上	45.9%	(385人)
荒川	16.3%	(137人)
神林	14.3%	(120人)
朝日	12.2%	(102人)
山北	9.8%	(82人)
無回答	1.4%	(12人)

F 2 あなたの性別を教えてください。



性別		
回答者総数	100.0%	(838人)
女性	53.9%	(452人)
男性	44.9%	(376人)
無回答	1.2%	(10人)

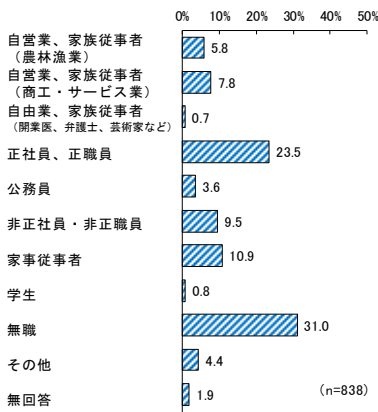
F 3 あなたの年齢を教えてください。



年齢別		
回答者総数	100.0%	(838人)
20~29歳	5.8%	(49人)
30~39歳	7.5%	(63人)
40~49歳	12.3%	(103人)
50~59歳	16.0%	(134人)
60~69歳	26.0%	(218人)
70歳以上	31.1%	(261人)
無回答	1.2%	(10人)

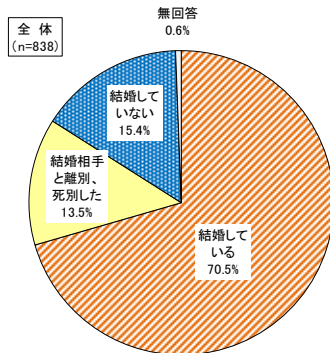


F 4 あなたの職業を教えてください。



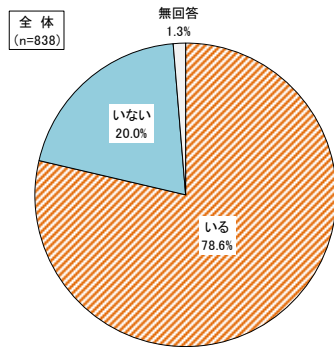
職業別	
回答者総数	100.0% (838人)
自営業・家族従事者 (農林漁業)	5.8% (49人)
自営業・家族従事者 (農工・サービス業)	7.8% (65人)
自由業・家族従事者 (開業医、弁護士、芸術家など)	0.7% (6人)
正社員・正職員	23.5% (197人)
公務員	3.6% (30人)
非正社員・非正職員	9.5% (80人)
家事従事者	10.9% (91人)
学生	0.8% (7人)
無職	31.0% (260人)
その他	4.4% (37人)
無回答	1.9% (16人)

F 5 結婚 (事実婚を含む) されていますか。



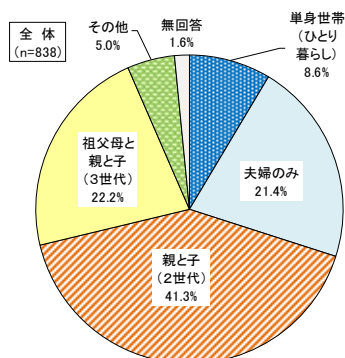
婚姻状況	
回答者総数	100.0% (838人)
結婚している	70.5% (591人)
結婚相手と離別、死別した	13.5% (113人)
結婚していない	15.4% (129人)
無回答	0.6% (5人)

F 6 あなたにはお子さんがいますか。



子どもの有無	
回答者総数	100.0% (838人)
いる	78.6% (659人)
いない	20.0% (168人)
無回答	1.3% (11人)

F 7 あなたのご家族の構成は、次のうちどれにあてはまりますか。



世帯構成	
回答者総数	100.0% (838人)
単身世帯 (ひとり暮らし)	8.6% (72人)
夫婦のみ	21.4% (179人)
親子 (2世代)	41.3% (346人)
祖父母と親子 (3世代)	22.2% (186人)
その他	5.0% (42人)
無回答	1.6% (13人)

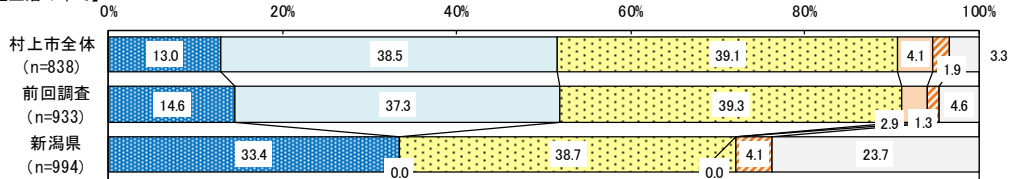
## 2 男女の平等感について

### (1) 男女の地位の平等について

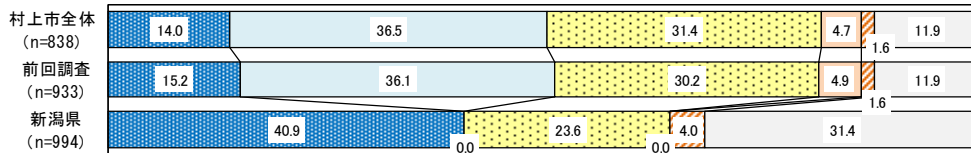
問1 あなたは、男女の地位の平等についてどのように思われますか。  
それぞれの項目について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。

■ 男性の方が優遇されている □ どちらかといえば男性の方が優遇されている □ 平等である □ どちらかといえば女性の方が優遇されている ■ 女性の方が優遇されている □ 無回答 (わからないを含む)

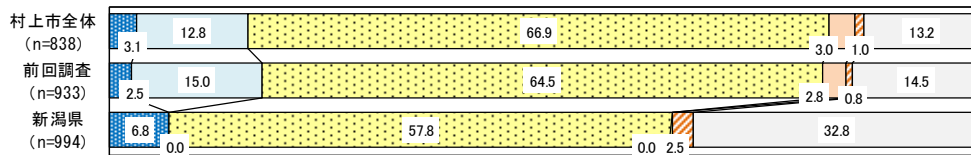
#### 【ア】家庭生活の中で



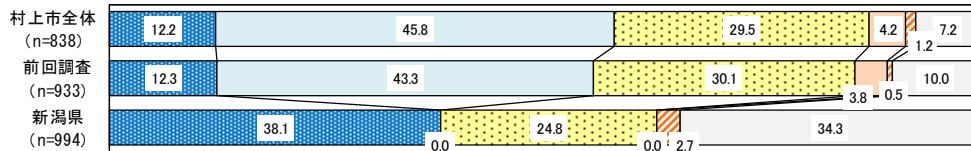
#### 【イ】職場の中で



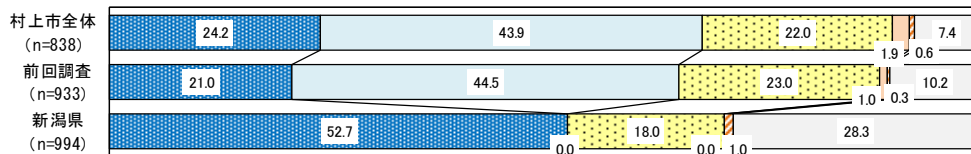
#### 【ウ】学校教育の場で



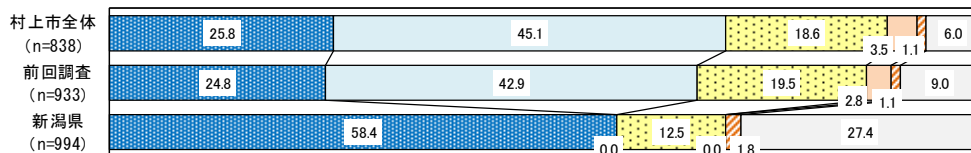
#### 【エ】地域社会の中で



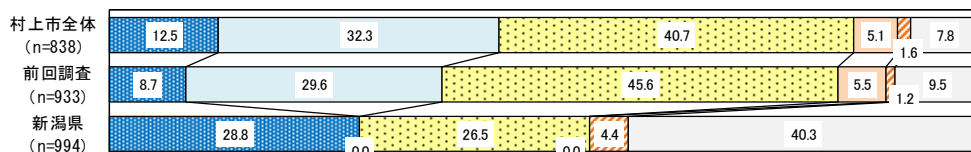
#### 【オ】政治・経済活動の場で



#### 【カ】慣習・しきたりで



#### 【キ】法律や制度面で



※新潟県調査：選択肢に「どちらかといえば・・・」は設定されていない  
選択肢に「わからない」を設定している

## <全体結果>

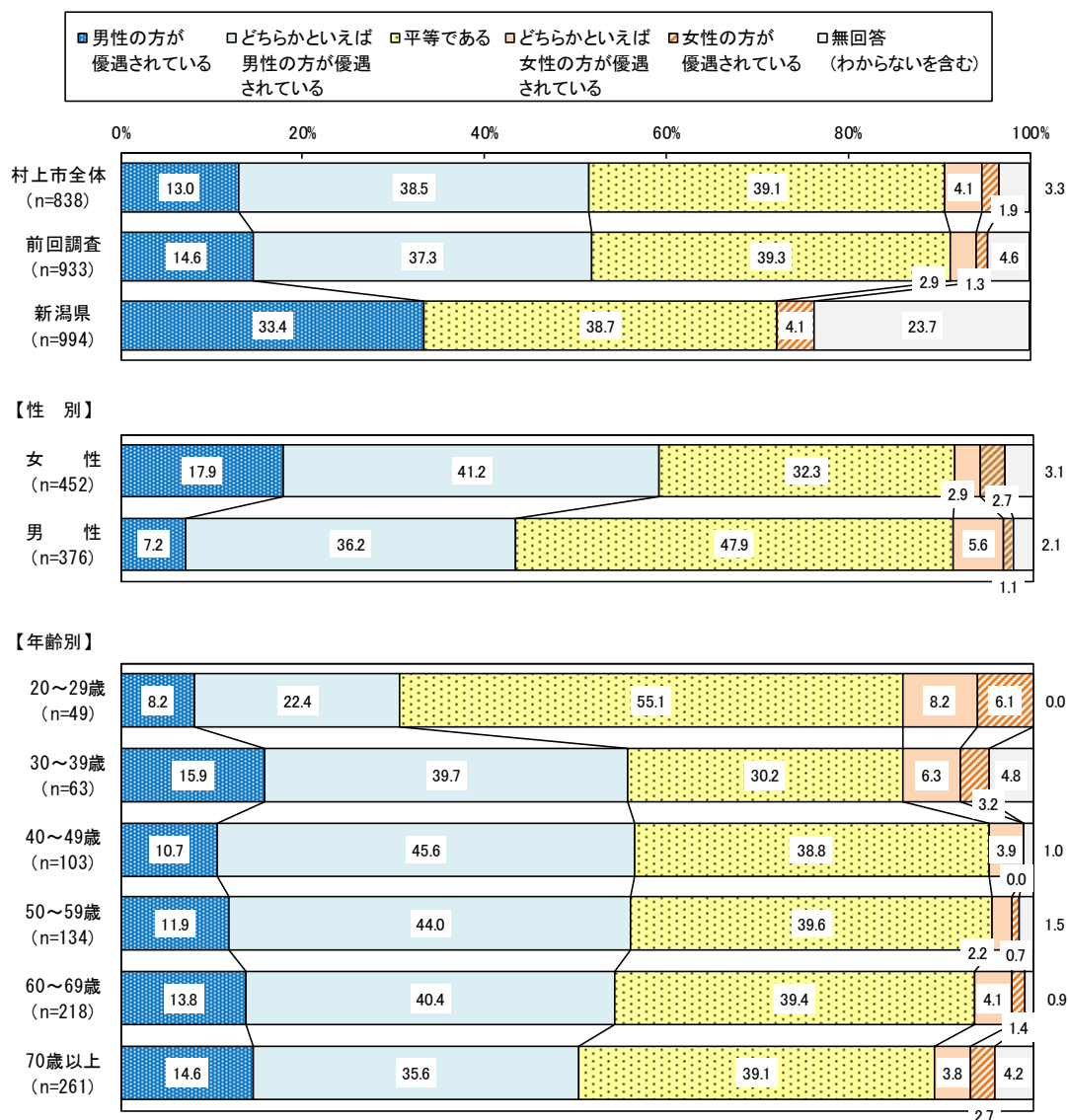
男女の地位の平等感について7つの項目で調査した。

「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている』計の割合は、【カ）慣習・しきたりで】で最も高く、7割を超えている。これに【オ）政治・経済活動の場で】が7割弱で続く。

一方、「平等である」と感じている項目は、【ウ）学校教育の場で】が7割弱で最も高く、『男性が優遇されている』計の割合を大きく上回っている。

		「男性が優遇されている」計	「女性が優遇されている」計
ア) 家庭生活の中で	村上市全体	51.6%	6.0%
	前回調査(平成27年度)	51.9%	4.2%
	新潟県(平成27年度)	33.4%	4.1%
イ) 職場の中で	村上市全体	50.5%	6.2%
	前回調査(平成27年度)	51.3%	6.5%
	新潟県(平成27年度)	40.9%	4.0%
ウ) 学校教育の場で	村上市全体	15.9%	3.9%
	前回調査(平成27年度)	17.5%	3.5%
	新潟県(平成27年度)	6.8%	2.5%
エ) 地域社会の中で	村上市全体	58.0%	5.4%
	前回調査(平成27年度)	55.6%	4.3%
	新潟県(平成27年度)	38.1%	2.7%
オ) 政治・経済活動の場で	村上市全体	68.1%	2.5%
	前回調査(平成27年度)	65.5%	1.3%
	新潟県(平成27年度)	52.7%	1.0%
カ) 慣習・しきたりで	村上市全体	70.9%	4.5%
	前回調査(平成27年度)	67.6%	3.9%
	新潟県(平成27年度)	58.4%	1.8%
キ) 法律や制度面で	村上市全体	44.9%	6.7%
	前回調査(平成27年度)	38.3%	6.6%
	新潟県(平成27年度)	28.8%	4.4%

## ① 家庭生活の中で



### <全体結果>

家庭生活においては、『男性が優遇されている』計の割合が、半数強を占めている。一方、「平等である」と感じている人も38.5%と、約4割を占めている。

前回調査と比べ、特に大きな差は見られない。

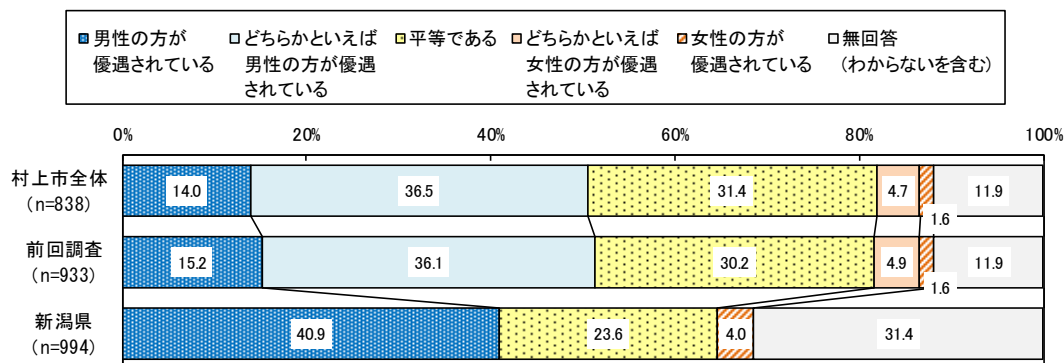
### <性別・年齢別>

男女別では、『男性が優遇されている』と感じている人は、女性が6割弱で男性を大きく上回っている。一方、「平等である」と感じている人は、男性の方が高くなっている。

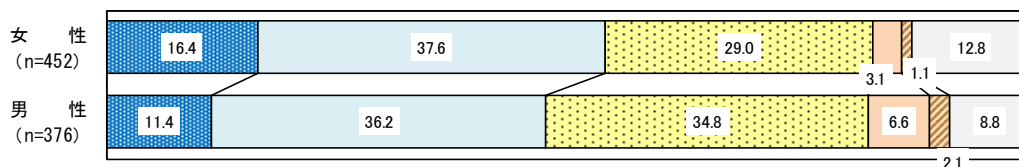
年齢別では、『男性が優遇されている』と感じている人は40歳代で最も高くなっている。

「平等である」と感じている人は、20歳代で高く、半数を超えている。

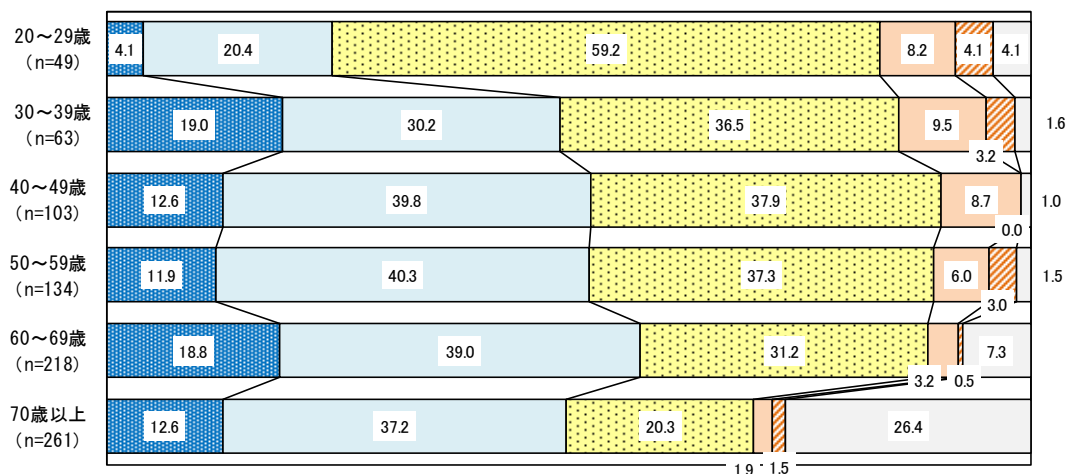
## ② 職場の中で



### 【性別】



### 【年齢別】



### <全体結果>

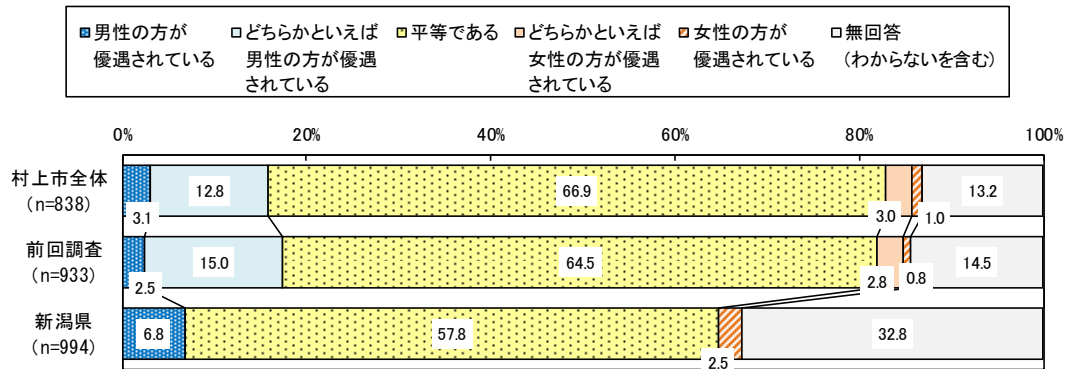
職場においては、『男性が優遇されている』計の割合が半数強となっている。  
 前回調査と比べると、特に大きな差は見られない。

### <性別・年齢別>

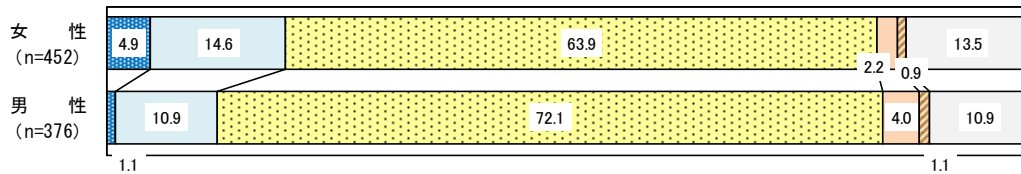
男女別では、『男性が優遇されている』と感じている人は、女性が半数強で男性よりも高くなっている。一方、『平等である』と感じている人は、男性の方が高くなっている。

年齢別では、『男性が優遇されている』と感じている人は、60歳代で高く、6割弱を占めている。「平等である」と感じている人は、20歳代で高く、6割弱を占めている。

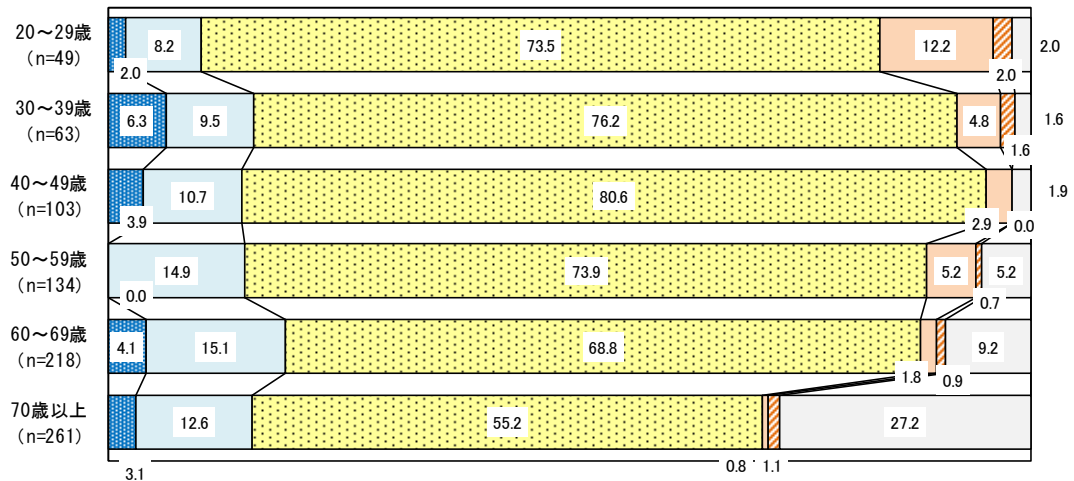
### ③ 学校教育の場で



#### 【性別】



#### 【年齢別】



#### <全体結果>

学校教育においては、「平等である」と感じている人が多く、7割弱を占めている。一方、『男性が優遇されている』計の割合は1割台となっている。前回調査と比べると、特に大きな差は見られない。

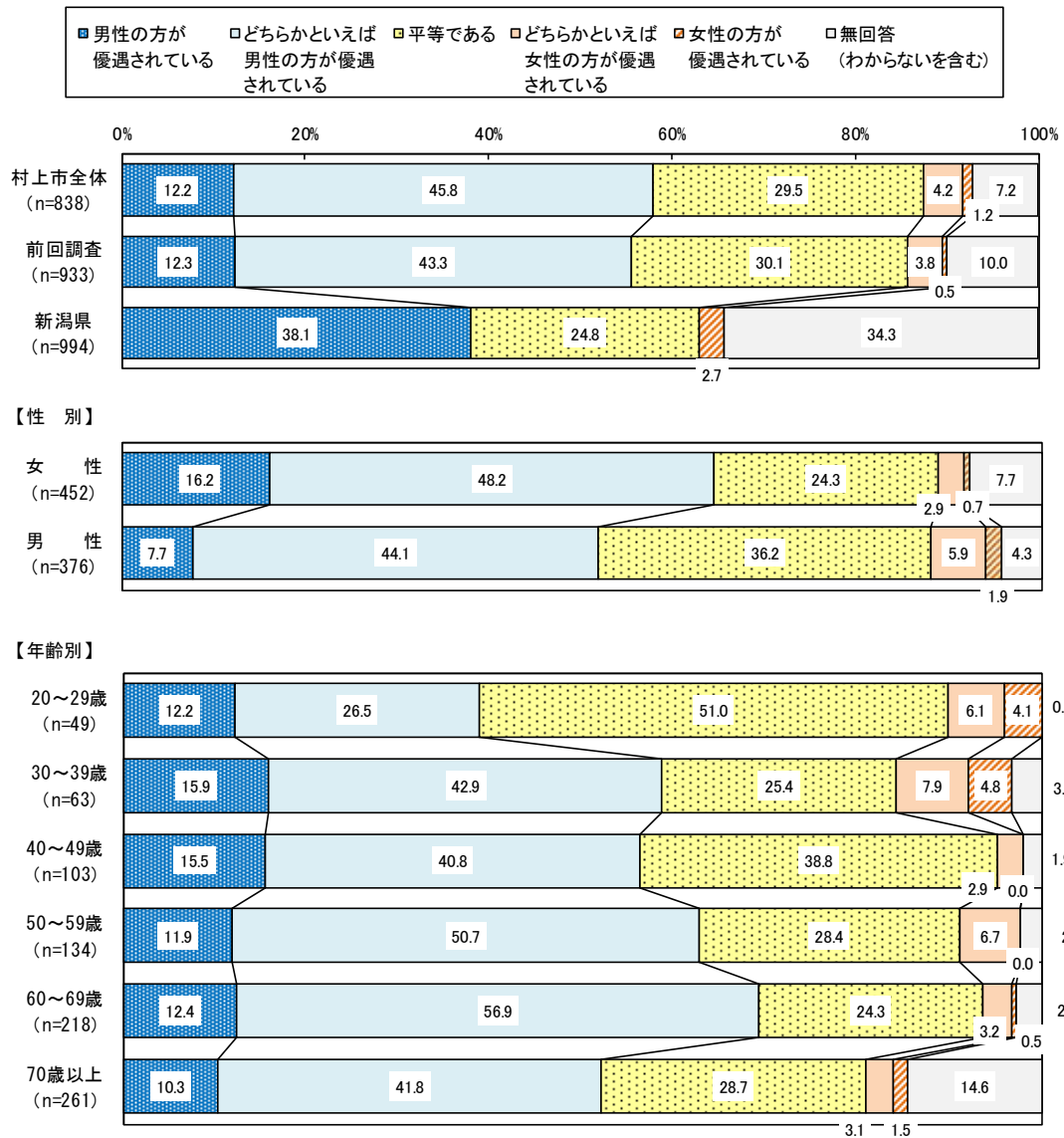
#### <性別・年齢別>

男女別では、「平等である」と感じている人が、男性が7割強で、女性よりも高くなっている。

年齢別では、「平等である」と感じている人は、40歳代で高く、8割を超えている。



#### ④ 地域社会の中で



#### <全体結果>

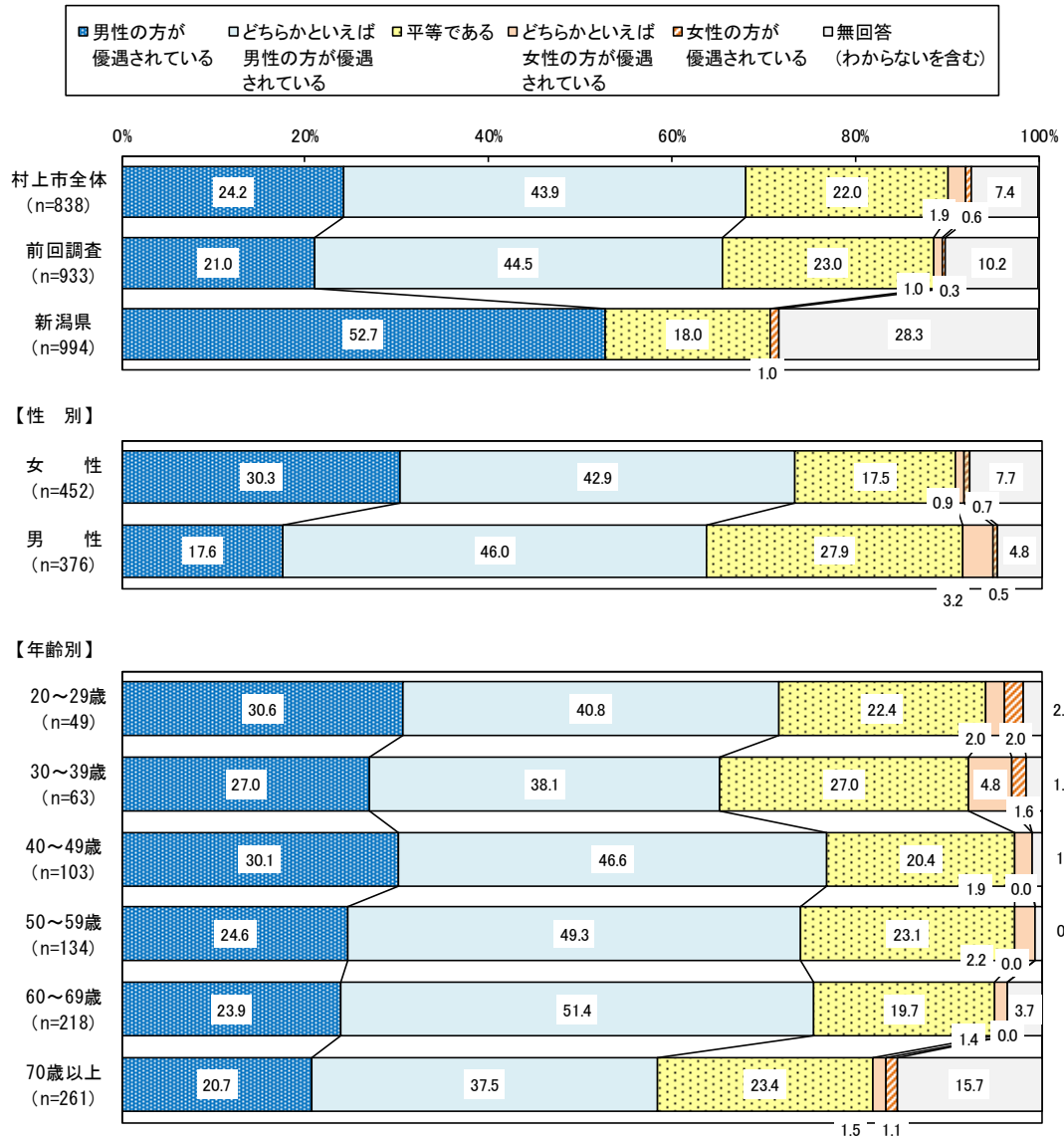
地域社会においては、『男性が優遇されている』計の割合が6割弱となっている。前回調査と比べると、特に大きな差は見られない。

#### <性別・年齢別>

男女別では、『男性が優遇されている』と感じている人は、女性が6割強と高く、男性を上回っている。「平等である」と感じている人は、男性の方が高くなっている。

年齢別では、『男性が優遇されている』と感じている人は、60歳代で最も高く、7割弱となっている。「平等である」と感じている人は、20歳代で最も高く、半数を超えている。

## ⑤ 政治・経済活動の場で



### <全体結果>

政治・経済活動においては、『男性が優遇されている』計の割合が高く、7割強を占めている。

前回調査と比べると、特に大きな差は見られない。

### <性別・年齢別>

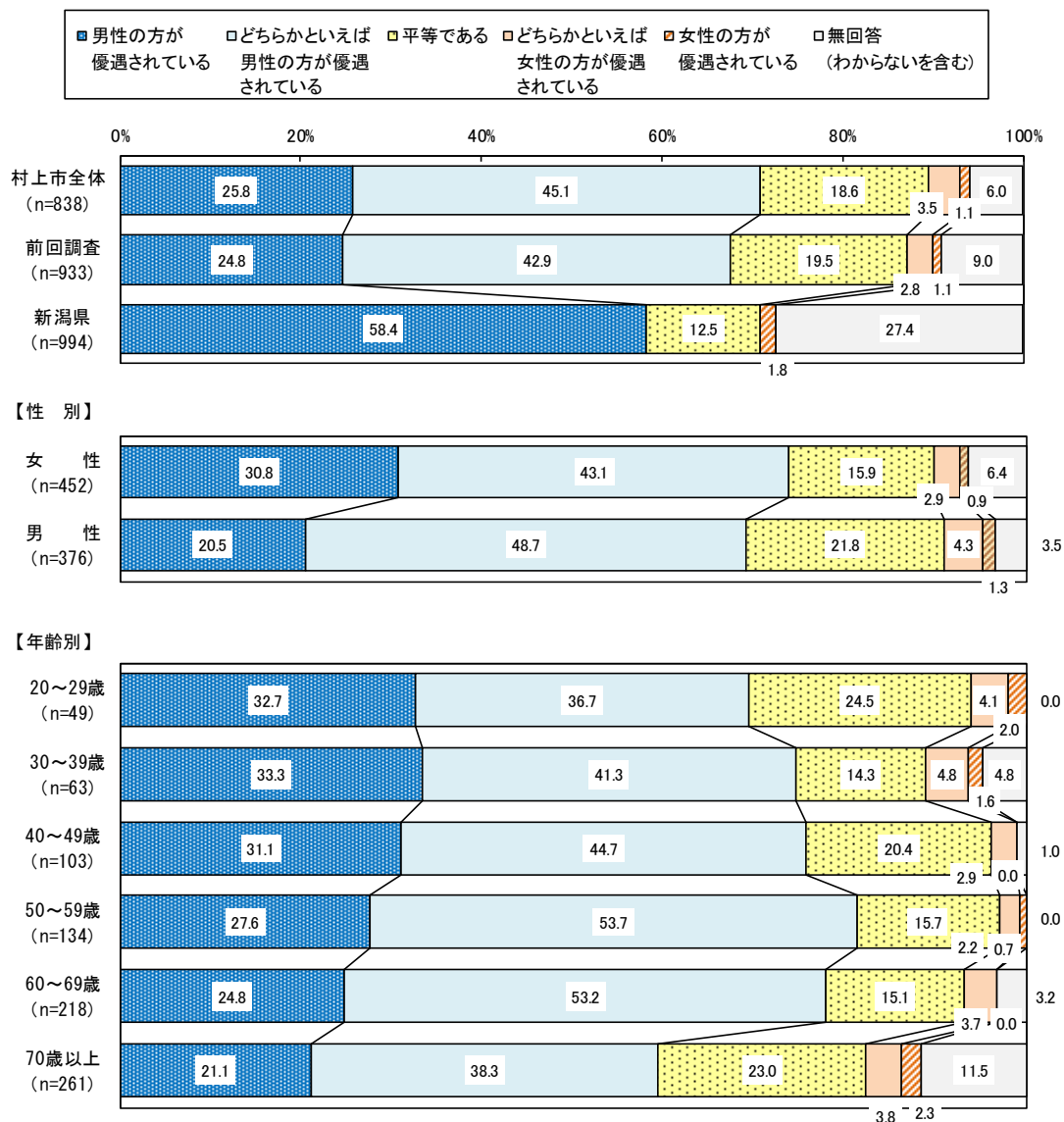
男女別では、『男性が優遇されている』と感じている人は、女性が7割強と高く、男性を上回っている。一方、「平等である」と感じている人は、男性が3割弱と高く、女性を上回っている。

年齢別では、『男性が優遇されている』と感じている人は、40歳代と60歳代が高く、8割弱となっている。

「平等である」と感じている人は、30歳代で最も高く、3割弱となっている。



## ⑥ 慣習・しきたりで



### <全体結果>

慣習・しきたりについては、『男性が優遇されている』計の割合が7割を超えている。前回調査と比べると、『男性が優遇されている』計の割合はやや増加している。

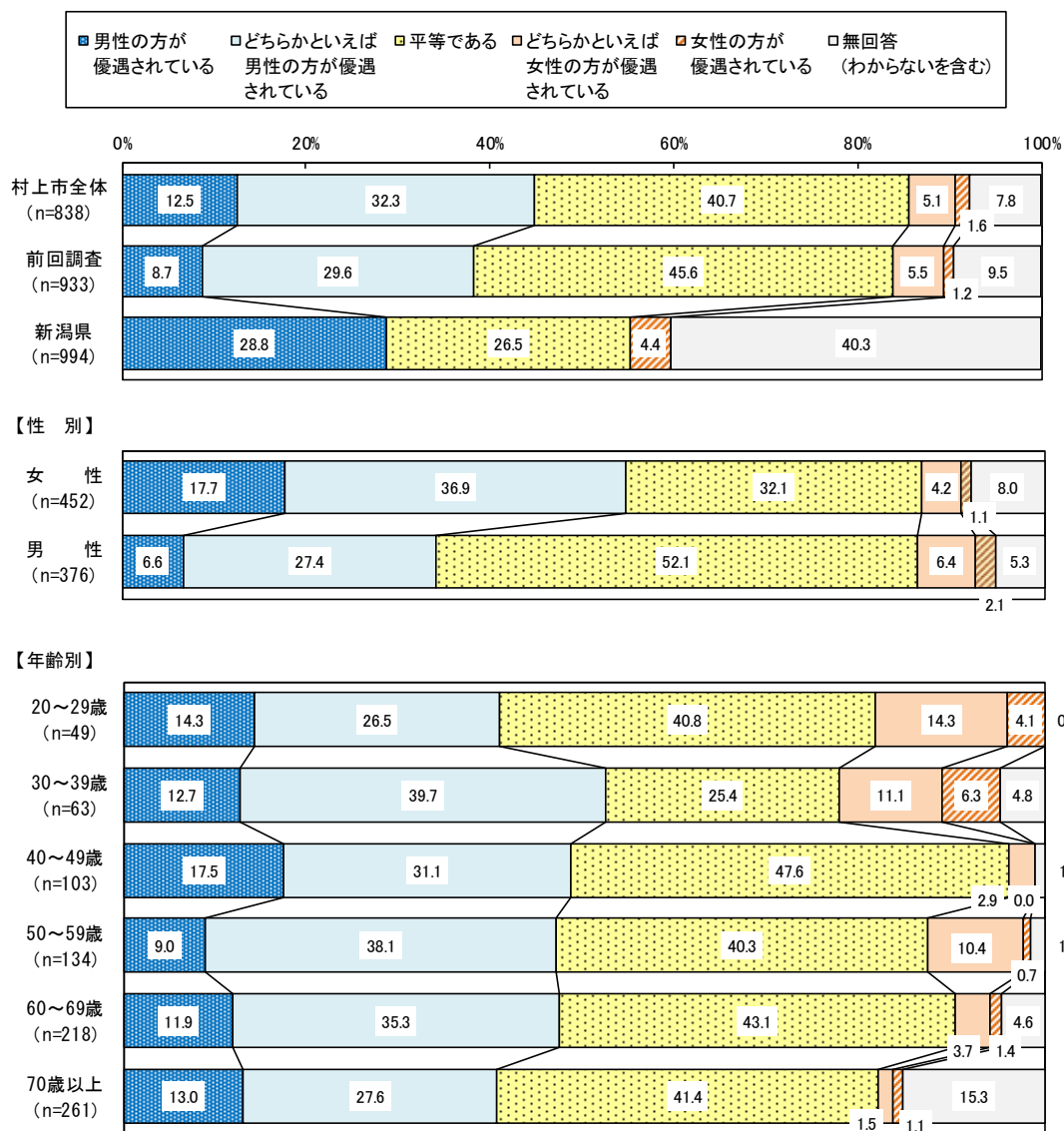
### <性別・年齢別>

男女別では、『男性が優遇されている』と感じている人は、女性が7割強と高く、男性を上回っている。一方、「平等である」と感じている人は、男性が2割強で、女性よりも高くなっている。

年齢別では、『男性が優遇されている』と感じている人は、50歳代で高く、この年齢層のみ8割を超えた。

「平等である」と感じている人は、20歳代が最も高く、全体の約4分の1を占めている。

## ⑦ 法律や制度の面で



### <全体結果>

法律や制度の面では、『男性が優遇されている』計の割合が4割を超えている。

前回調査と比べると、『男性が優遇されている』計の割合は6.5ポイント増加し、「平等である」と感じている人は、4.9ポイント減少している。

### <性別・年齢別>

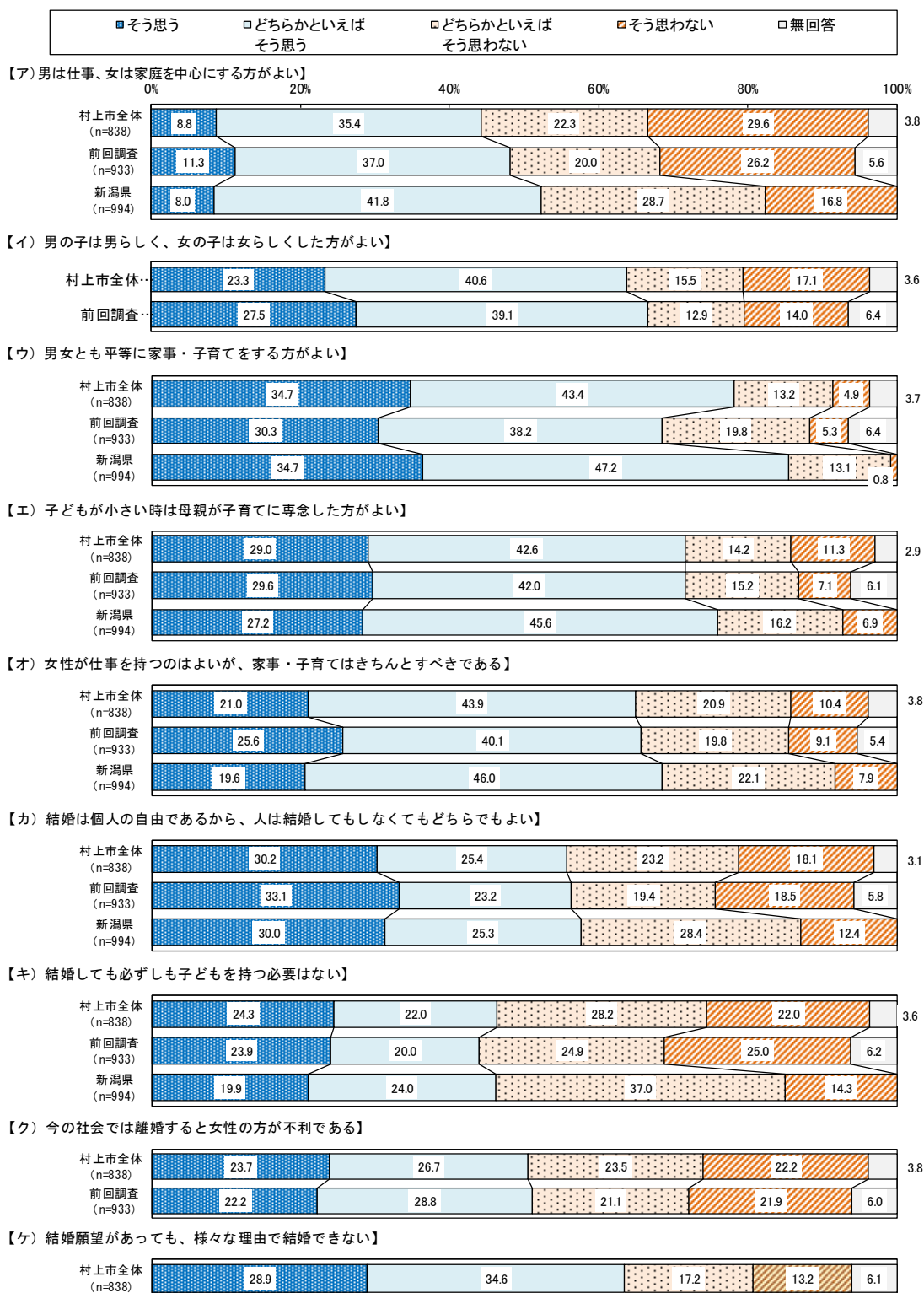
男女別では、『男性が優遇されている』と感じている人は、女性が半数強を占め、男性を上回っている。一方、「平等である」と感じている人は、男性が半数強を占め、女性を上回っている。

年齢別では、『男性が優遇されている』と感じている人は、30歳代が高く、半数強を占めている。「平等である」と感じている人は、40歳代が高く、半数弱となっている。

### 3 家庭・結婚生活について

#### (1) 家庭や結婚生活について

問2 あなたの家庭のことや結婚などに対する考え方についておたずねします。  
あなたの考え方に最も近いものをお選びください。



## <全体結果>

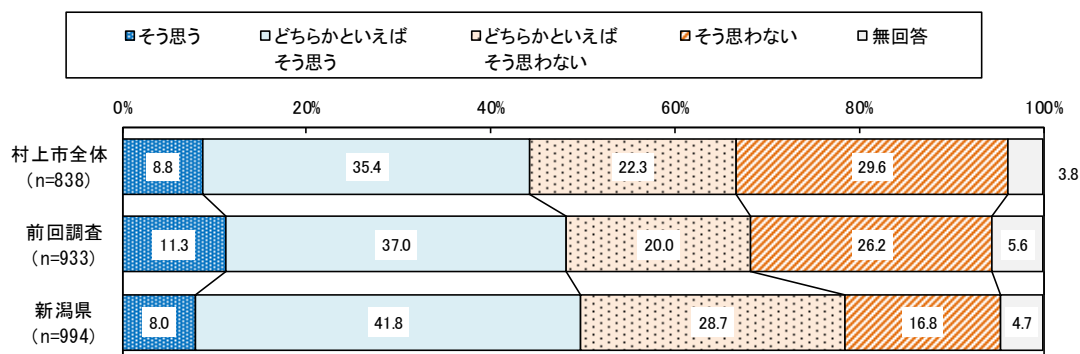
家庭や結婚生活について9つの項目で調査した。

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』計の割合をみると、【ウ）男女とも平等に家事・子育てをする方がよい】が最も高く、8割弱となっている。以下、【エ）子どもが小さい時は母親が子育てに専念した方がよい】が7割台、【オ）女性が仕事を持つのはよいが、家事・子育てはきちんとすべきである】、【イ）男の子は男らしく、女の子は女らしくした方がよい】、【ケ）結婚願望があっても、様々な理由で結婚できない】が6割台、【カ）結婚は個人の自由であるから、人は結婚してもしなくてもどちらでもよい】と【ク）今の社会では離婚すると女性の方が不利である】が5割台、【キ）結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない】と【ア）男は仕事、女は家庭を中心にする方がよい】が4割台で続いている。

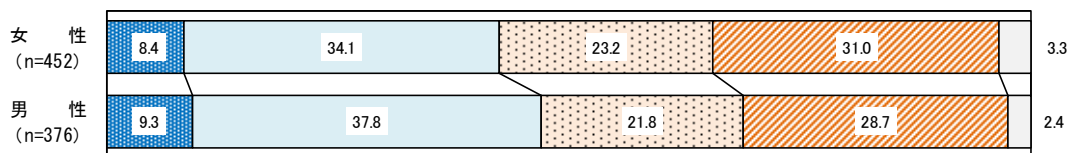
【ア）男は仕事、女は家庭を中心にする方がよい】と【キ）結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない】の2項目は、「思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『思わない』計の割合が、『思う』計の割合を上回っている。

		「思う」計	「思わない」計
ア) 男は仕事、 女は家庭を中心にする方がよい	村上市全体	44.3%	51.9%
	前回調査(平成27年度)	48.2%	46.2%
	新潟県(平成27年度)	49.8%	45.5%
イ) 男の子は男らしく、 女の子は女らしくした方がよい	村上市全体	63.8%	32.6%
	前回調査(平成27年度)	66.7%	26.9%
	新潟県(平成27年度)	66.7%	26.9%
ウ) 男女とも平等に 家事・子育てをする方がよい	村上市全体	78.2%	18.1%
	前回調査(平成27年度)	68.5%	25.1%
	新潟県(平成27年度)	81.9%	13.9%
エ) 子どもが小さい時は母親が子育てに 専念した方がよい	村上市全体	71.6%	25.5%
	前回調査(平成27年度)	71.6%	22.3%
	新潟県(平成27年度)	72.8%	23.1%
オ) 女性が仕事を持つのはよいが、 家事・子育てはきちんとすべきである	村上市全体	64.9%	31.3%
	前回調査(平成27年度)	65.7%	28.9%
	新潟県(平成27年度)	65.6%	30.0%
カ) 結婚は個人の自由であるから、 人は結婚してもしなくても どちらでもよい	村上市全体	55.6%	41.3%
	前回調査(平成27年度)	56.3%	37.9%
	新潟県(平成27年度)	55.3%	40.8%
キ) 結婚しても必ずしも 子どもを持つ必要はない	村上市全体	46.3%	50.1%
	前回調査(平成27年度)	43.9%	49.8%
	新潟県(平成27年度)	43.9%	51.3%
ク) 今の社会では離婚すると 女性の方が不利である	村上市全体	50.5%	45.7%
	前回調査(平成27年度)	51.0%	43.0%
ケ) 結婚願望があっても、 様々な理由で結婚できない	村上市全体	63.5%	30.4%

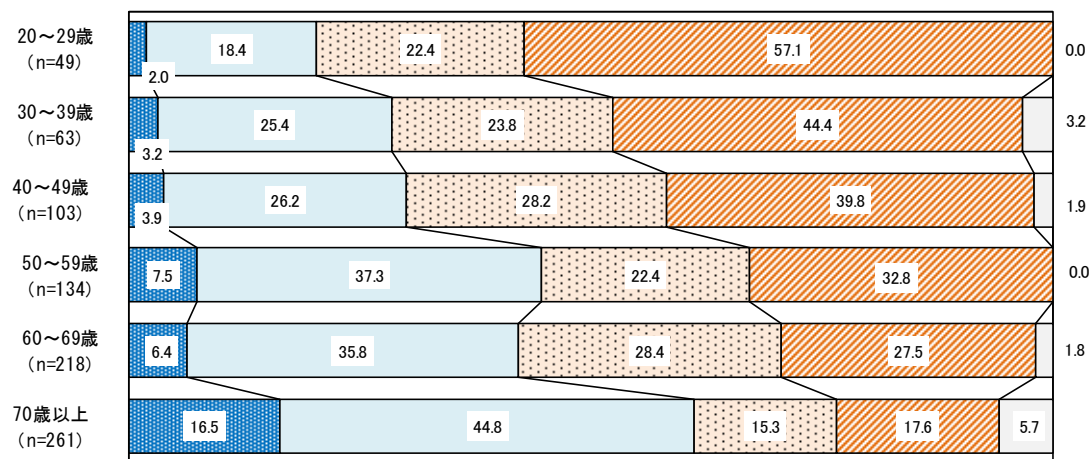
## ① 男は仕事、女は家庭を中心にする方がよい



### 【性別】



### 【年齢別】



### <全体結果>

【男は仕事、女は家庭を中心にする方がよい】については、『思う』計の割合が、『思わない』計の割合を7.6ポイント下回った。

『思う』計の割合は、新潟県の結果より低く、『思わない』計の割合は、新潟県より高くなっている。

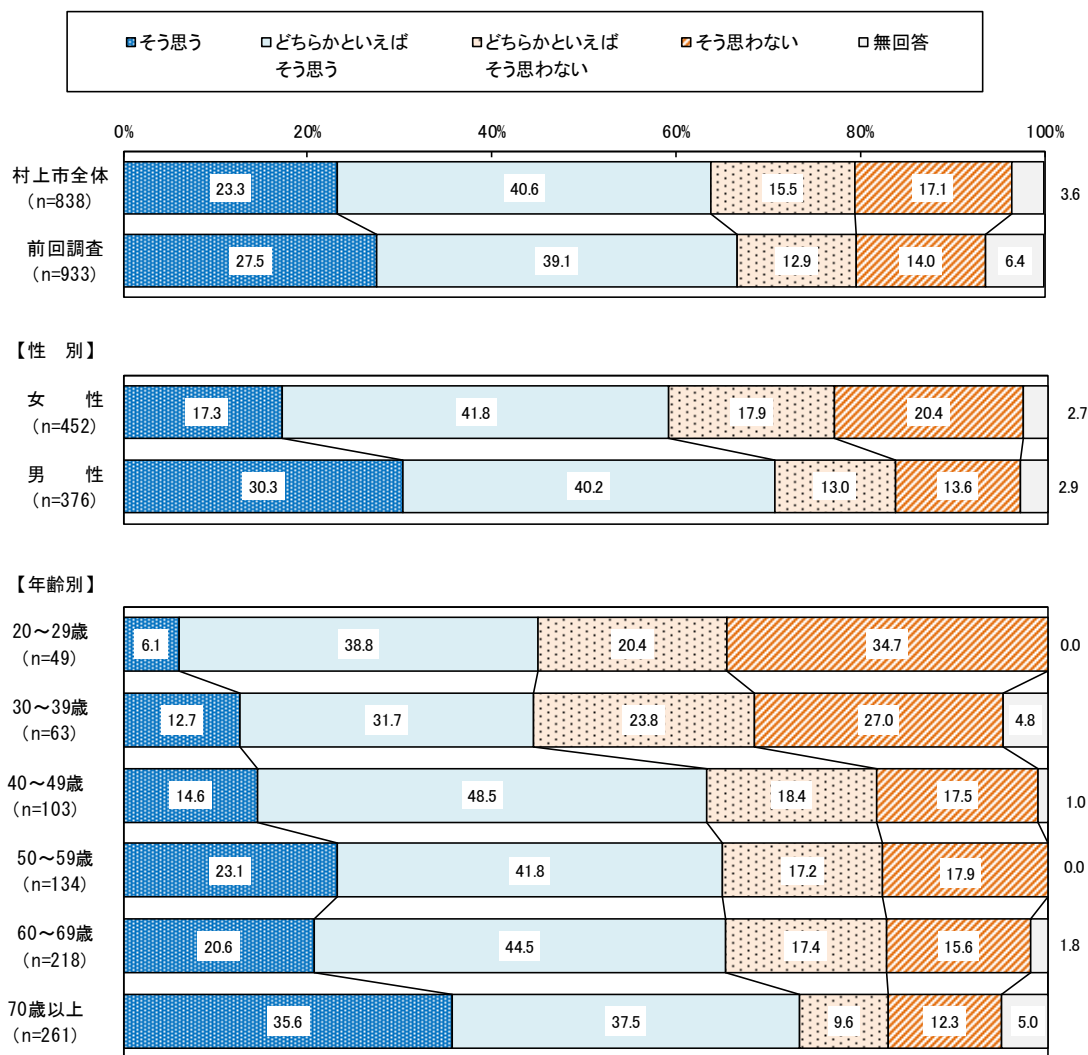
### <性別・年齢別>

男女別では、『思う』計の割合は、男性の方が高く、『思わない』計の割合は、女性の方が高くなっている。

年齢別では、『思う』計の割合は、70歳以上で6割強と高く、20歳代で最も低く2割強となっている。



## ② 男の子は男らしく、女の子は女らしくした方がよい



### <全体結果>

【男の子は男らしく、女の子は女らしくした方がよい】については、『思う』計の割合が、『思わない』計の割合を31.3ポイント上回った。

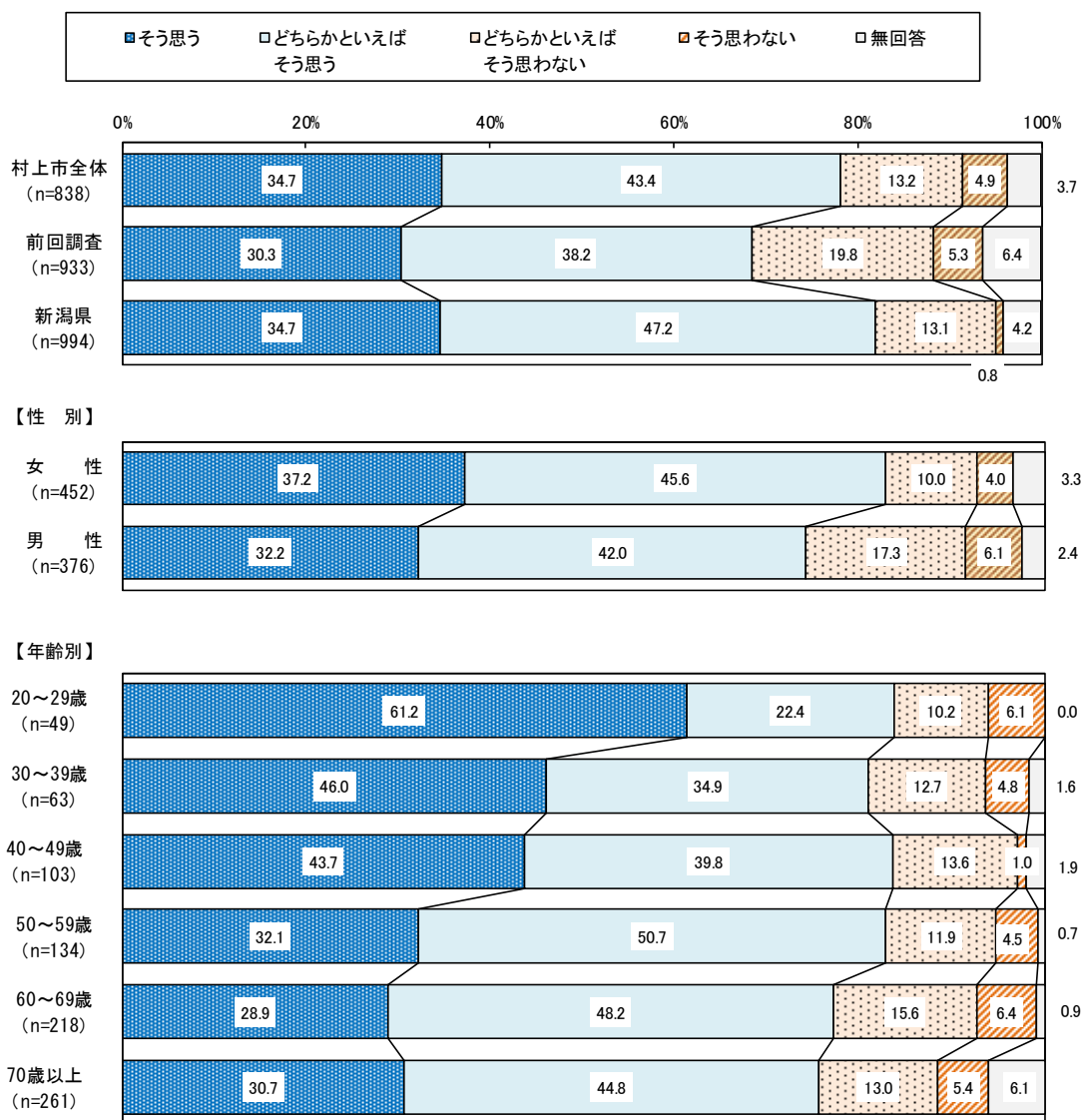
前回調査と比べると、『思わない』計の割合は、5.7ポイント増加している。

### <性別・年齢別>

男女別では、『思う』計の割合は、男性の方が約7割と高く、『思わない』計の割合は、女性の方が4割弱で高くなっている。

年齢別では、『思う』計の割合は、70歳以上が7割強で高く、20歳代、30歳代で低くなっている。

### ③ 男女とも平等に家事・子育てをする方がよい



#### <全体結果>

【男女とも平等に家事・子育てをする方がよい】については、『思う』計の割合が、『思わない』計の割合を60.0ポイント上回った。

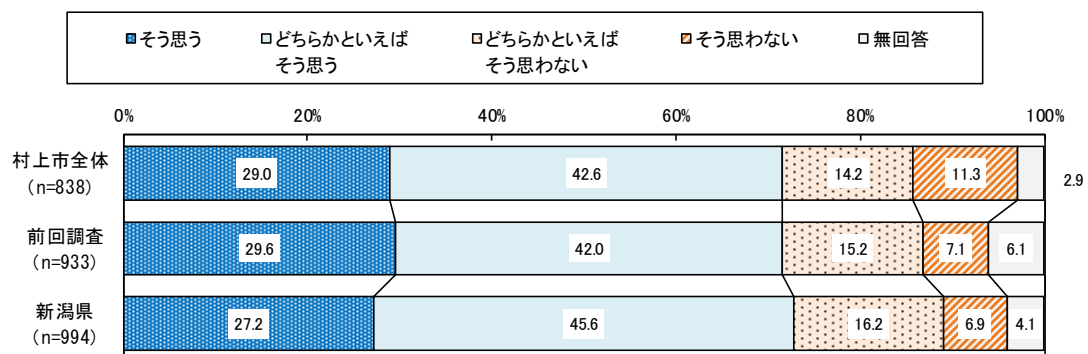
前回調査と比べると、『思う』計の割合は、9.6ポイント増加している。

#### <性別・年齢別>

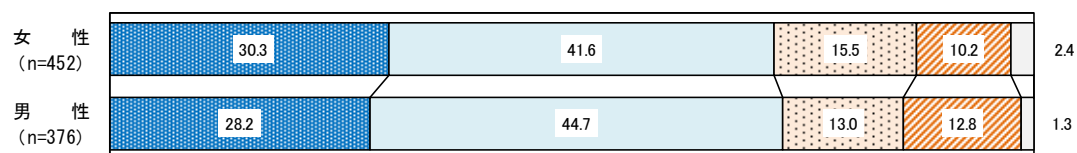
男女別では、『思う』計の割合は、女性の方が8割強で高く、『思わない』計の割合は、男性の方が2割強で高くなっている。

年齢別では、『思う』計の割合は、20歳代と40歳代が高く、60歳代と70歳以上で低くなっている。

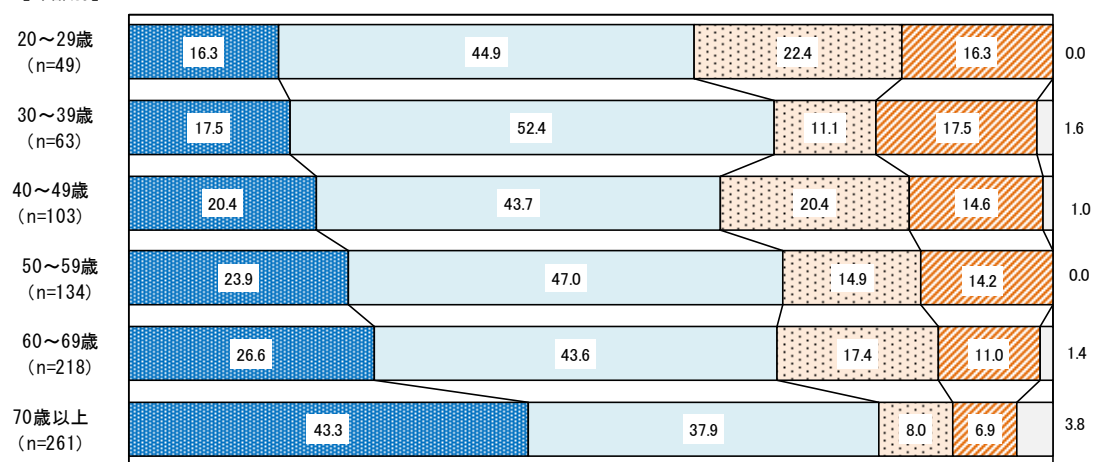
#### ④ 子どもが小さい時は母親が子育てに専念した方がよい



#### 【性別】



#### 【年齢別】



#### <全体結果>

【子どもが小さい時は母親が子育てに専念した方がよい】については、『思う』計の割合が、『思わない』計の割合を46.0ポイント上回った。

前回調査、新潟県と比べると、特に大きな差は見られない。

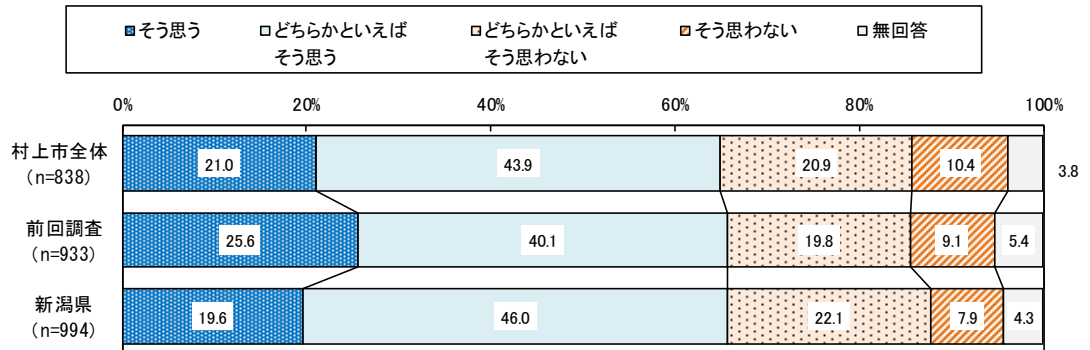
#### <性別・年齢別>

男女別では、『思う』計の割合も、『思わない』計の割合も、男女で大きな差は見られない。

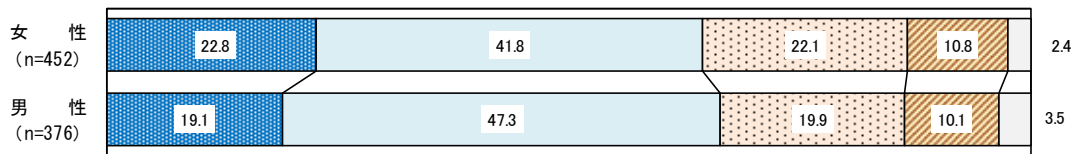
年齢別では、『思う』計の割合は、70歳以上で最も高く、8割を超えている。



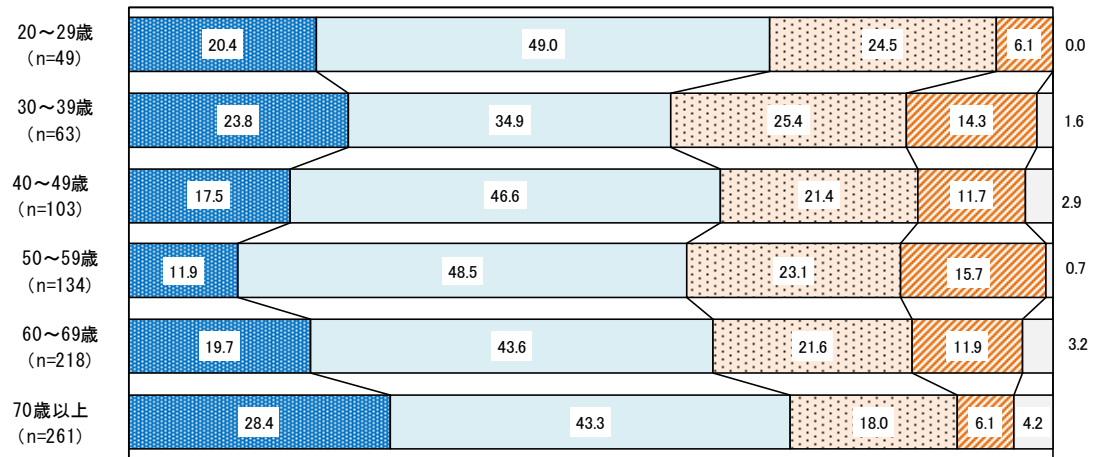
⑤ 女性が仕事を持つのはよいが、家事・子育てはきちんとすべきである



【性別】



【年齢別】



<全体結果>

【女性が仕事を持つのはよいが、家事・育児をきちんとする】については、『思う』計の割合が、『思わない』計の割合を33.6ポイント上回った。

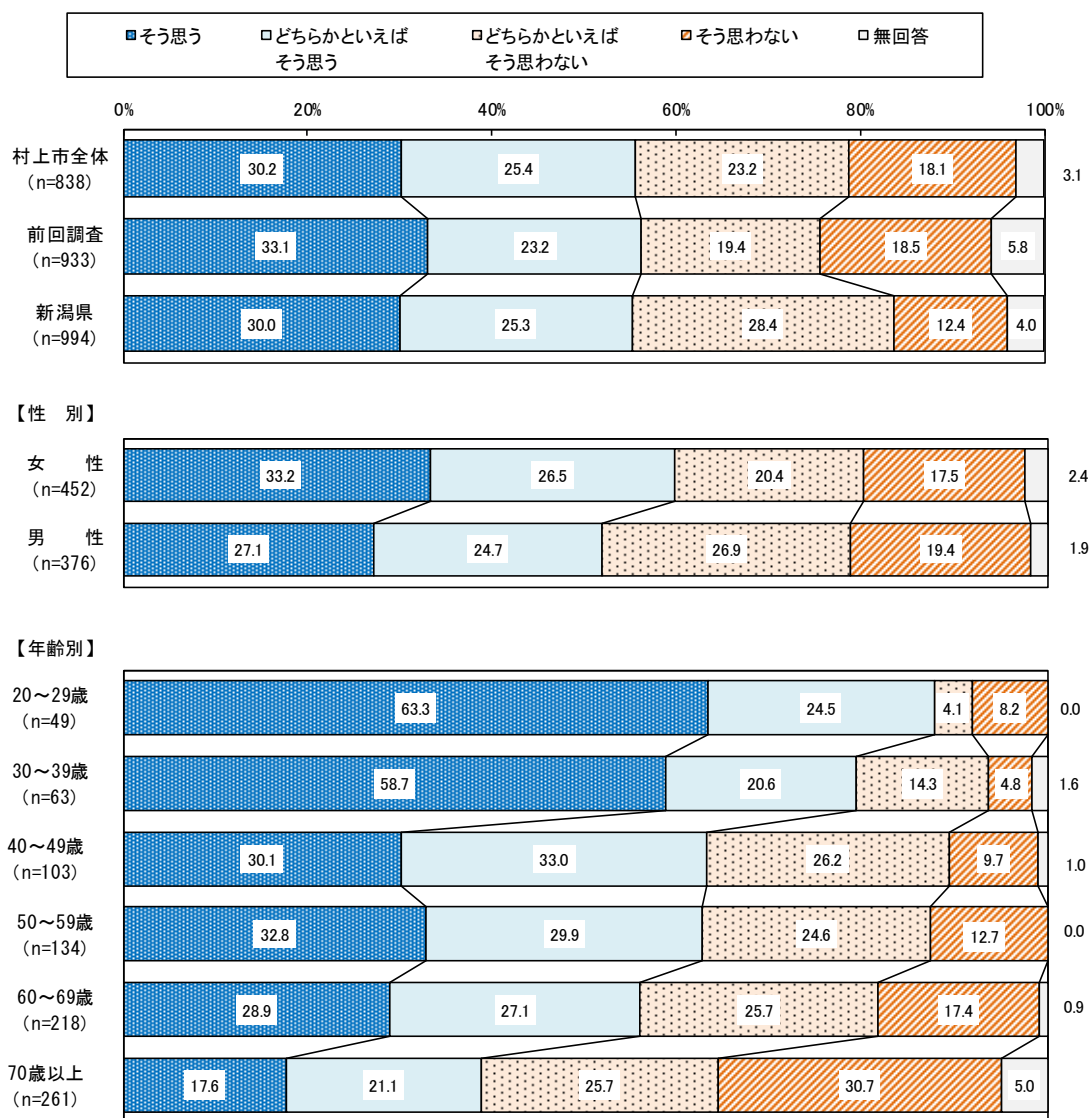
前回調査、新潟県と比べると、特に大きな差は見られない。

<性別・年齢別>

男女別では、『思う』計の割合も、『思わない』計の割合も、男女で大きな差は見られない。

年齢別では、『思う』計の割合は、70歳以上が7割強で最も高く、30歳代で6割弱と低くなっている。

## ⑥ 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい



### <全体結果>

【結婚は個人の自由なので、結婚してもしなくてもどちらでもよい】については、『思う』計の割合が、『思わない』計の割合を14.3ポイント上回った。

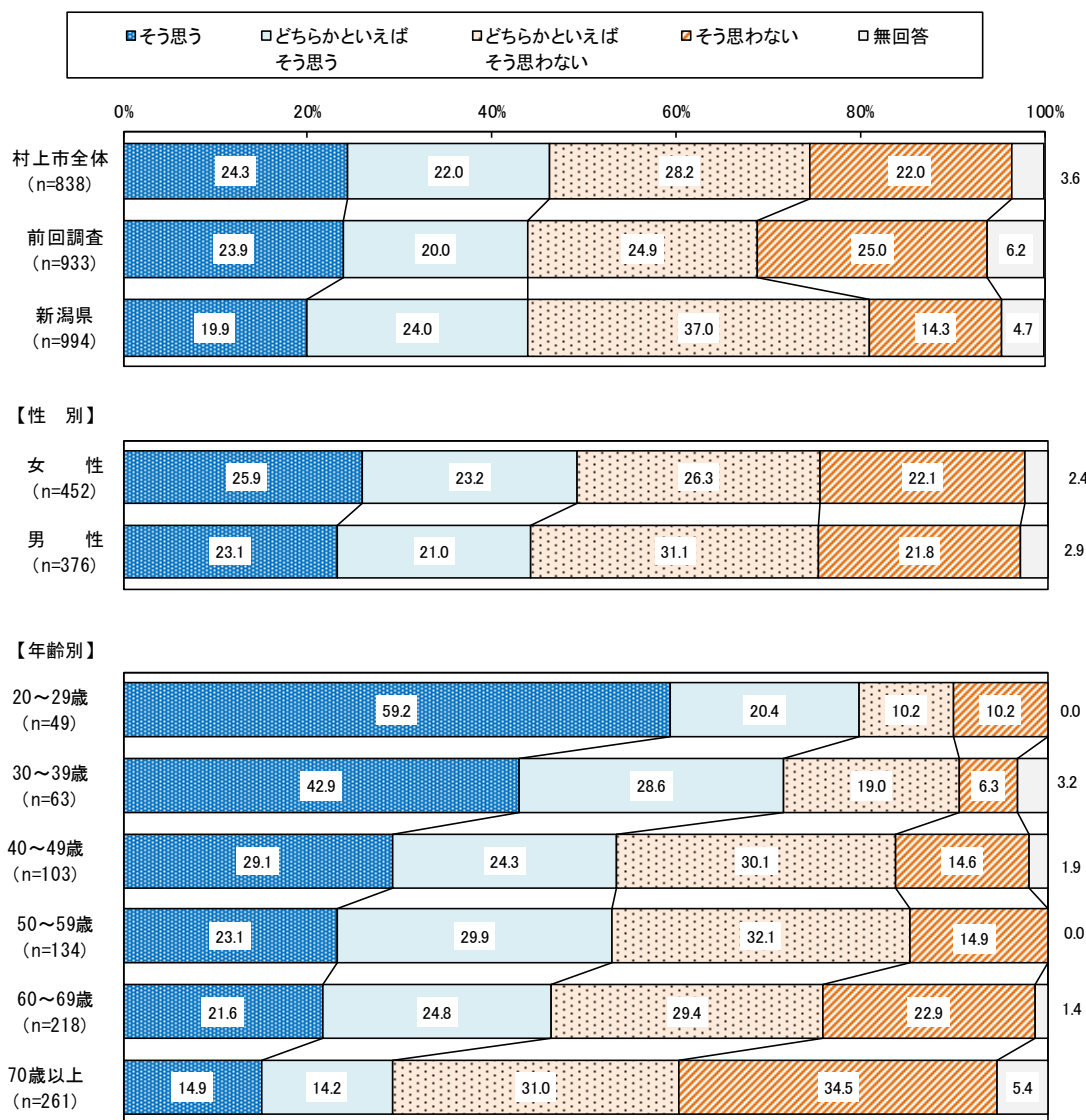
前回調査、新潟県と比べると、特に大きな差は見られない。

### <性別・年齢別・婚姻状況別>

男女別では、『思う』計の割合は、女性の方が6割弱で高く、『思わない』計の割合は、男性の方が半数弱で高くなっている。

年齢別では、『思う』計の割合が20歳代と30歳代で高く、8割前後となっている。また、70歳以上の年齢層では、『思わない』計の割合が『思う』計の割合を上回っている。

## ⑦ 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない



### <全体結果>

【結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない】については、『思う』計の割合と、『思わない』計の割合が拮抗している。

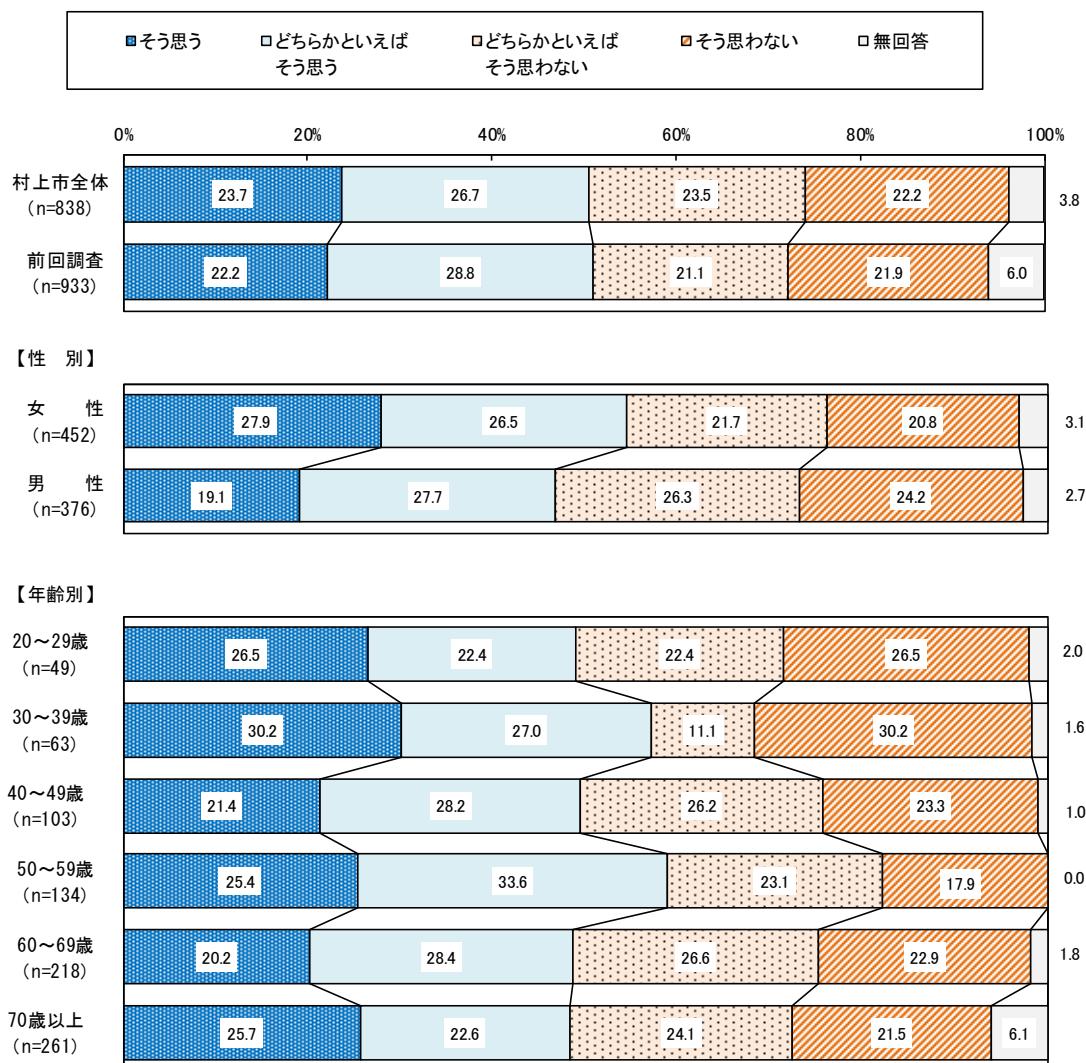
前回調査、新潟県と比べると、特に大きな差は見られない。

### <性別・年齢別>

男女別では、『思う』計の割合は、女性の方がやや高く、『思わない』計の割合は、男性の方が高くなっている。

年齢別では、『思う』計の割合は、20歳代で高く、8割弱を占めている。一方、60歳以上では、『思わない』計の割合が『思う』計の割合を上回っている。

### ⑧ 今の社会では離婚すると女性の方が不利である



#### <全体結果>

【今の社会では離婚すると女性の方が不利である】については、『思う』計の割合が、『思わない』計の割合をやや上回っている。

前回調査と比べると、特に大きな差は見られない。

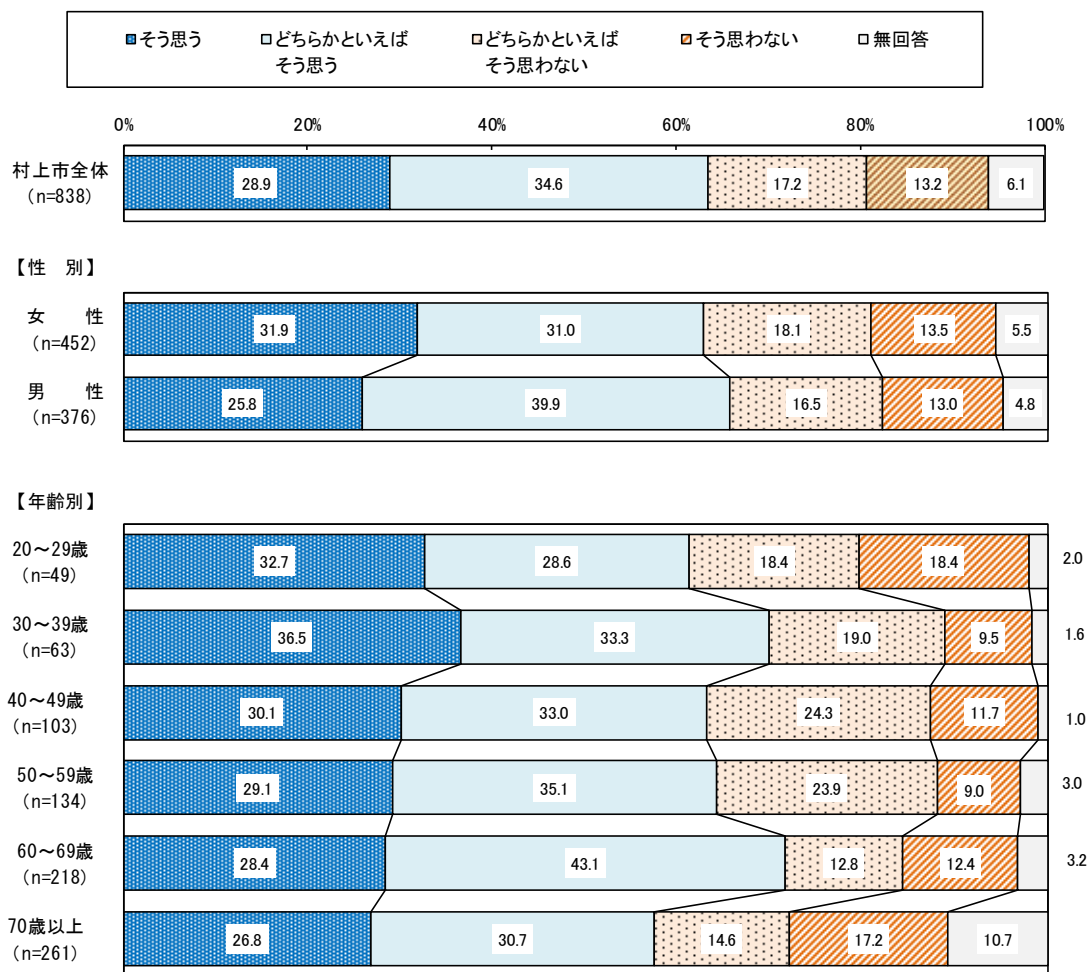
#### <性別・年齢別>

男女別では、『思う』計の割合は、女性の方が高く、『思わない』計の割合は、男性の方が高くなっている。

年齢別では、『思う』計の割合は、50歳代と30歳代で高く、6割弱を占めている。



### ⑨ 結婚願望があっても、様々な理由で結婚できない



#### <全体結果>

【結婚願望があっても、様々な理由で結婚できない】については、『思う』計の割合が、『思わない』計の割合を33.1ポイント上回っている。

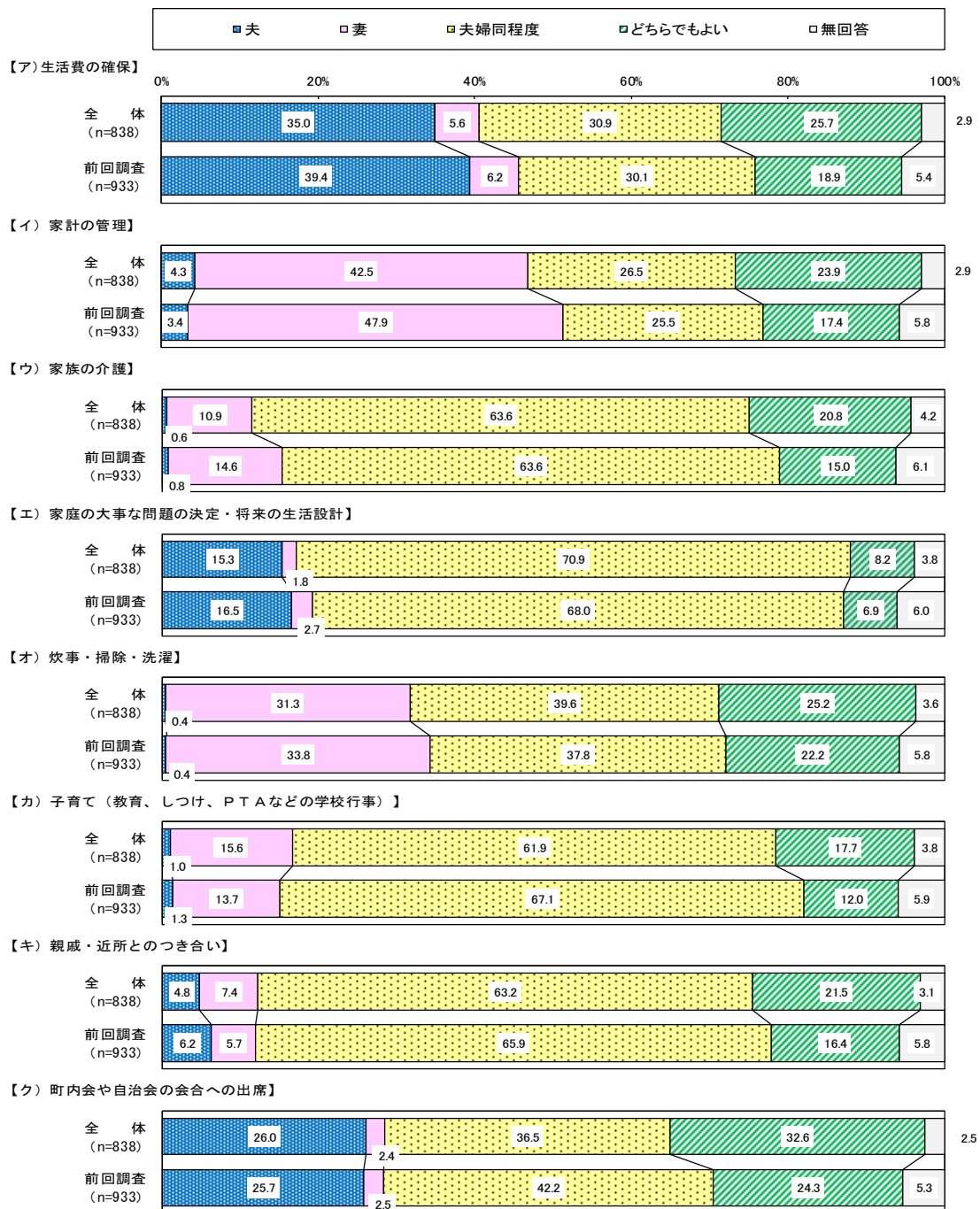
#### <性別・年齢別>

男女別では、『思う』計の割合は、男性の方がやや高く、『思わない』計の割合は、女性の方がやや高くなっている。

年齢別では、『思う』計の割合は、60歳代と30歳代で高く、7割前後を占めている。

## (2) 理想とする家庭内の仕事の分担

問3① 次の家庭内の仕事について、夫婦でどのように分担するのが理想だと思いますか。



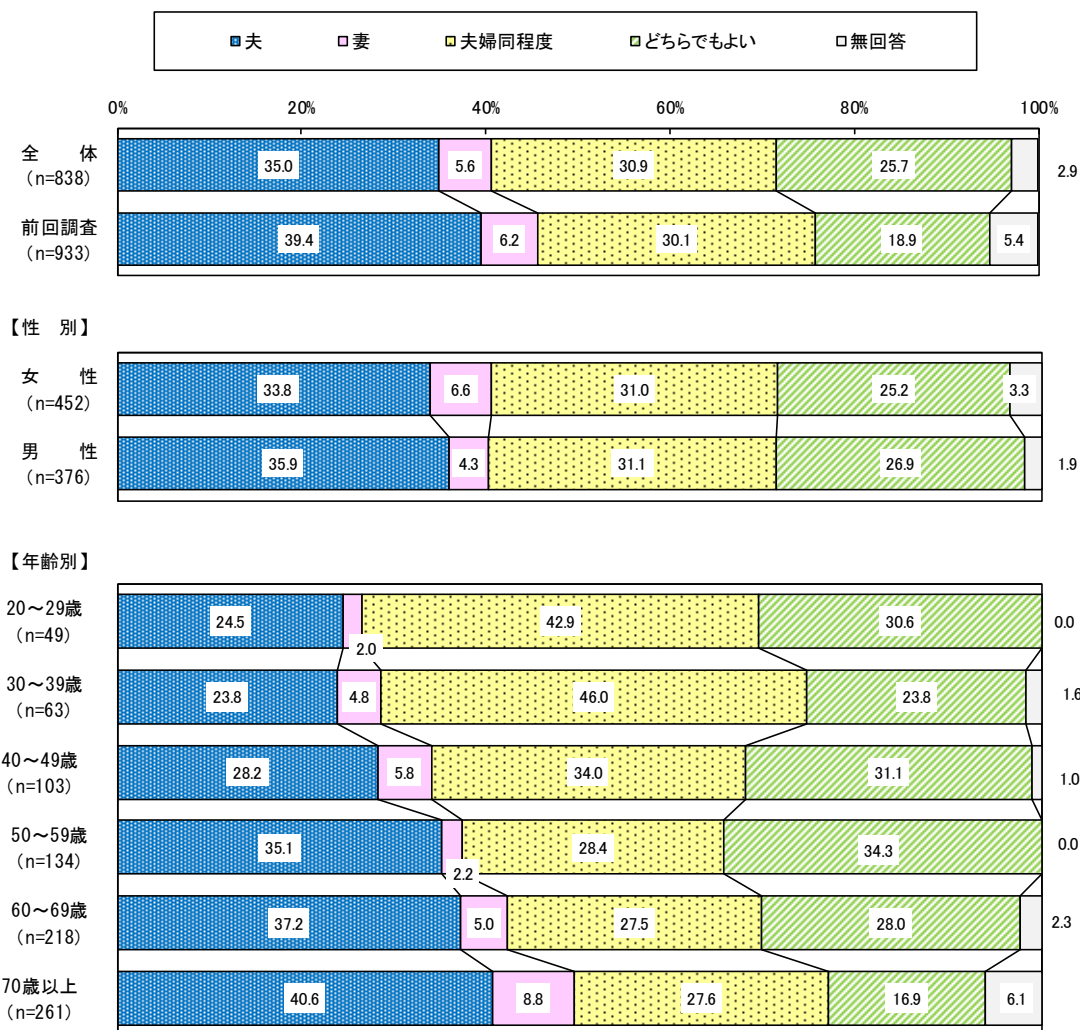
### <全体結果>

理想とする家庭内の仕事の分担について8つの項目で調査した。

【ア】生活費の確保では、「夫」の割合が高く、【イ】家計の管理では「妻」の割合が高く、その他の6項目は「夫婦同程度」の割合が高くなっている。

前回調査と比べると、【カ】子育て（教育、しつけ、PTAなどの学校行事）と【ク】町内会や自治会の会合への出席で「夫婦同程度」の割合が減少し、「どちらでもよい」の割合が増加している。

## ① 生活費の確保



### <全体結果>

【生活費の確保】は、「夫」の割合が最も高く、全体の3分の1強を占めている。「夫婦同程度」が3割台、「どちらでもよい」が2割台で続いている。

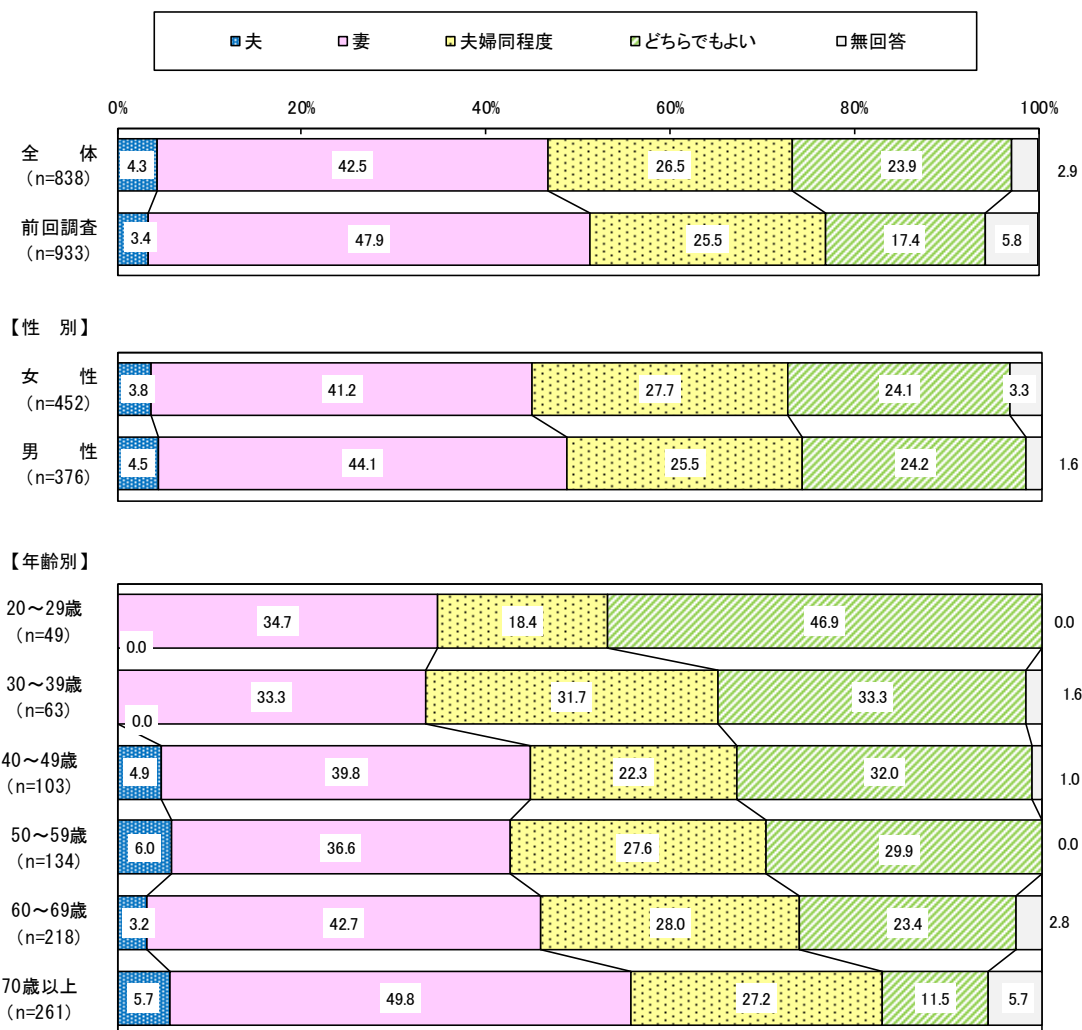
前回結果と比べ、「どちらでもよい」の割合が増加している。

### <性別・年齢別>

男女別では、特に大きな差は見られない。

年齢別では、「夫」の割合が70歳以上で高く、4割を超えている。一方、「夫婦同程度」の割合は、20歳代と30歳代で4割強と高くなっている。

## ② 家計の管理



### <全体結果>

【家計の管理】は、「妻」の割合が最も高く、4割を超えている。「夫婦同程度」と「どちらでもよい」がこれに続き、全体の約4分の1程度となっている。

前回結果と比べ、「妻」の割合が減少し、「どちらでもよい」の割合が増加している。

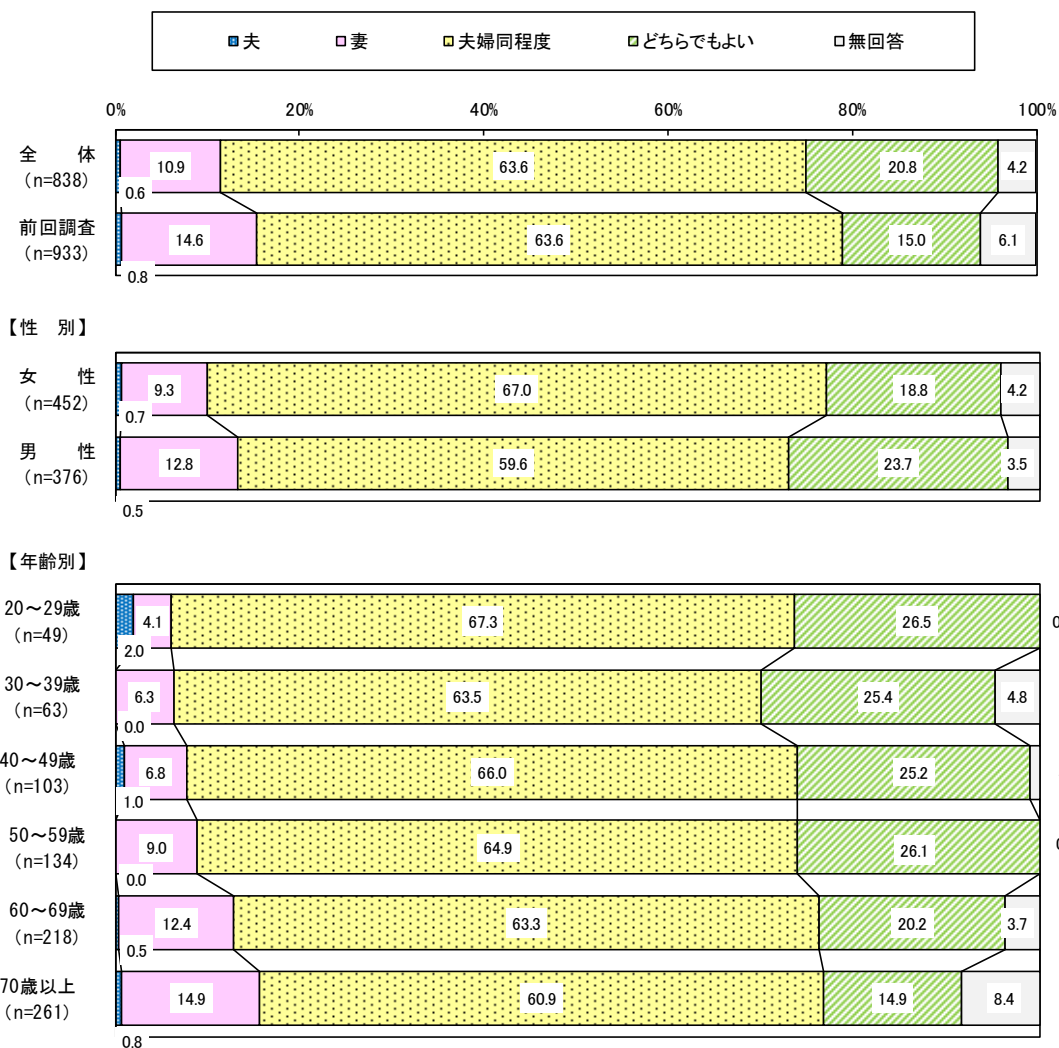
### <性別・年齢別>

男女別では、特に大きな差は見られない。

年齢別では、「妻」の割合が、70歳以上で最も高く、半数弱を占めている。一方、「どちらでもよい」の割合は、20歳代で半数弱を占め、他の年齢層に比べ高くなっている。



### ③ 家族の介護



#### <全体結果>

【家族の介護】は、「夫婦同程度」の割合が最も高く、6割強となっている。

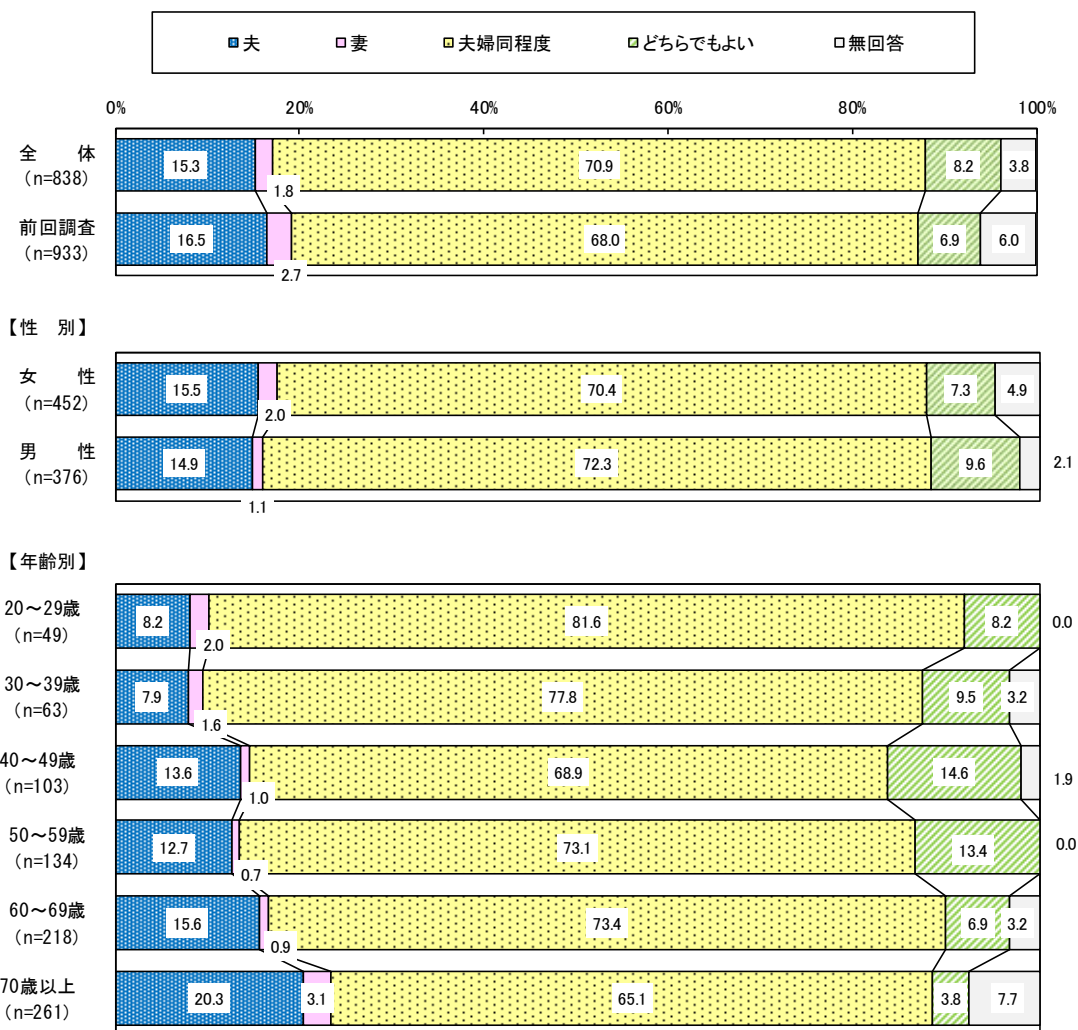
前回結果と比べ、特に大きな差は見られない。

#### <性別・年齢別>

男女別では、「夫婦同程度」の割合は、女性の方が高く、「どちらでもよい」の割合は、男性の方が高くなっている。

年齢別では、70歳以上で「どちらでもよい」の割合が1割台と低く、「妻」の割合が他の年齢層に比べ高くなっている。

#### ④ 家庭の大事な問題の決定・将来の生活設計



#### <全体結果>

【家庭の大事な問題の決定・将来の生活設計】は、「夫婦同程度」の割合が最も高く、7割を超えている。

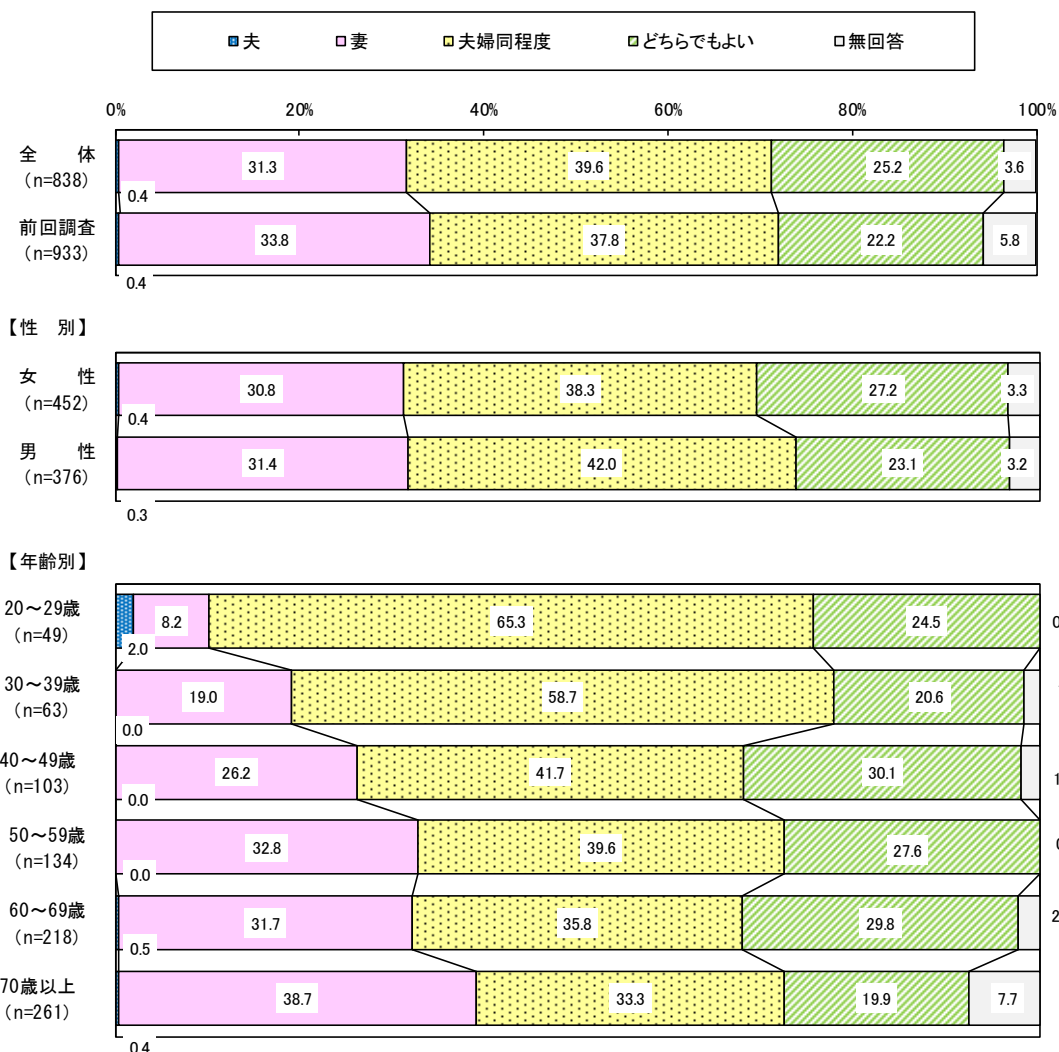
前回結果と比べ、特に大きな差は見られない。

#### <性別・年齢別>

男女別では、特に大きな差は見られない。

年齢別では、「夫婦同程度」の割合は、20歳代と30歳代で高く、8割前後を占めている。一方、「夫」の割合は70歳以上で高く、2割を超えている。また、「どちらでもよい」の割合は、40歳代、50歳代で高くなっている。

## ⑤ 炊事・掃除・洗濯



### <全体結果>

【炊事・掃除・洗濯】は、「夫婦同程度」の割合が4割弱で、最も高くなっている。次いで、「妻」の割合が3割強となっている。また、「どちらでもよい」は、全体の4分の1を占めている。

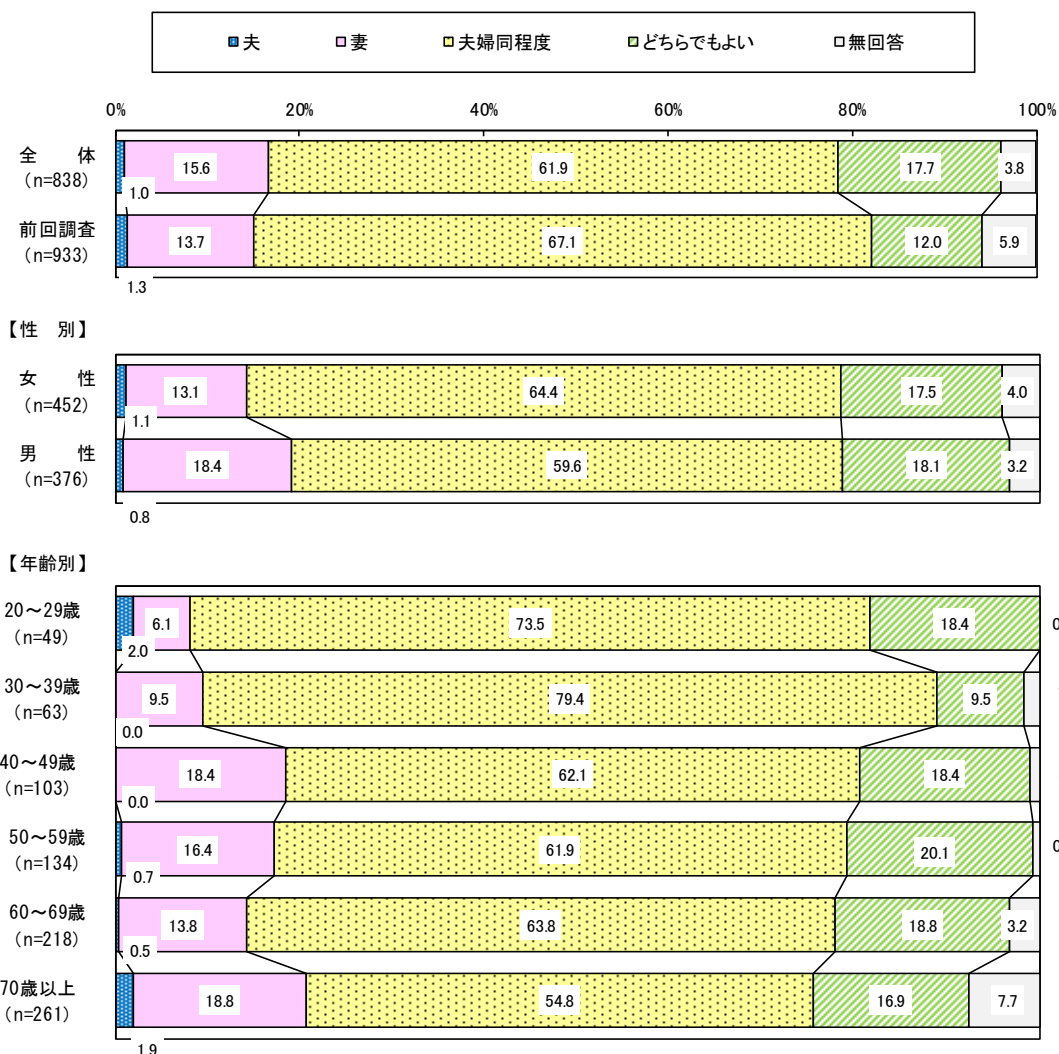
前回結果と比べ、特に大きな差は見られない。

### <性別・年齢別>

男女別では、「どちらでもよい」の割合は、女性の方がやや高く、「夫婦同程度」の割合は、男性の方がやや高くなっている。

年齢別では、「夫婦同程度」の割合が、20歳代と30歳代で高く、ともに6割前後を占めている。一方、「妻」の割合は、70歳以上で高く、4割弱を占めている。

## ⑥ 子育て（教育、しつけ、PTAなどの学校行事）



### <全体結果>

【子育て（教育、しつけ、PTAなどの学校行事）】は、「夫婦同程度」の割合が最も高く、6割を超えている。

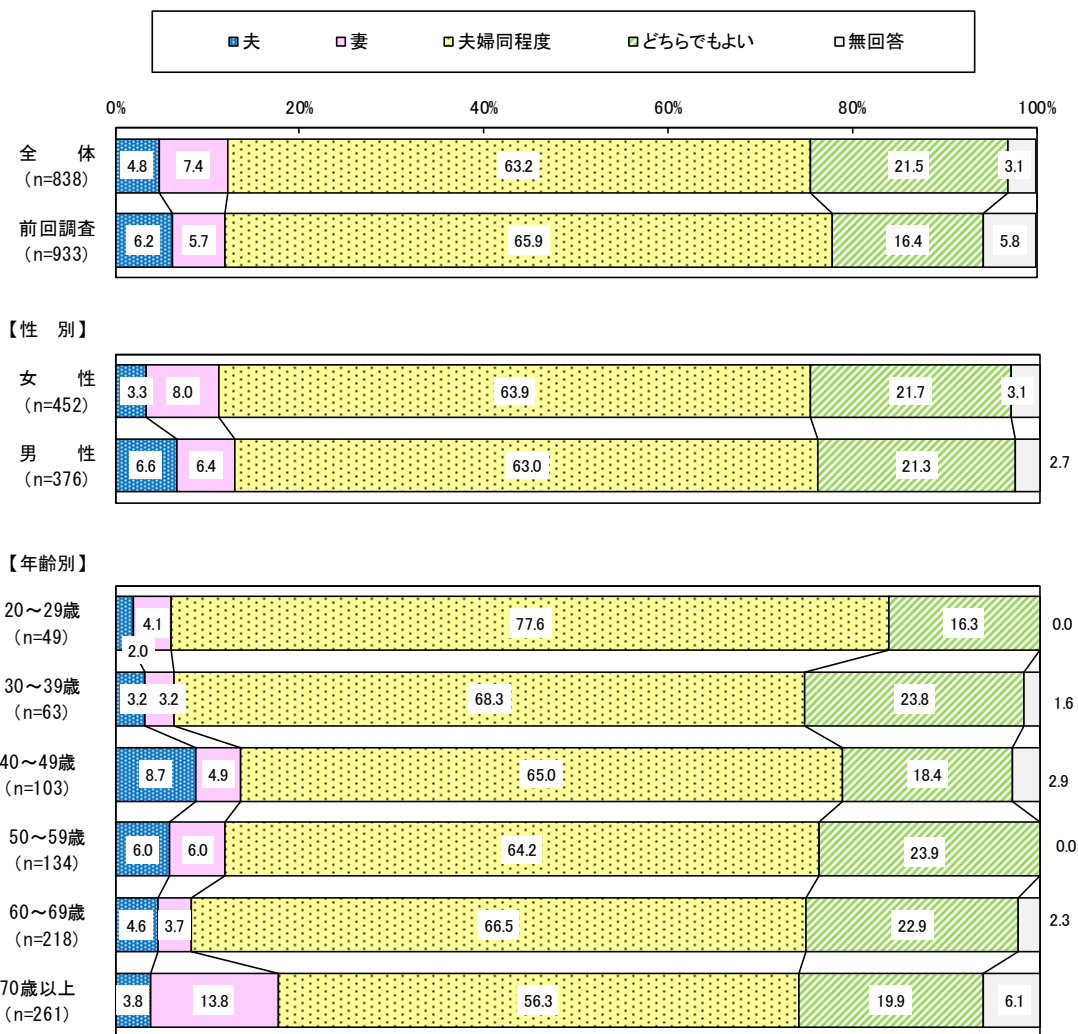
前回結果と比べ、「夫婦同程度」の割合が減少し、「どちらでもよい」の割合がやや増加している。

### <性別・年齢別>

男女別では、「夫婦同程度」の割合は、女性の方がやや高くなっている。一方、「妻」の割合は、男性の方がやや高くなっている。

年齢別では、「夫婦同程度」の割合が、20歳代と30歳代で高く、7割を超えている。

## ⑦ 親戚・近所とのつき合い



### <全体結果>

【親戚・近所とのつき合い】は、「夫婦同程度」の割合が最も高く、6割を超えている。「どちらでもよい」が2割強で、これに続いている。

前回結果と比べ、「どちらでもよい」の割合が増加している。

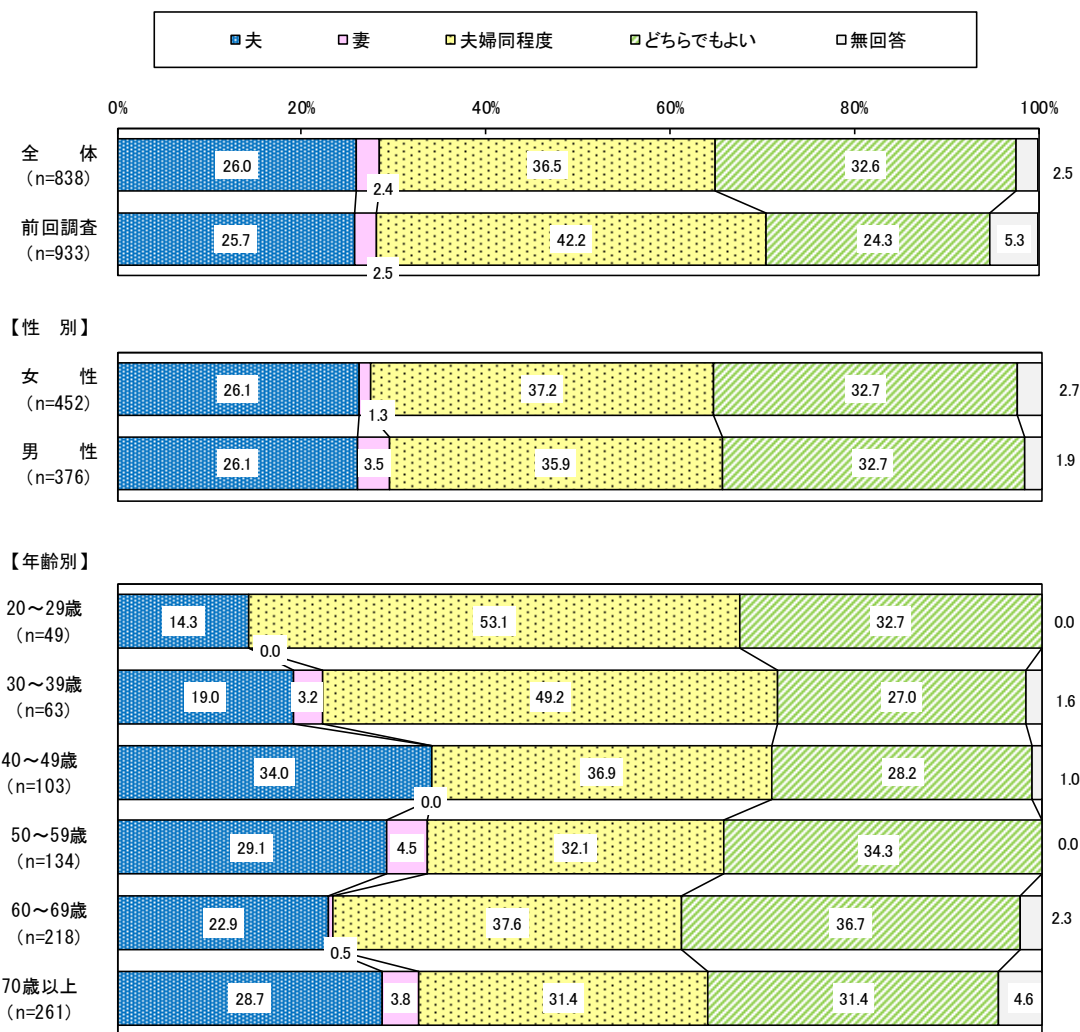
### <性別・年齢別>

男女別では、特に大きな差は見られない。

年齢別では、「夫婦同程度」の割合が、20歳代で最も高く、8割弱を占めている。



## ⑧ 町内会や自治会の会合への出席



### <全体結果>

【町内会や自治会の会合への出席】は、「夫婦同程度」の割合が最も高く、4割弱を占めている。「どちらでもよい」が3割強、「夫」が3割弱で、これに続いている。

前回結果と比べ、「どちらでもよい」の割合が増加し、「夫婦同程度」の割合が低下している。

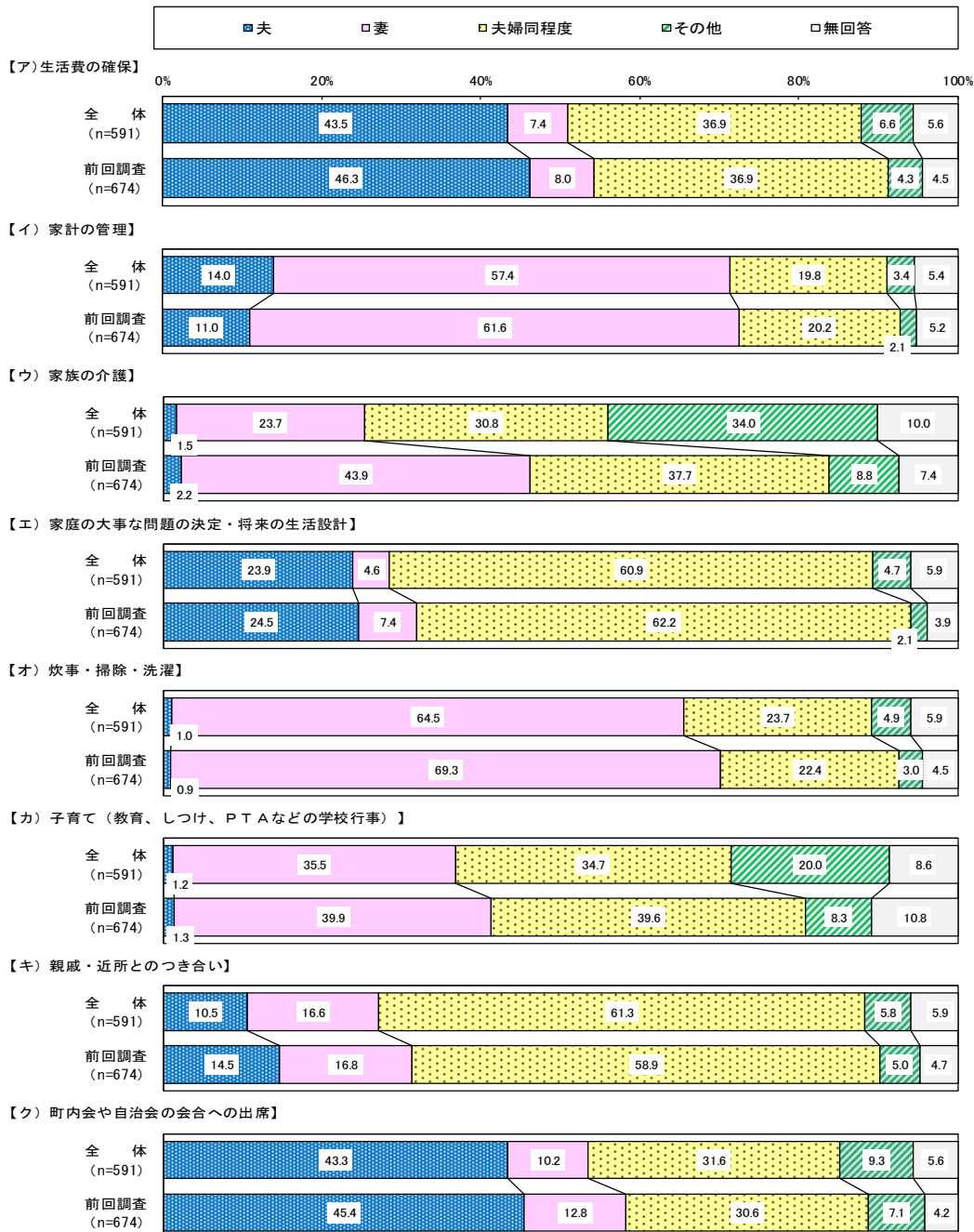
### <性別・年齢別>

男女別では、特に大きな差は見られない。

年齢別では、「夫婦同程度」の割合が、20歳代と30歳代で高く、5割前後を占めている。一方、40歳代では「夫」の割合が高く、3割を超えている。

### (3) 実際の家庭内の仕事の分担

問3② 現在、結婚（事実婚を含む）している方におたずねします。  
 実際に、あなたの家庭では、次の家庭内の仕事を夫婦でどのように分担していますか。

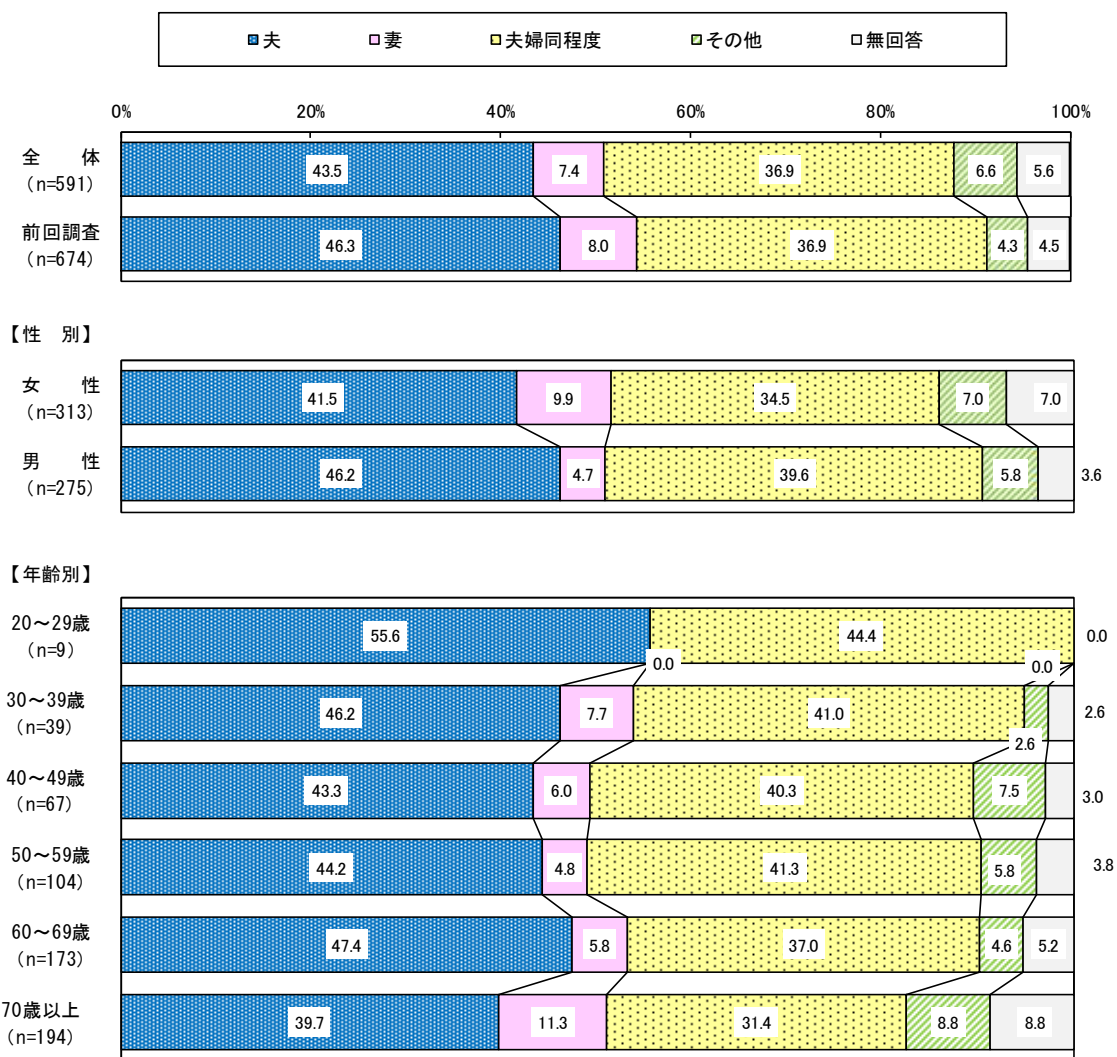


#### <全体結果>

現在結婚している女性を対象に、実際の家庭内の仕事の分担について8つの項目で調査した。

【ア】生活費の確保と【ク】町内会や自治会の会合への出席では、「夫」の割合が高く、【イ】家計の管理と【オ】炊事・掃除・洗濯と【カ】子育て（教育、しつけ、PTAなどの学校行事）では「妻」の割合が高くなっている。

## ① 生活費の確保



### <全体結果>

【生活費の確保】は、「夫」の割合が最も高く、4割強を占めている。「夫婦同程度」が4割弱で続いている。

前回結果と比べ、特に大きな差は見られない。

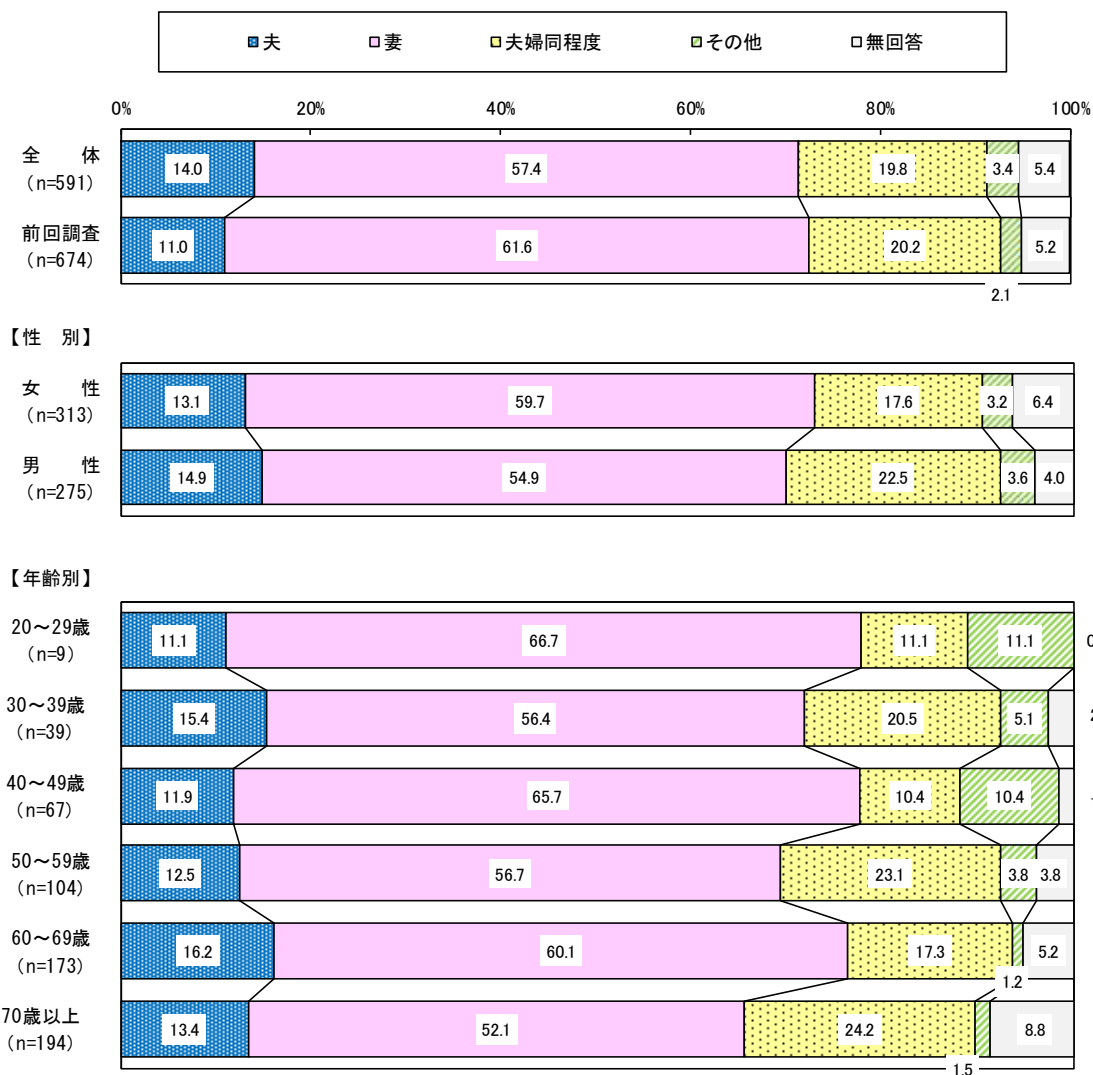
### <性別・年齢別>

男女別では、「夫」と「夫婦程度」の割合は男性の方が高く、「妻」の割合は女性の方が高くなっている。

年齢別では、「夫婦同程度」の割合が50歳以下で高く、いずれも4割を超えている。



## ② 家計の管理



### <全体結果>

【家計の管理】は、「妻」の割合が最も高く、6割弱を占めている。「夫婦同程度」が2割弱で続いている。

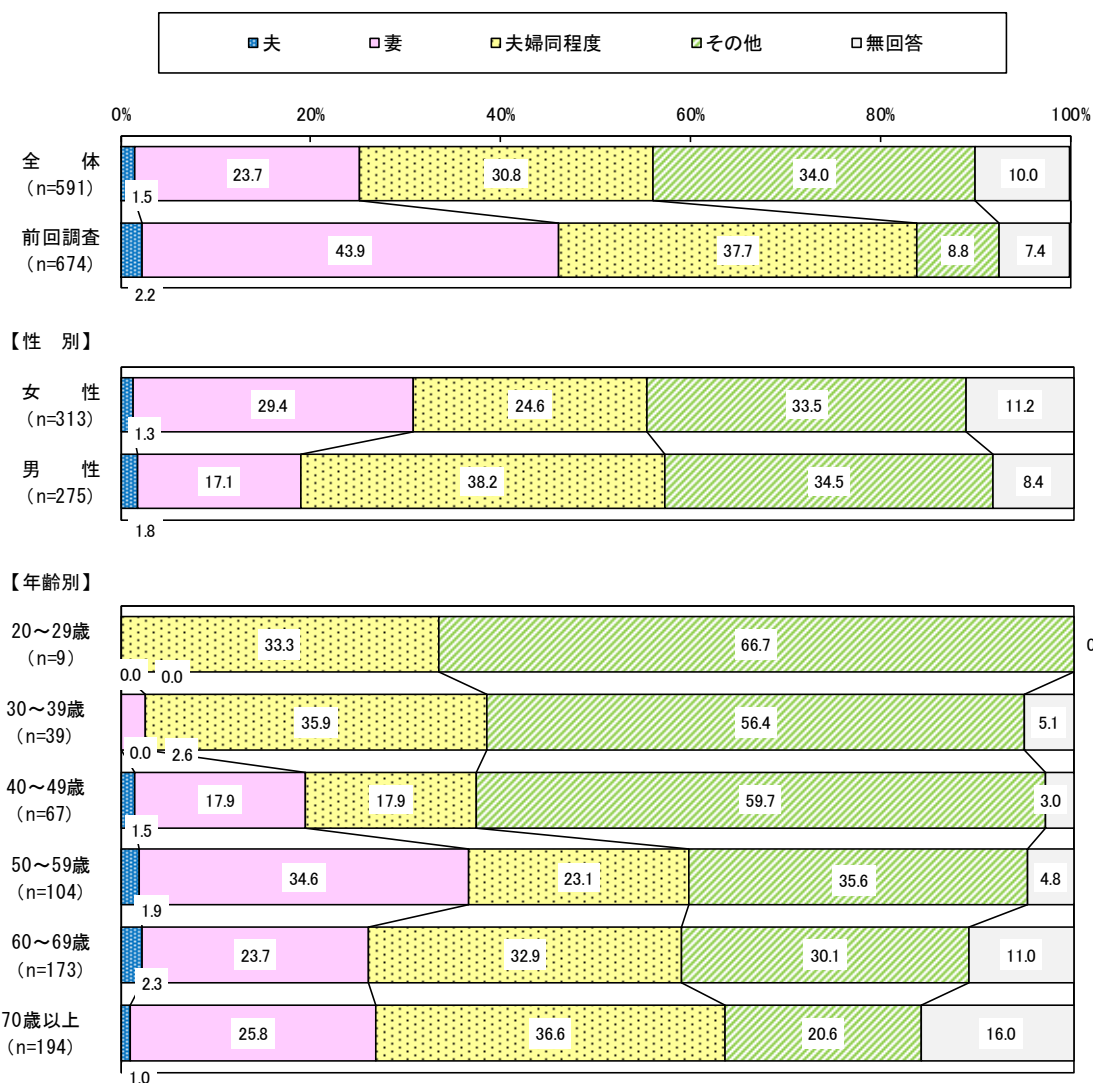
前回結果と比べ、「妻」の割合がやや減少している。

### <性別・年齢別>

男女別では、「妻」の割合は女性の方が高く、「夫婦同程度」の割合は男性の方が高くなっている。

年齢別では、「妻」の割合が、20歳代、40歳代で高く、全体の約3分の2を占めている。

### ③ 家族の介護



#### <全体結果>

【家族の介護】は、「その他」の割合が最も高く、全体の約3分の1を占めている。以下、「夫婦同程度」が3割台、「妻」が2割台で続いている。

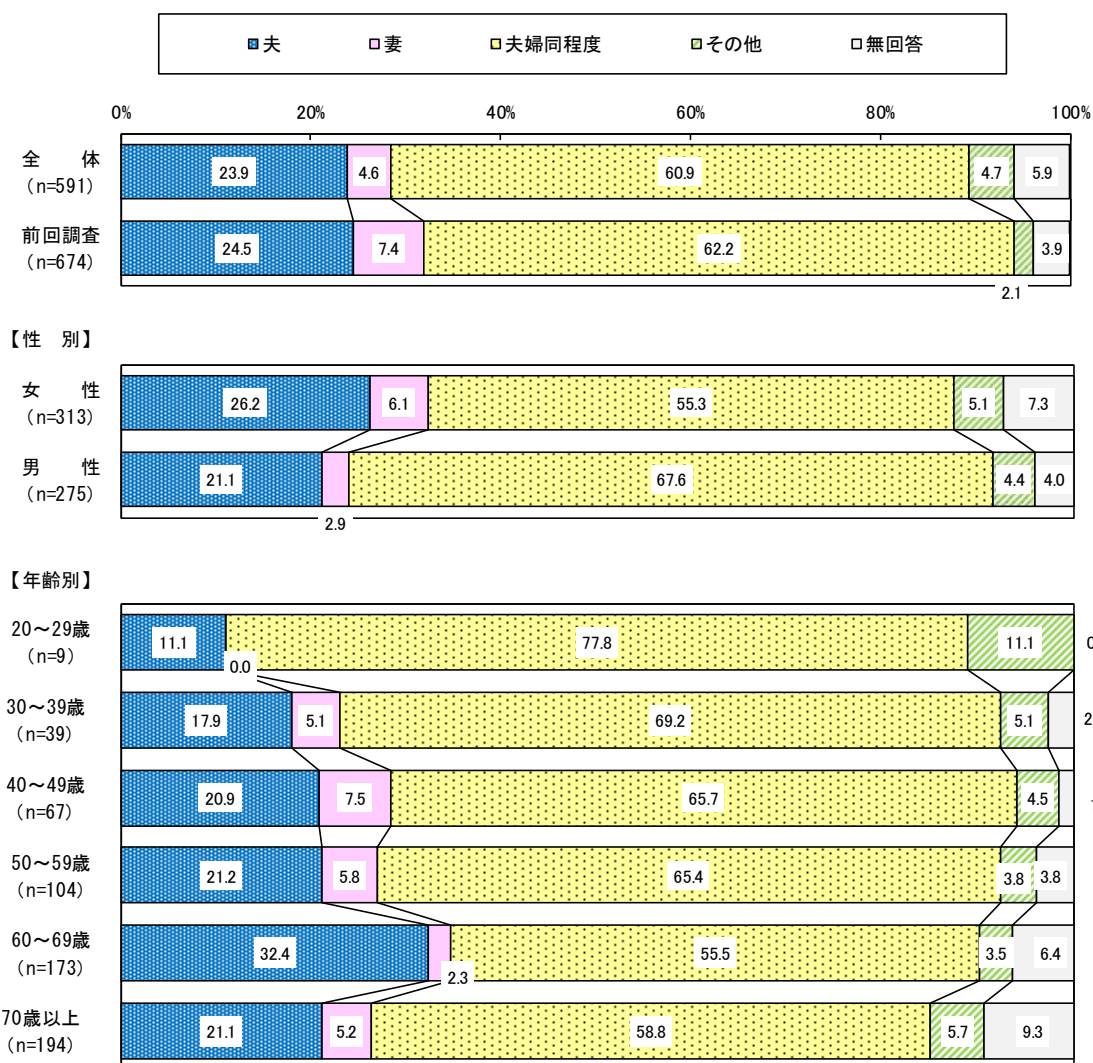
前回結果と比べ、「妻」と「夫婦同程度」は減少している。

#### <性別・年齢別>

男女別では、「妻」の割合は、女性の方が高く、「夫婦同程度」の割合は、男性の方が高くなっている。

年齢別では、50歳代で「妻」の割合が高く、3割を超えている。40歳以下では「その他」の割合がいずれも半数を超え、他の年齢層に比べ高くなっている。

#### ④ 家庭の大事な問題の決定・将来の生活設計



#### <全体結果>

【家庭の大事な問題の決定・将来の生活設計】は、「夫婦同程度」の割合が最も高く、6割を超えている。

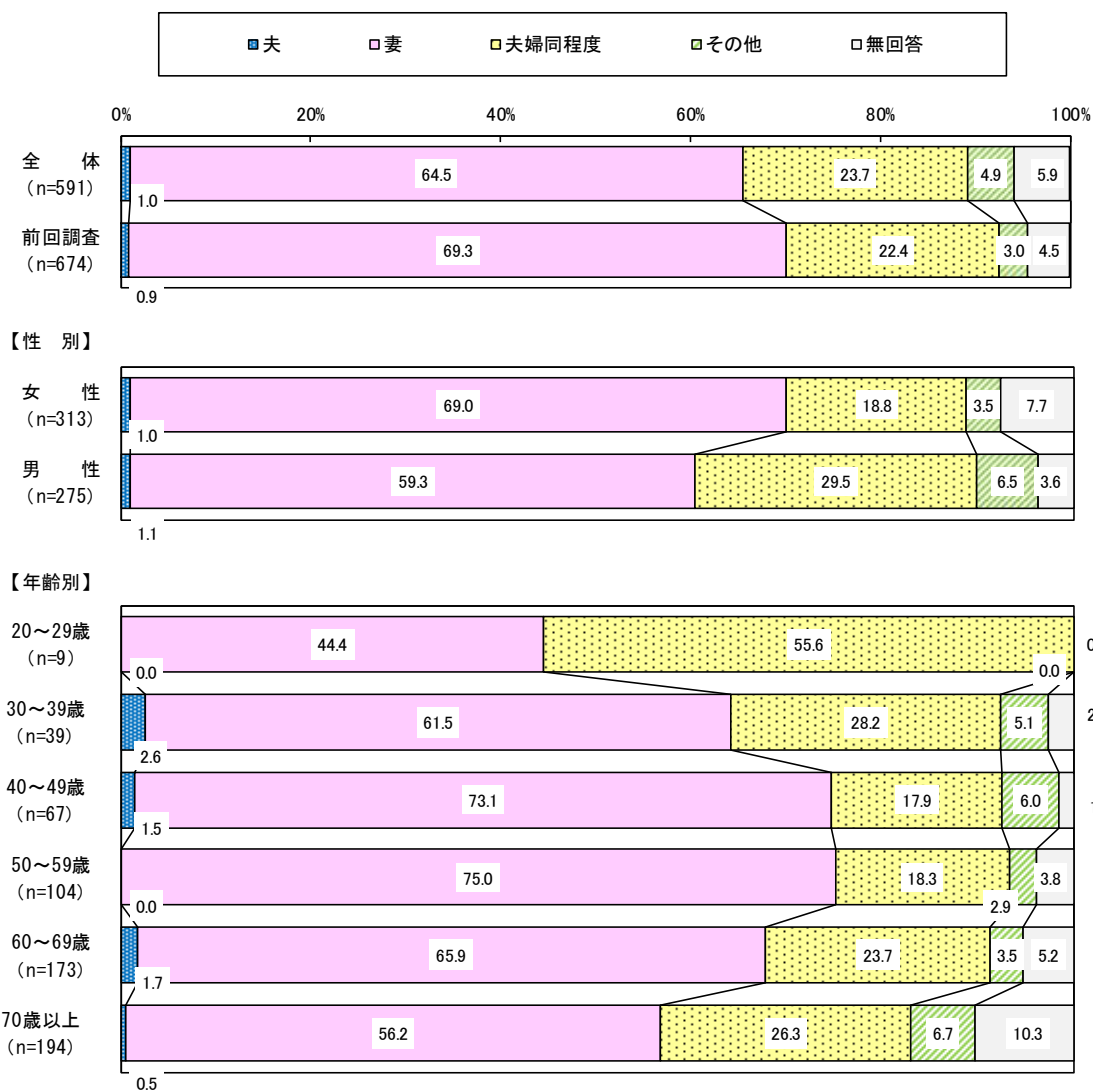
前回結果と比べ、特に大きな差は見られない。

#### <性別・年齢別>

男女別では、「夫」の割合は、女性の方が高く、「夫婦同程度」の割合は、男性の方が高くなっている。

年齢別では、「夫婦同程度」の割合は、50歳以下で高くなっている。一方、60歳代では「夫」の割合が高く、3割を超えている。

## ⑤ 炊事・掃除・洗濯



### <全体結果>

【炊事・掃除・洗濯】は、「妻」の割合が最も高く、6割を超えている。次いで、「夫婦同程度」の割合が2割強となっている。

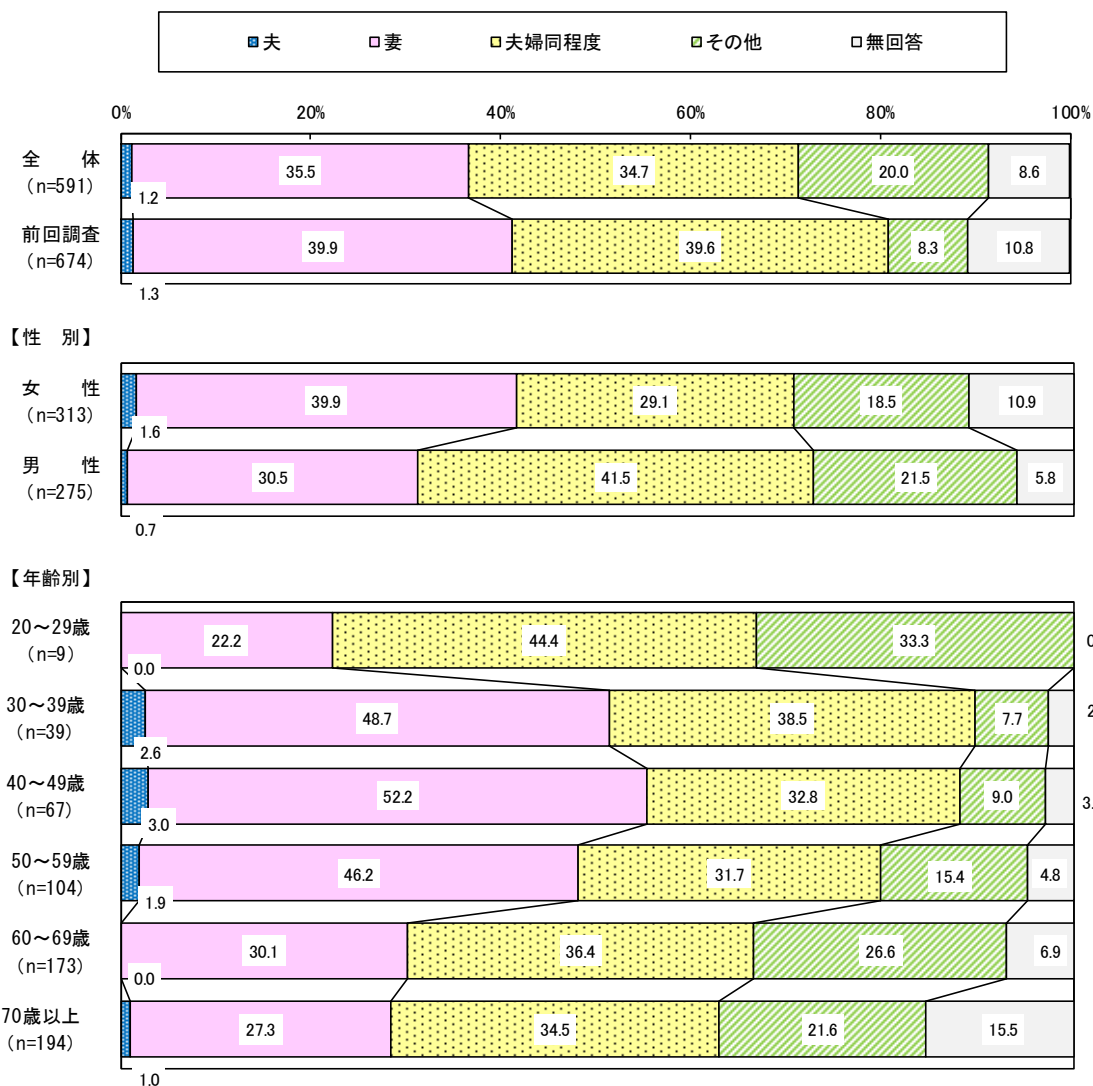
前回結果と比べ、「妻」の割合がやや低下している。

### <性別・年齢別>

男女別では、「妻」の割合は、女性の方が高く、「夫婦同程度」の割合は、男性の方が高くなっている。

年齢別では、「妻」の割合が、40歳代と50歳代で高く、ともに7割を超えている。

## ⑥ 子育て（教育、しつけ、PTAなどの学校行事）



### <全体結果>

【子育て（教育、しつけ、PTAなどの学校行事）】は、「妻」と「夫婦同程度」の割合が3割台で拮抗している。

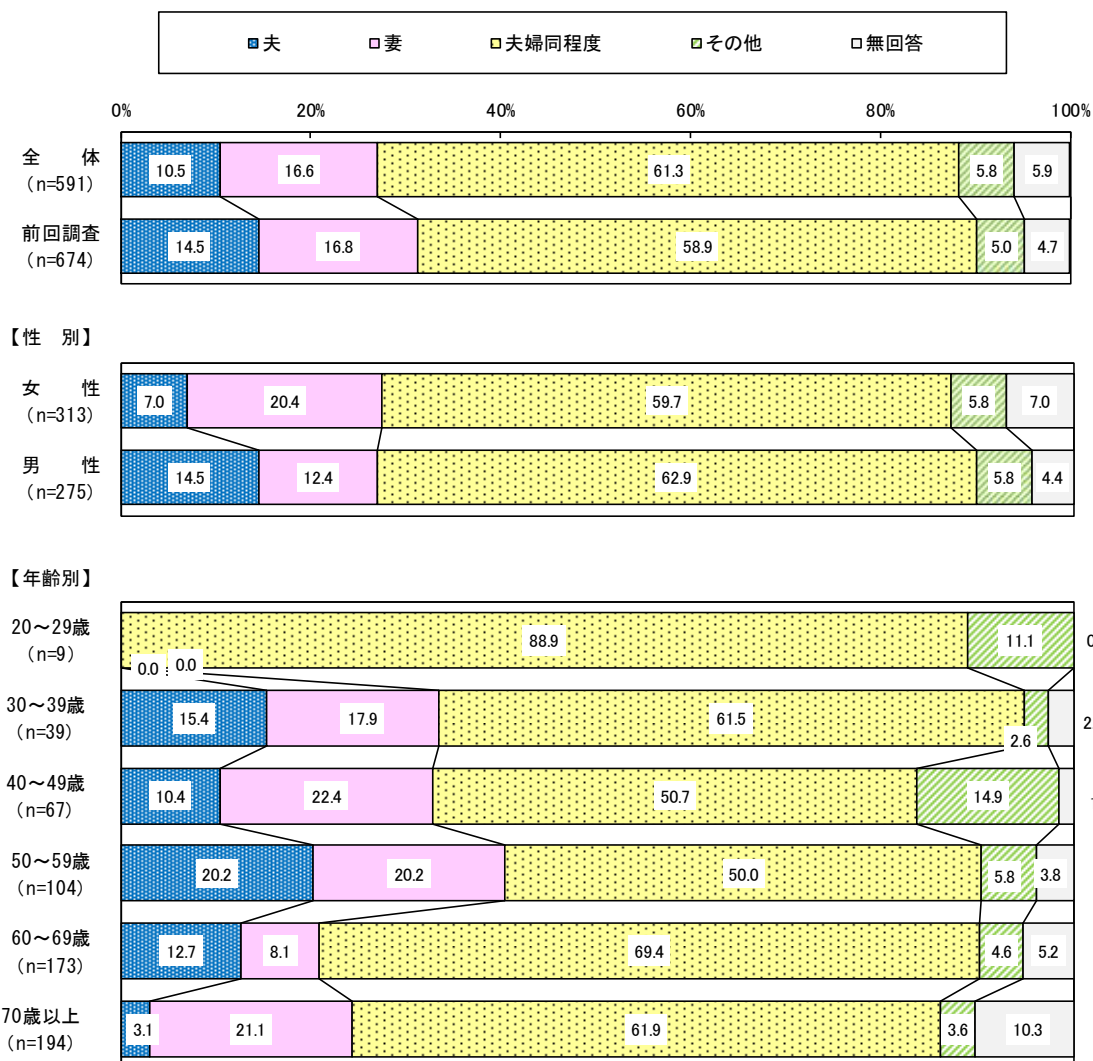
前回結果と比べ、「夫」と「夫婦同程度」の割合がやや減少している。

### <性別・年齢別>

男女別では、「妻」の割合は、女性の方が高く、「夫婦同程度」の割合は、男性の方が高くなっている。

年齢別では、「妻」の割合が、30歳代と40歳代と50歳代で高く、いずれも半数前後を占めている。

## ⑦ 親戚・近所とのつき合い



### <全体結果>

【親戚・近所とのつき合い】は、「夫婦同程度」の割合が最も高く、6割を超えている。前回結果と比べ、特に大きな差は見られない。

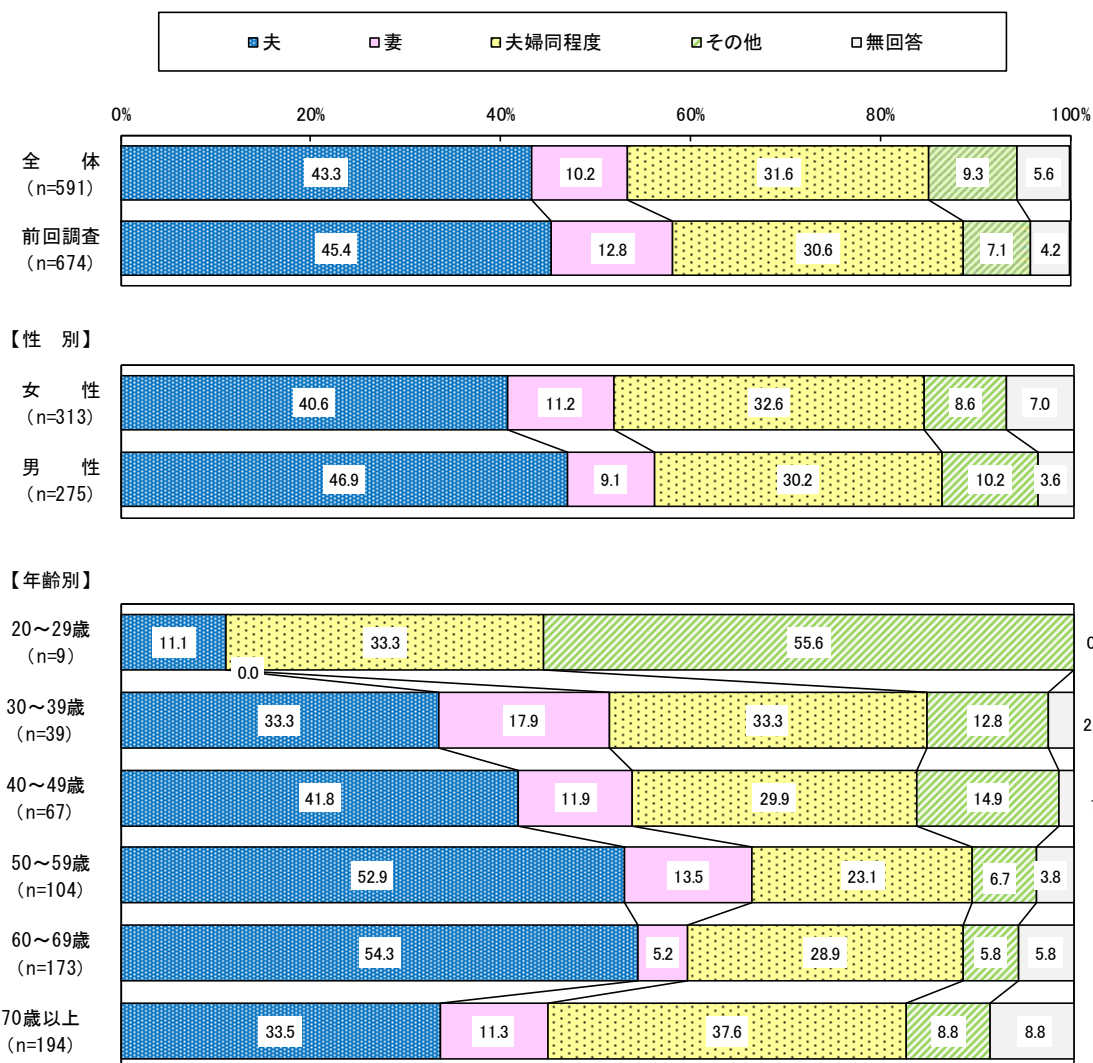
### <性別・年齢別>

男女別では、「妻」の割合は、女性の方が高く、「夫」の割合は、男性の方が高くなっている。

年齢別では、40歳代では「妻」、50歳代では「夫」、60歳代では「夫婦同程度」の割合が、他の年齢層に比べ高くなっている。



### ⑧ 町内会や自治会の会合への出席



#### <全体結果>

【町内会や自治会の会合への出席】は、「夫」の割合が最も高く、4割を超えている。「夫婦同程度」が3割強で続いている。

前回結果と比べ、特に大きな差は見られない。

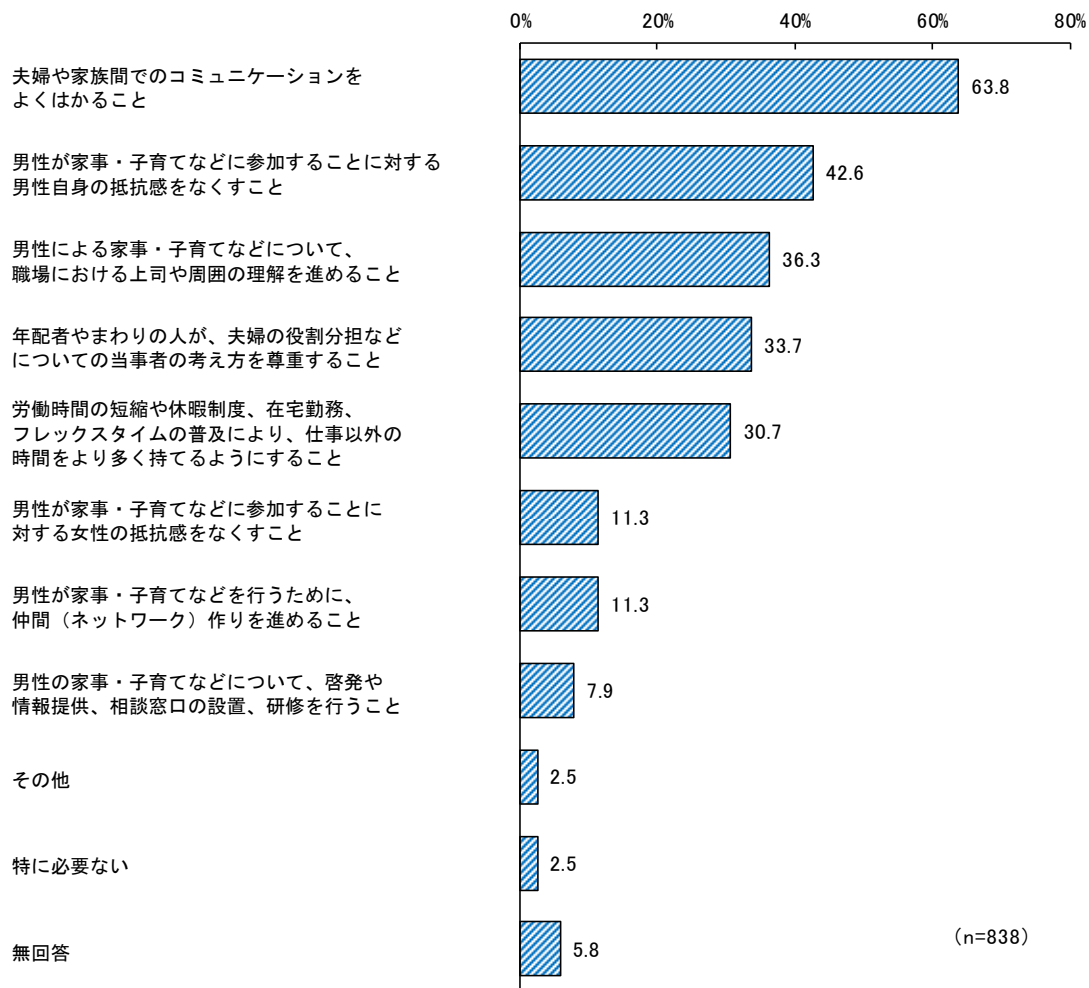
#### <性別・年齢別>

男女別では、「夫」の割合が、男性の方が高くなっている。

年齢別では、30歳代では「妻」、50歳代と60歳代では「夫」の割合が、他の年齢層に比べ高くなっている。

#### (4) 男性が家事等に積極的に参加していくために必要なこと

問4 男性が家庭内で家事・子育てに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。



#### <全体結果>

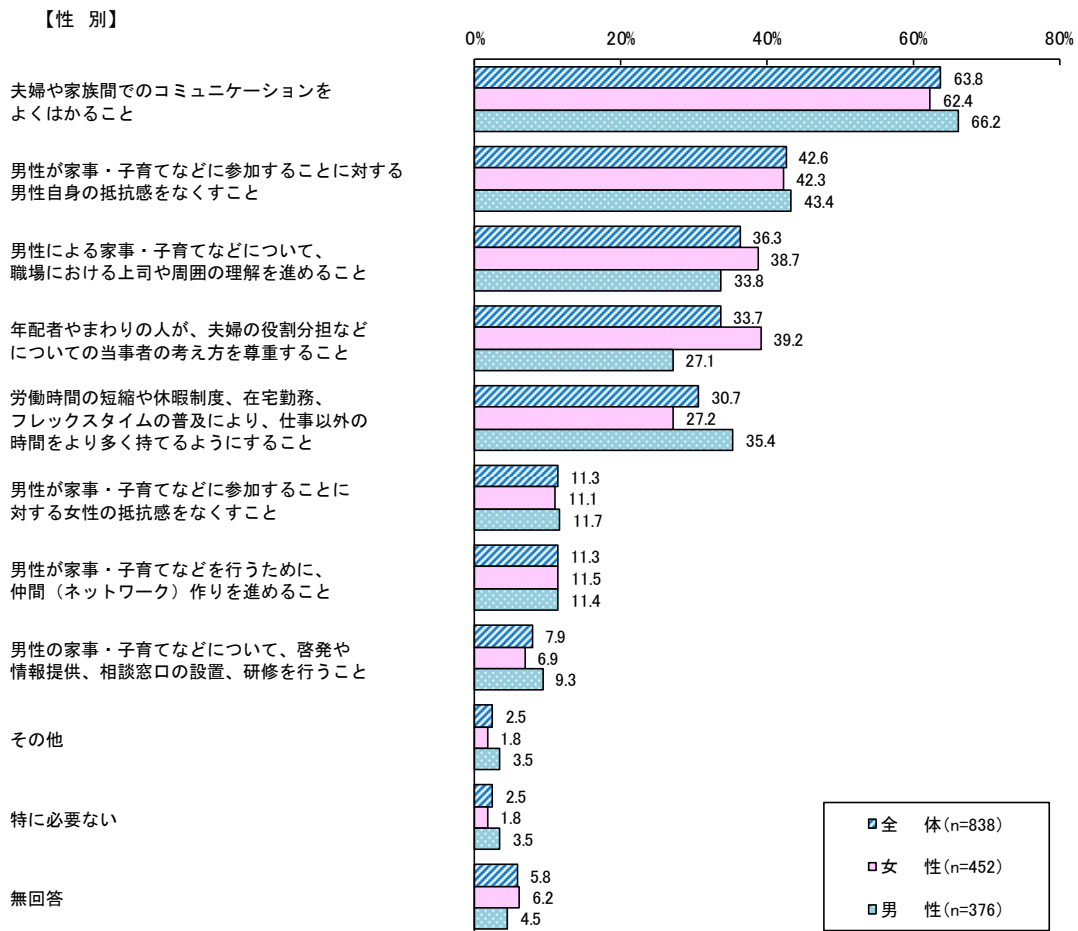
男性が家事等に積極的に参加していくために必要なことは、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が最も多く、6割強の人がこれを回答した。次いで、「男性が家事・子育てなどに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が4割台、「男性による家事・子育てなどについて、職場における上司や周囲の理解を進めること」、「年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること」、「労働時間の短縮や休暇制度、在宅勤務、フレックスタイムの普及により、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」が3割台で続いている。



<性別・年齢別>

男女別では、男性は「労働時間の短縮や休暇制度、在宅勤務、フレックスタイムの普及により、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」の割合などが女性より高くなっているが、女性は「年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること」などが男性より高くなっている。

年齢別では、20歳代と30歳代、50歳代では「男性による家事・子育てなどについて、職場における上司や周囲の理解を進めること」、20歳代と30歳代と40歳代では「労働時間の短縮や休暇制度、在宅勤務、フレックスタイムの普及により、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」が、他年齢層よりも高くなっている。



上段:回答者数/下段:割合(%)

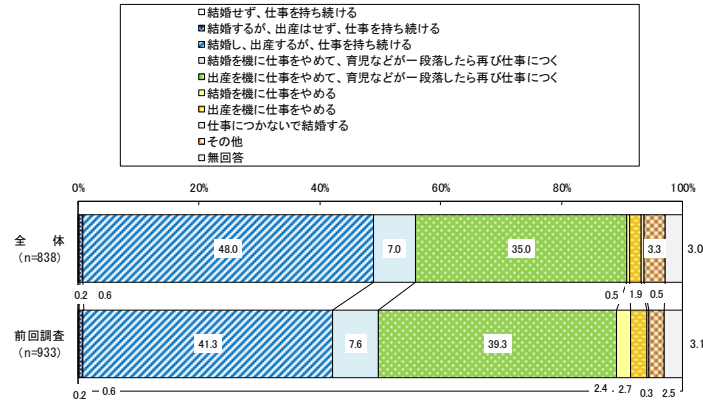
	合計	男性が家事・子育てなどに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	男性が家事・子育てなどに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかると	年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについて当事者の考え方を尊重すること	男性による家事・子育てなどについて、職場における上司や周囲の理解を進めること	労働時間の短縮や休暇制度、在宅勤務、フレックスタイムの普及により、仕事以外の時間をより多く持てること	男性の家事・子育てなどについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、研修を行うこと	
全 体	838 100.0%	357 42.6%	95 11.3%	535 63.8%	282 33.7%	304 36.3%	257 30.7%	66 7.9%	
【性別】	男 性	452 100.0%	191 42.3%	50 11.1%	282 62.4%	177 39.2%	175 38.7%	123 27.2%	31 6.9%
	女 性	376 100.0%	163 43.4%	44 11.7%	249 66.2%	102 27.1%	127 33.8%	133 35.4%	35 9.3%
	無回答	10 100.0%	3 30.0%	1 10.0%	4 40.0%	3 30.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%
【年齢別】	20～29歳	49 100.0%	21 42.9%	5 10.2%	34 69.4%	16 32.7%	27 55.1%	28 57.1%	0 0.0%
	30～39歳	63 100.0%	29 46.0%	6 9.5%	39 61.9%	21 33.3%	36 57.1%	27 42.9%	3 4.8%
	40～49歳	103 100.0%	39 37.9%	8 7.8%	61 59.2%	29 28.2%	37 35.9%	44 42.7%	5 4.9%
	50～59歳	134 100.0%	54 40.3%	15 11.2%	80 59.7%	47 35.1%	62 46.3%	46 34.3%	14 10.4%
	60～69歳	218 100.0%	97 44.5%	26 11.9%	149 68.3%	81 37.2%	82 37.6%	63 28.9%	13 6.0%
	70歳以上	261 100.0%	113 43.3%	34 13.0%	169 64.8%	84 32.2%	58 22.2%	47 18.0%	29 11.1%
	無回答	10 100.0%	4 40.0%	1 10.0%	3 30.0%	4 40.0%	2 20.0%	2 20.0%	2 20.0%

	合計	男性が家事・子育てなどを行うために、仲間（ネットワーク）作りを進めること	その他	特に必要ない	無回答	
全 体	838 100.0%	95 11.3%	21 2.5%	21 2.5%	49 5.8%	
【性別】	男 性	452 100.0%	52 11.5%	8 1.8%	8 1.8%	28 6.2%
	女 性	376 100.0%	43 11.4%	13 3.5%	13 3.5%	17 4.5%
	無回答	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 40.0%
【年齢別】	20～29歳	49 100.0%	7 14.3%	2 4.1%	2 0.0%	0 0.0%
	30～39歳	63 100.0%	8 12.7%	2 3.2%	1 1.6%	1 1.6%
	40～49歳	103 100.0%	10 9.7%	4 3.9%	7 6.8%	1 1.0%
	50～59歳	134 100.0%	18 13.4%	4 3.0%	2 1.5%	3 2.2%
	60～69歳	218 100.0%	24 11.0%	6 2.8%	4 1.8%	11 5.0%
	70歳以上	261 100.0%	27 10.3%	2 0.8%	7 2.7%	30 11.5%
	無回答	10 100.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%	3 30.0%

## 4 就労について

### (1) 理想の女性の働き方

問5① あなたは、女性はどのような働き方をしていくのが『理想』だと思いますか。



#### <全体結果>

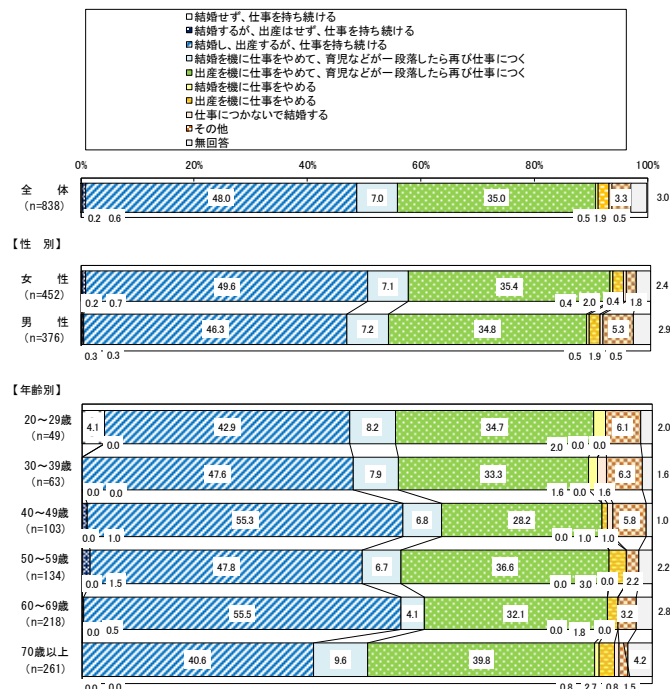
理想の女性の働き方については、「結婚し、出産するが、仕事を持ち続ける」が半数弱で最も多く、次いで「出産を機に仕事をやめて、育児などが一段落したら再び仕事につく」が3割台となっている。

前回調査と比べると、「結婚し、出産するが、仕事を持ち続ける」の割合は増加している。

#### <性別・年齢別>

男女別では、「結婚し、出産するが、仕事を持ち続ける」の割合が、男性よりも女性の方が高くなっている。

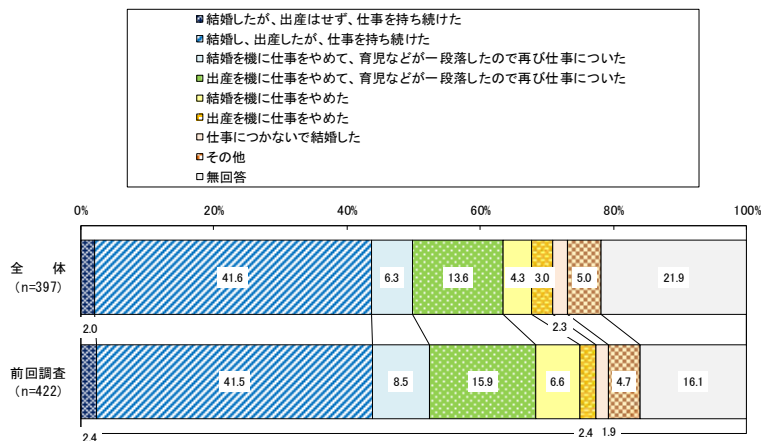
年齢別では、「結婚し、出産するが、仕事を持ち続ける」の割合は、40歳代と60歳代が高く、半数を超えている。



## (2) 現実の女性の働き方

問5② 現在結婚（事実婚を含む）している女性の方または結婚相手と離別、死別した女性の方におたずねします。

『現実』に、あなたはどのような働き方をしていますか。



### <全体結果>

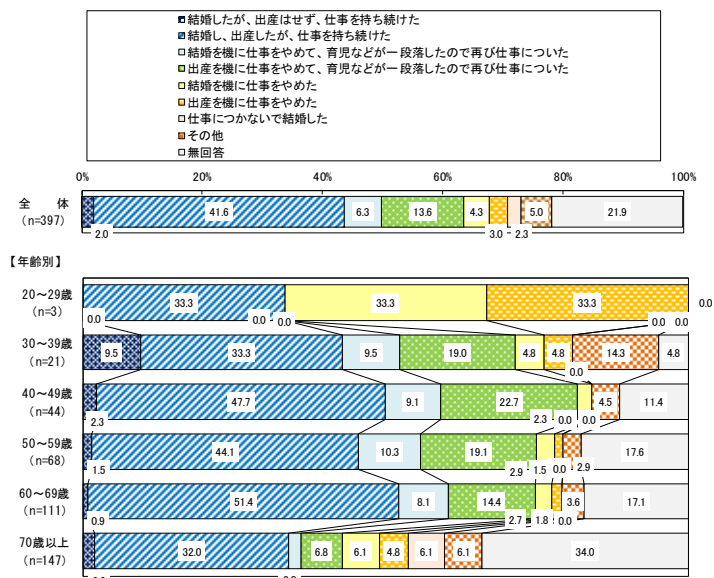
現在結婚している女性を対象に、現実の女性の働き方について調査した。

最も多く回答があったのは、「結婚し、出産したが、仕事を続けた」で4割強となっている。次いで「出産を機に仕事をやめて、育児などが一段落したので再び仕事についた」が1割台となっている。

前回調査と比べると、特に大きな差は見られない。

### <年齢別>

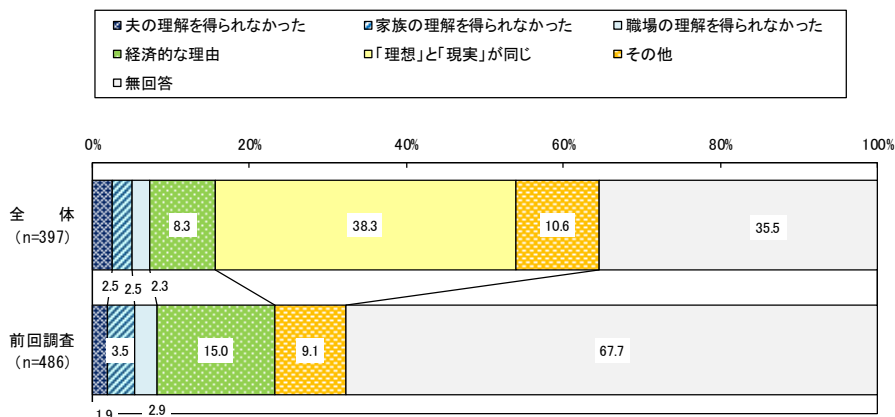
年齢別では、「出産を機に仕事をやめて、育児などが一段落したので再び仕事についた」の割合は40歳代、「結婚し、出産したが、仕事を続けた」の割合は60歳代で、他年齢層よりも高くなっている。



### (3) 現実と理想が違っている理由

問5③ 上記の問5②でお答えいただいた『現実』と問5①でお答えいただいた『理想』が違っている方におたずねします。

「理想」と「現実」が違っている理由について、次の中から最も近いものを選んでください。



#### <全体結果>

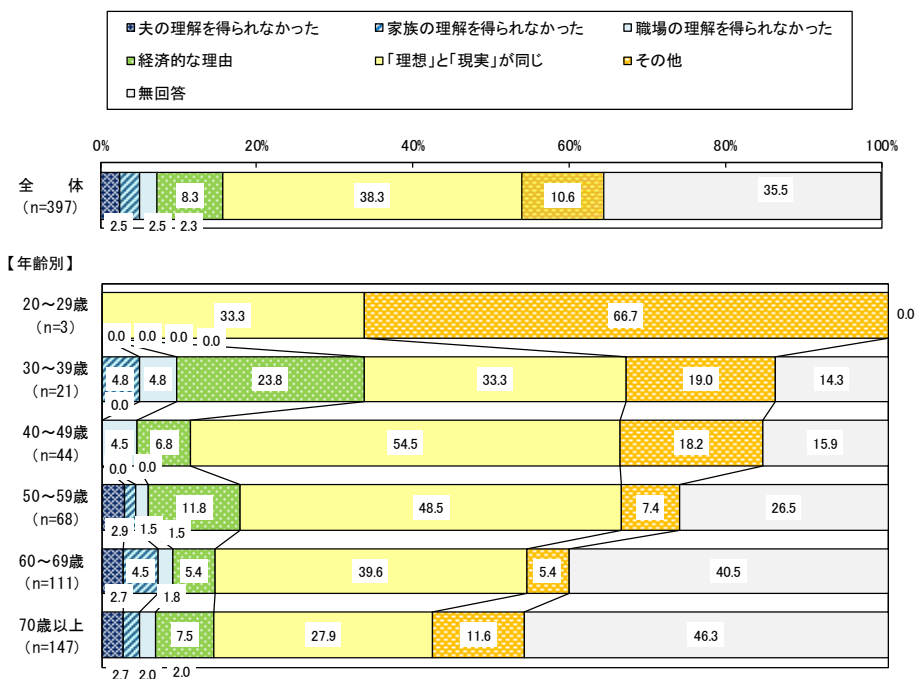
現実と理想が違っている人を対象に、その理由について調査した。

最も多く回答があったのは、「経済的な理由」だが、1割に満たない。「『理想』と『現実』が同じ」は4割弱となっている。

前回調査と比べると、「経済的な理由」が減少している。

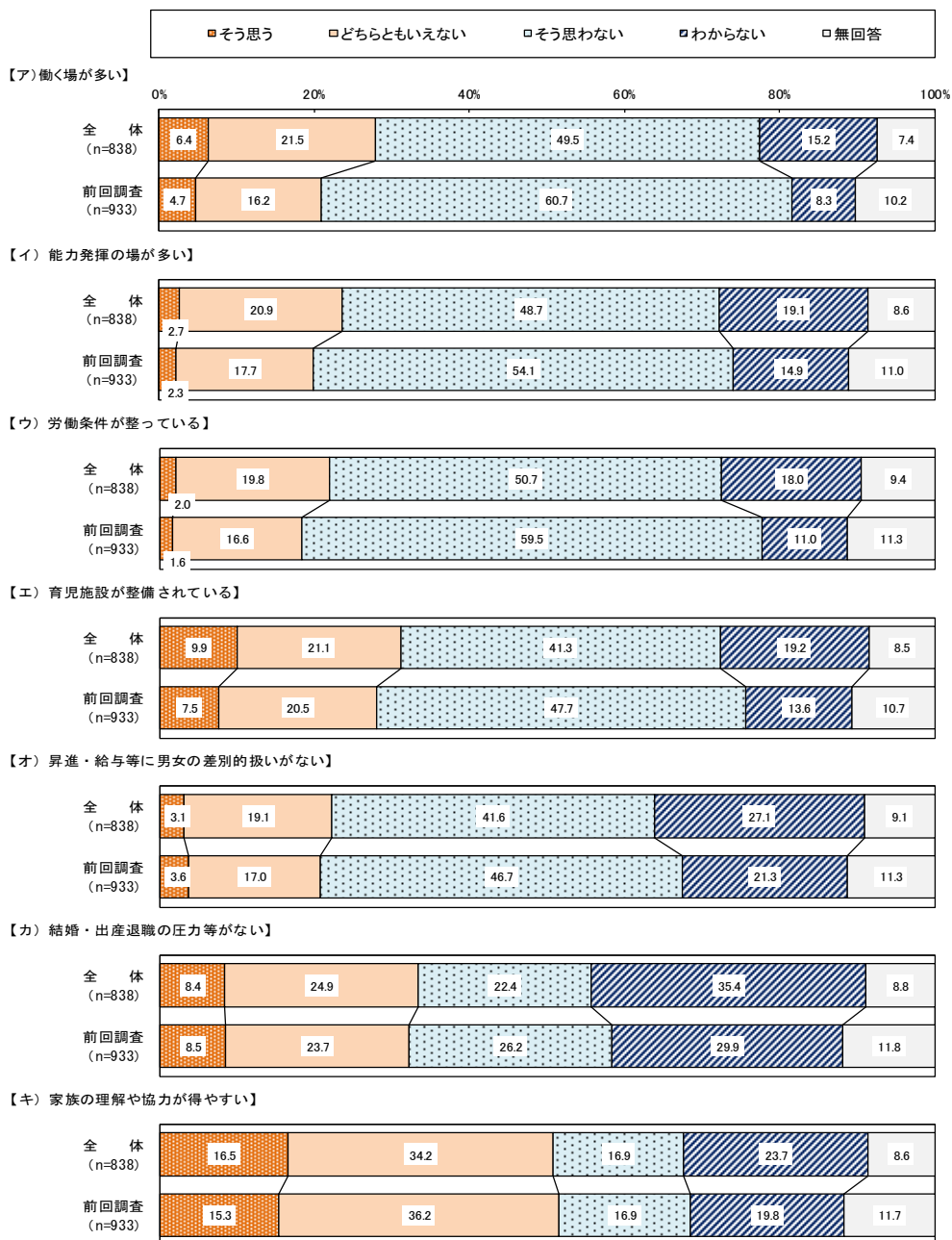
#### <年齢別>

年齢別では、回答者数が少ないこともあり、特に大きな差は見られない。



## (4) 女性が働く環境について

問6 あなたは、村上市を全般的にみて、女性が働く環境についてどう思いますか。



### <全体結果>

女性が働く環境について7つの項目で調査した。

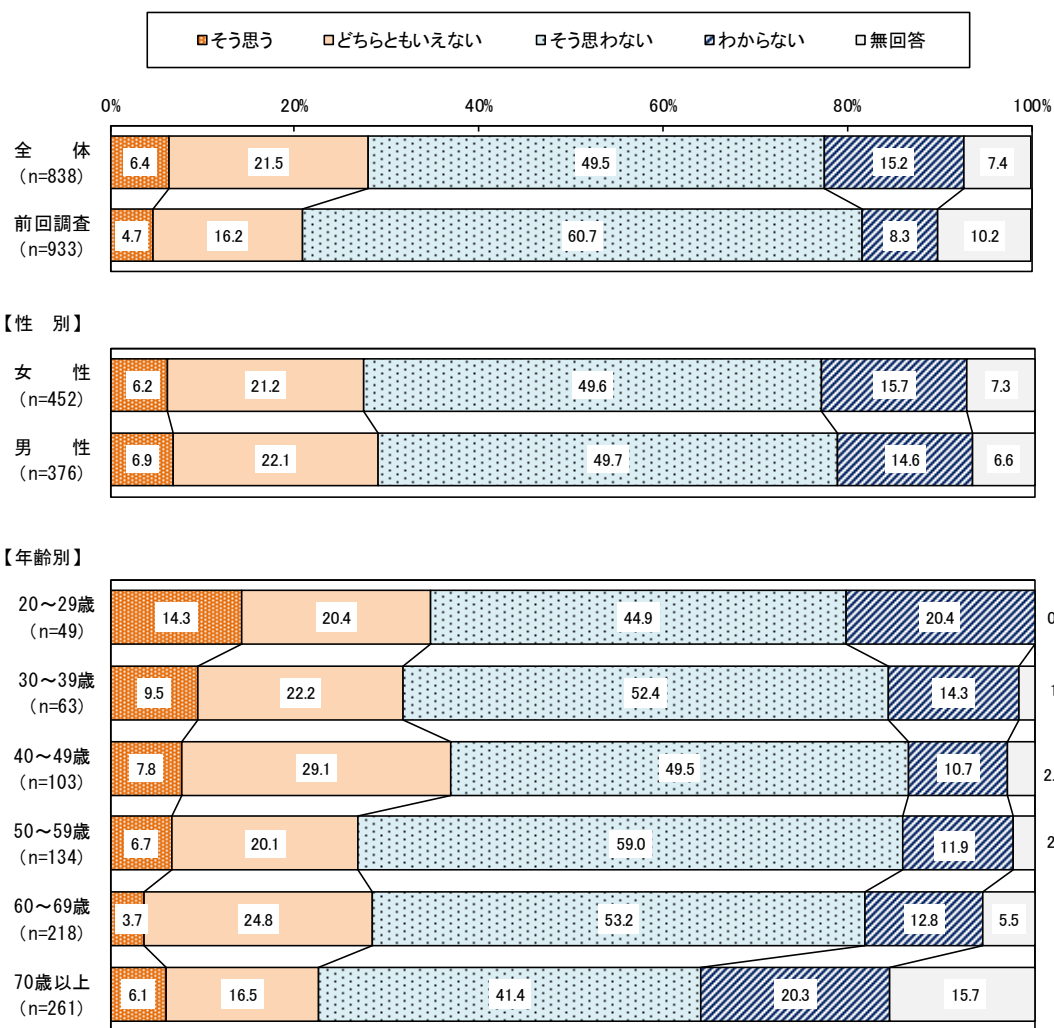
「そう思う」の割合をみると、【キ）家族の理解や協力が得やすい】が最も高く、2割弱となっている。

「そう思わない」の割合をみると、【ウ）労働条件が整っている】が半数強で最も高くなっている。【ア）働く場が多い】と【イ）能力発揮の場が多い】が半数弱で続いている。

前回調査と比べると、いずれの項目も「そう思わない」の割合は減少、もしくは同程度となっている。



## ① 働く場が多い



### <全体結果>

【働く場が多い】については、「そう思わない」の割合が半数弱を占め、「そう思う」の割合を大きく上回っている。

「どちらともいえない」の割合は、2割強となっている。

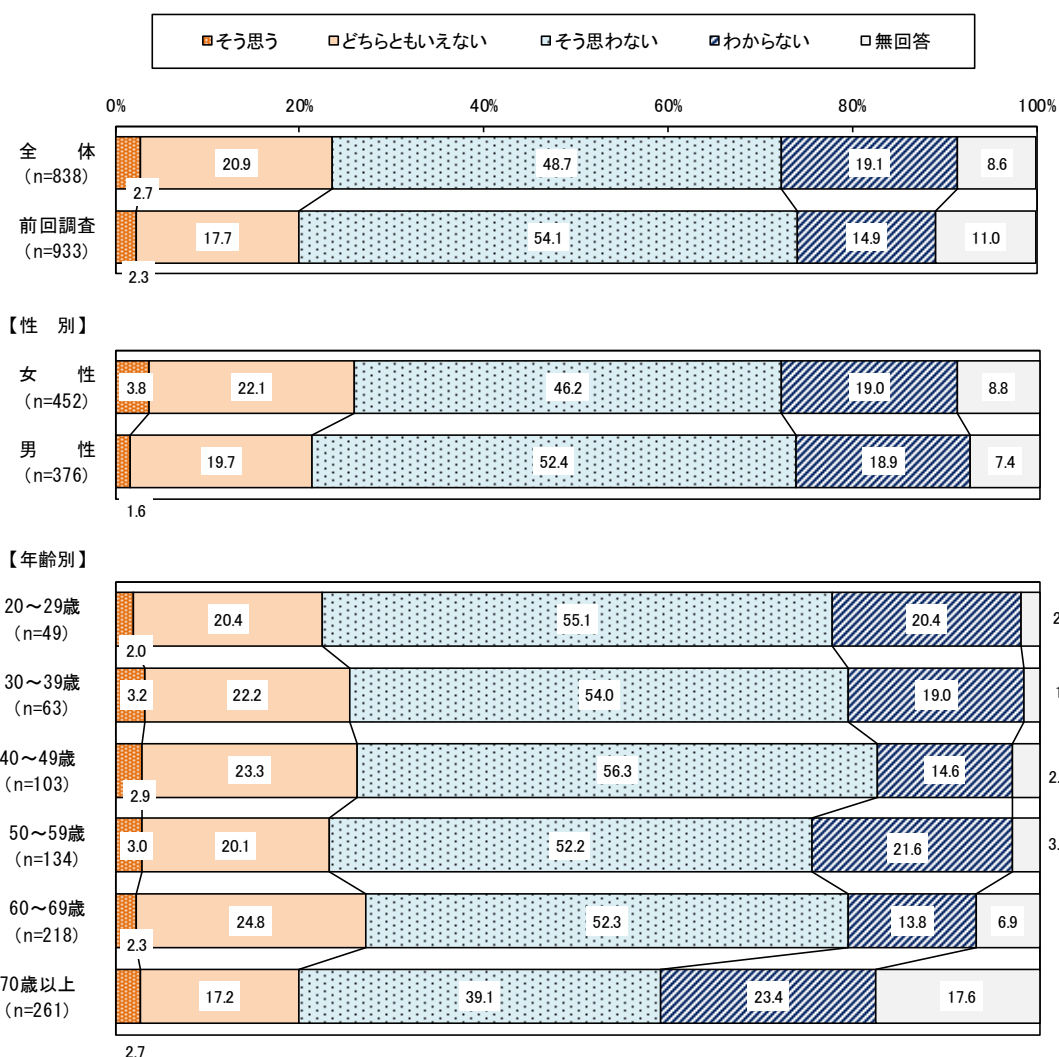
前回調査と比べると、「そう思わない」の割合が減少し、「わからない」の割合が増加している。

### <性別・年齢別>

男女別では、特に大きな差は見られない。

年齢別では、「そう思う」の割合は20歳代で、「そう思わない」の割合は50歳代で、他年齢層よりも高くなっている。

## ② 能力発揮の場が多い



### <全体結果>

【能力発揮の場が多い】については、「そう思わない」の割合が半数弱を占め、「そう思う」の割合を大きく上回っている。

「どちらともいえない」の割合は、2割強となっている。

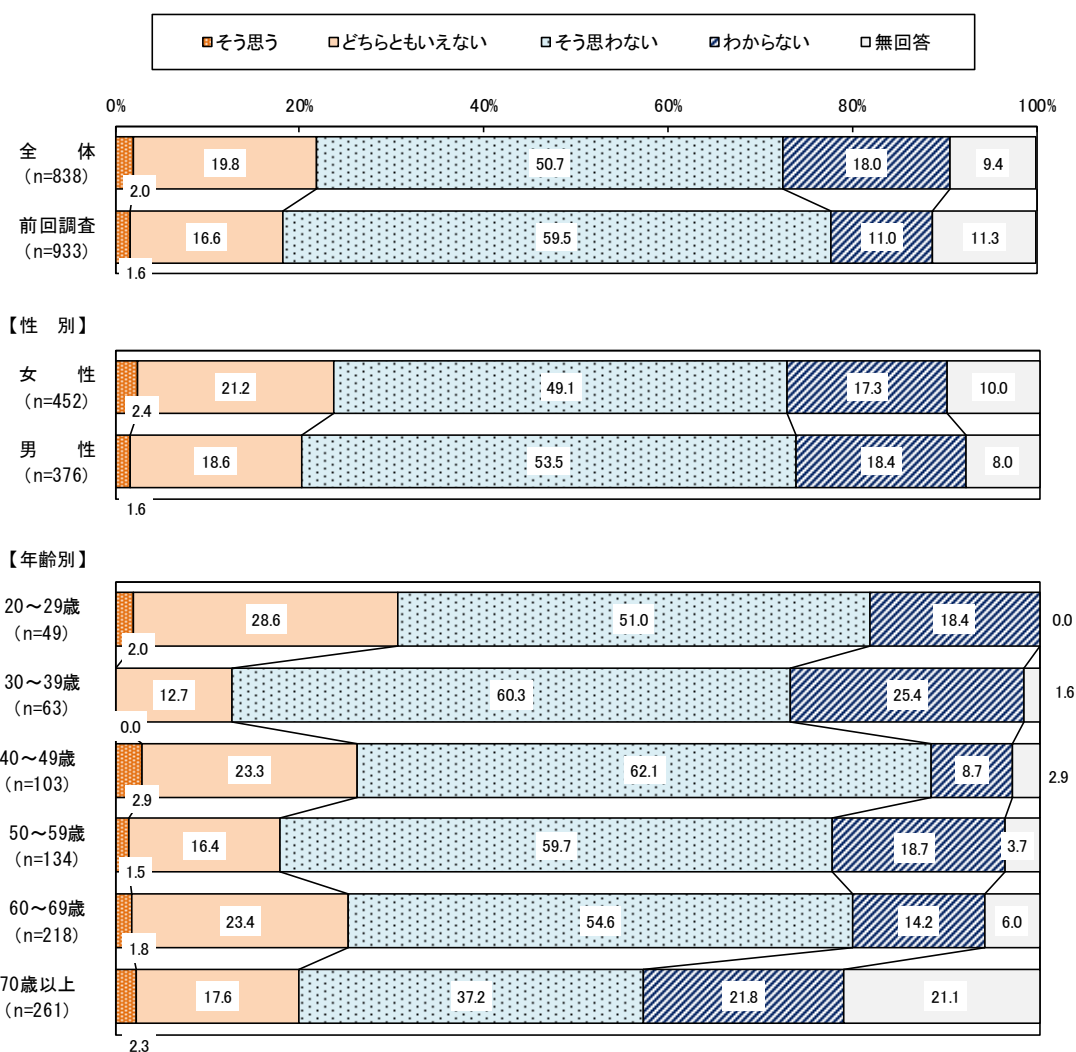
前回調査と比べると、「そう思わない」の割合が減少し、「わからない」の割合がやや増加している。

### <性別・年齢別>

男女別では、「そう思わない」の割合が、男性の方が女性よりも高くなっている。

年齢別では、「そう思わない」の割合は40歳以下で高く、いずれも全体を5ポイント以上上回っている。

### ③ 労働条件が整っている



#### <全体結果>

【労働条件が整っている】については、「そう思わない」の割合が半数強を占め、「そう思う」の割合を大きく上回っている。

「どちらともいえない」の割合は、2割弱となっている。

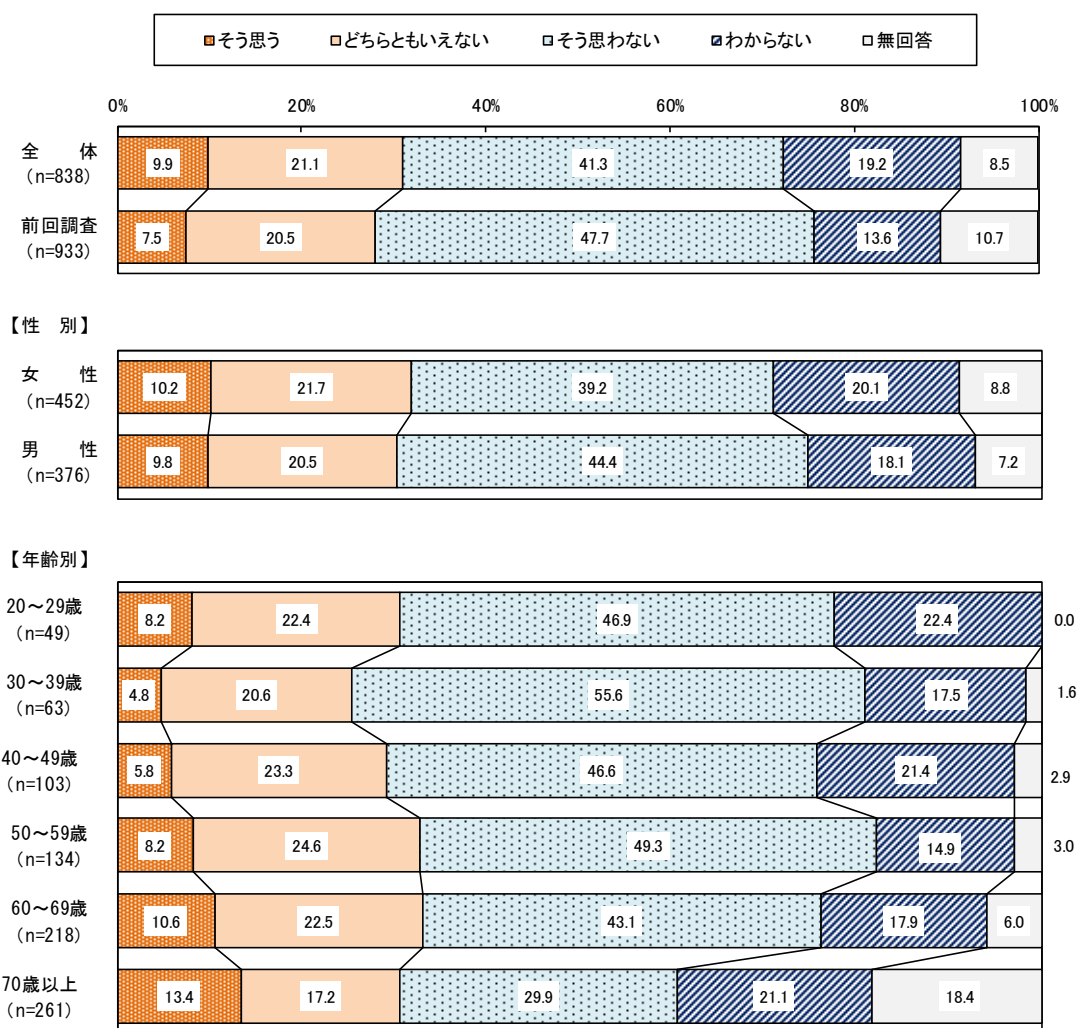
前回調査と比べると、「そう思わない」の割合が減少し、「わからない」の割合が増加している。

#### <性別・年齢別>

男女別では、「そう思わない」の割合が、男性の方が女性よりもやや高くなっている。

年齢別では、「そう思わない」の割合は30歳代と40歳代と50歳代で高く、いずれも6割前後となっている。「そう思う」では40歳代、「わからない」では30歳代で、他年齢層よりも高くなっている。

#### ④ 育児施設が整備されている



#### <全体結果>

【育児施設が整備されている】については、「そう思わない」の割合が4割強を占め、「そう思う」の割合を大きく上回っている。

「どちらともいえない」の割合は、2割強となっている。

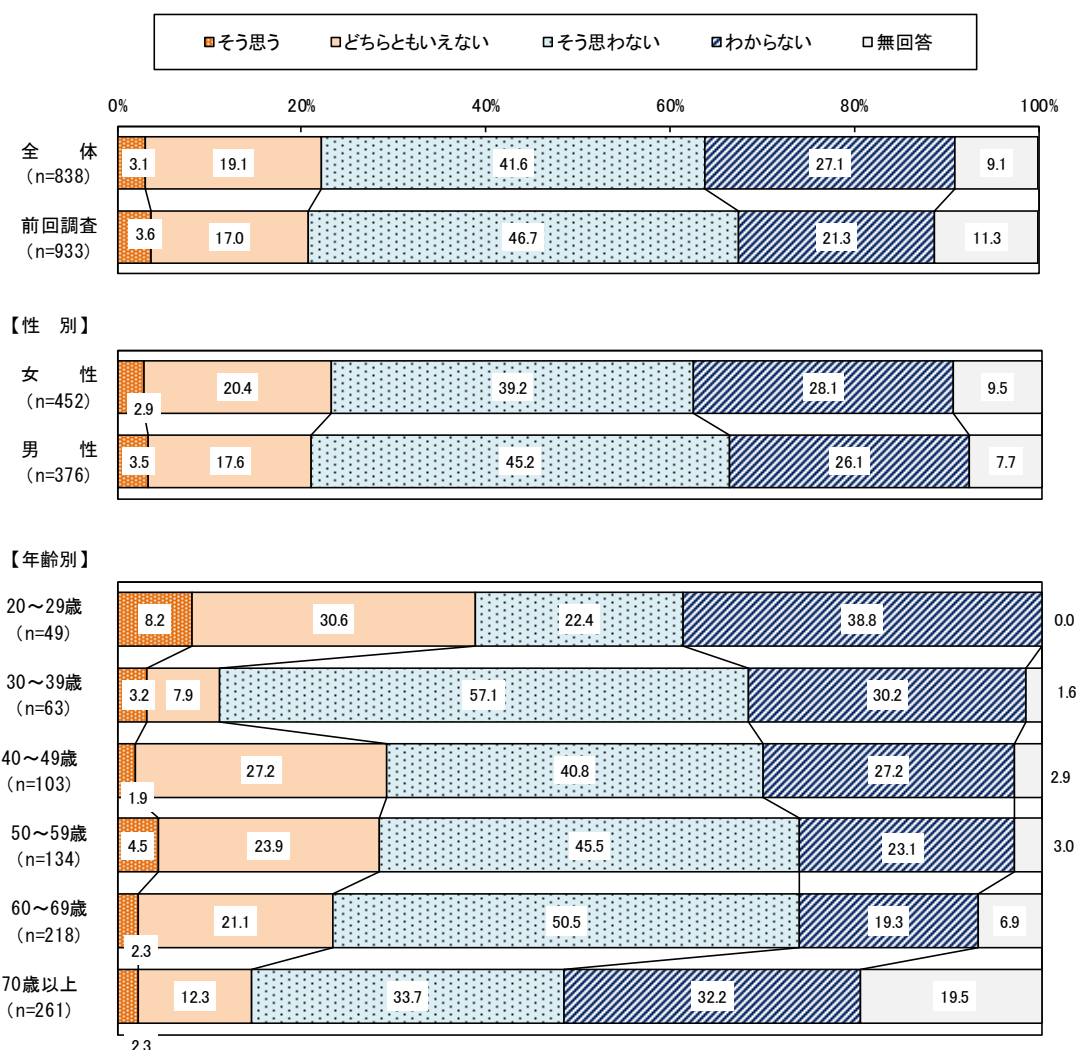
前回調査と比べると、「そう思わない」の割合が減少し、「わからない」の割合が増加している。

#### <性別・年齢別>

男女別では、「そう思わない」の割合が、男性の方が女性よりも高くなっている。

年齢別では、「そう思わない」の割合は60歳以下で高く、中でも30歳代で半数を超えている。

### ⑤ 昇進・給与等に男女の差別的扱いがない



#### <全体結果>

【昇進・給与等に男女の差別的扱いがない】については、「そう思わない」の割合が4割強を占め、「そう思う」の割合を大きく上回っている。

「どちらともいえない」の割合は、2割弱となっている。

前回調査と比べると、「そう思わない」の割合が減少し、「わからない」の割合が増加している。

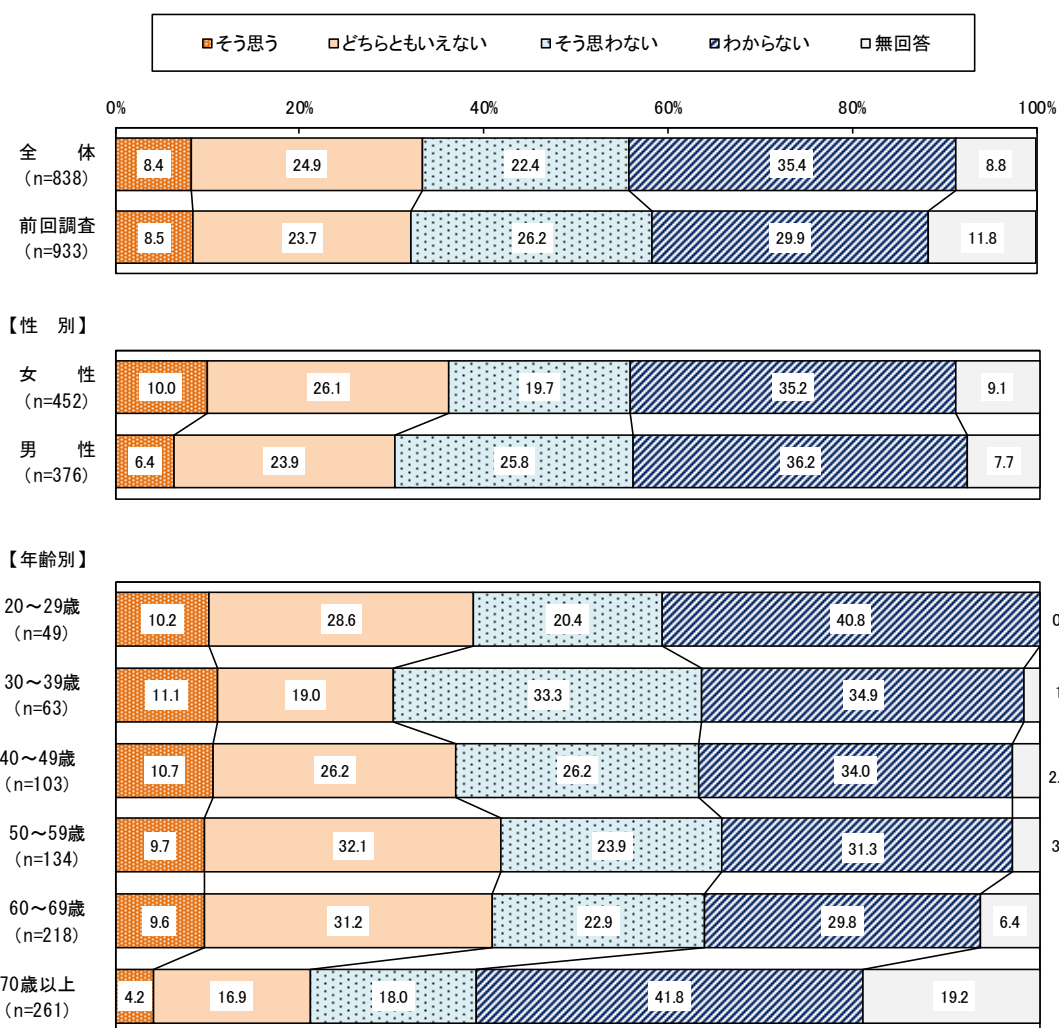
#### <性別・年齢別>

男女別では、「そう思わない」の割合が、男性の方が女性よりも高くなっている。

年齢別では、「そう思わない」の割合は30歳代と60歳代で高く、いずれも半数を超えている。「どちらともいえない」と「わからない」では、20歳代で最も高く、他年齢層よりも高くなっている。



## ⑥ 結婚・出産退職の圧力等がない



### <全体結果>

【結婚・出産退職の圧力等がない】については、「わからない」の割合が全体の約3分の1を占め、最も高くなっている。

「どちらともいえない」の割合は、全体の約4分の1を占めている。

「そう思わない」の割合は2割強で、「そう思う」の割合を大きく上回っている。

前回調査と比べると、「わからない」の割合が増加している。

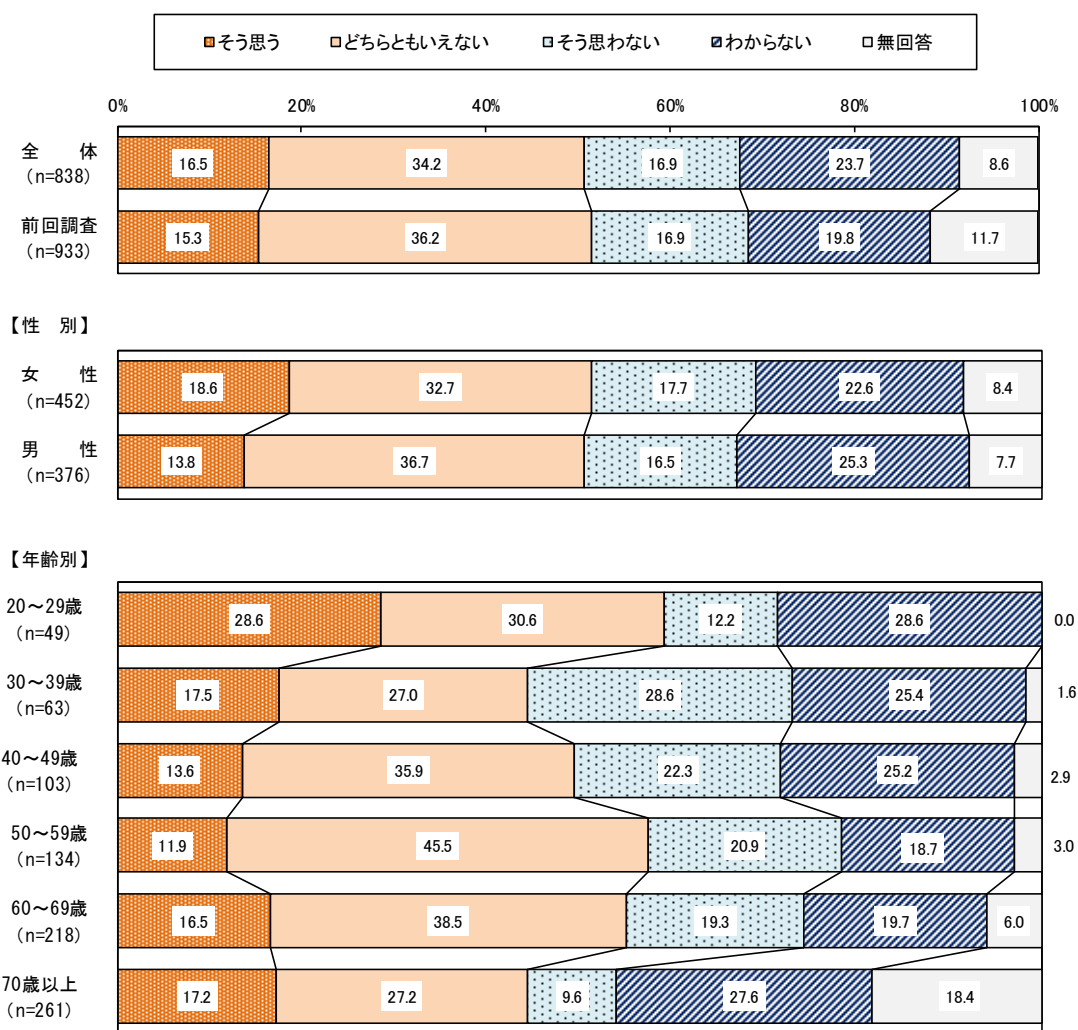
### <性別・年齢別>

男女別では、「そう思わない」の割合が、男性の方が女性よりも高くなっている。

年齢別では、「そう思わない」の割合は30代で、「どちらともいえない」の割合は50歳代と60歳代で高く、いずれも3割を超えている。20歳代と70歳以上では、4割強が「わからない」と回答している。



## ⑦ 家族の理解や協力が得やすい



### <全体結果>

【家族の理解や協力が得やすい】については、「どちらともいえない」の割合が全体の約3分の1を占めている。

「わからない」の割合は、2割強となっている。

「そう思わない」の割合は2割弱で、「そう思う」の割合と拮抗している。

前回調査と比べると、特に大きな差は見られない。

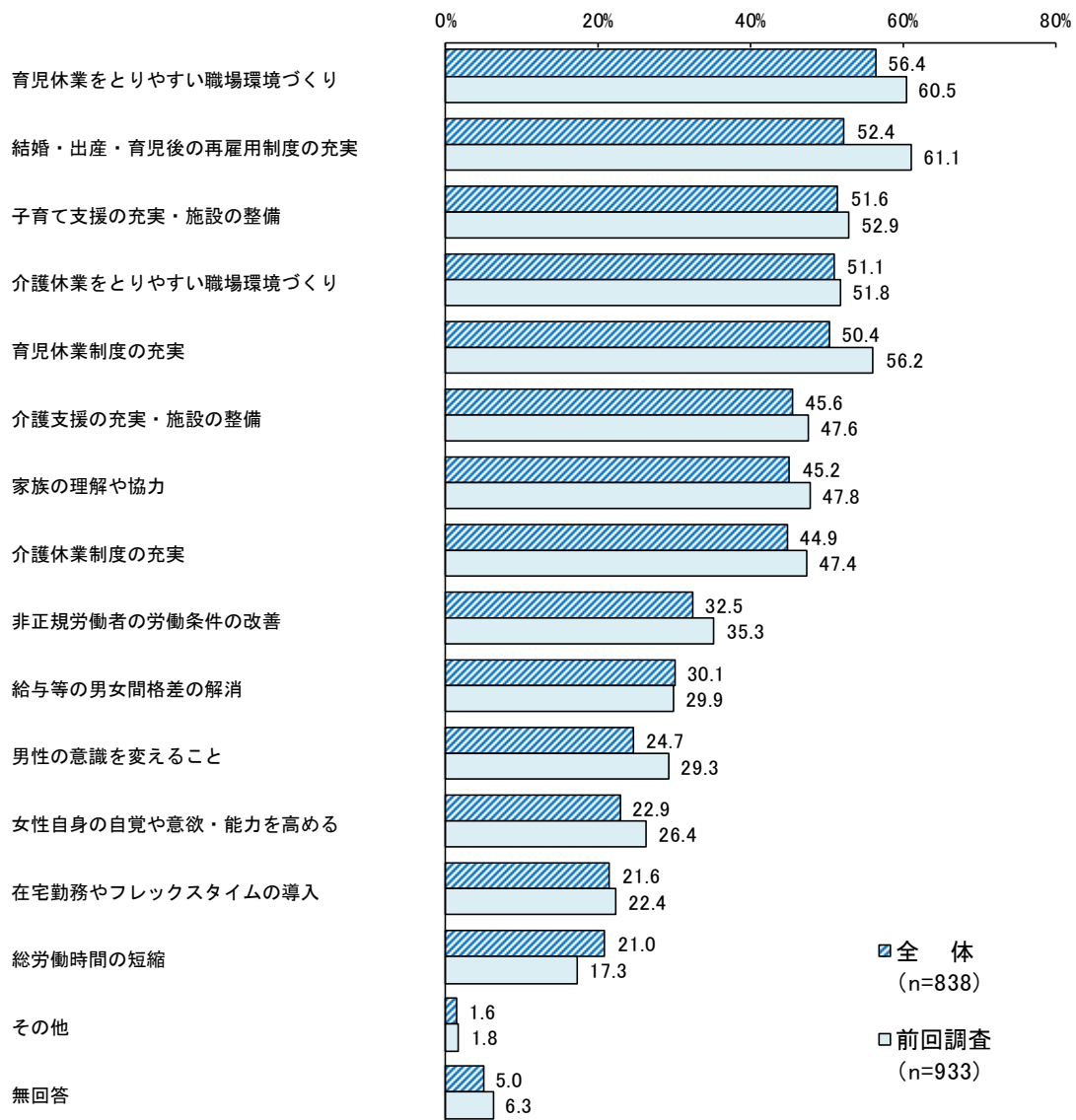
### <性別・年齢別>

男女別では、「そう思う」の割合が、女性の方が男性よりもやや高くなっている。

年齢別では、「そう思う」の割合は20歳代、「そう思わない」では30歳代、「どちらともいえない」では50歳代で、他年齢層よりも高くなっている。

## (5) 女性が働き続けるために必要なこと

問7 あなたは、女性が働き続けるためには、今後どのようなことが必要だと思いますか。



### <全体結果>

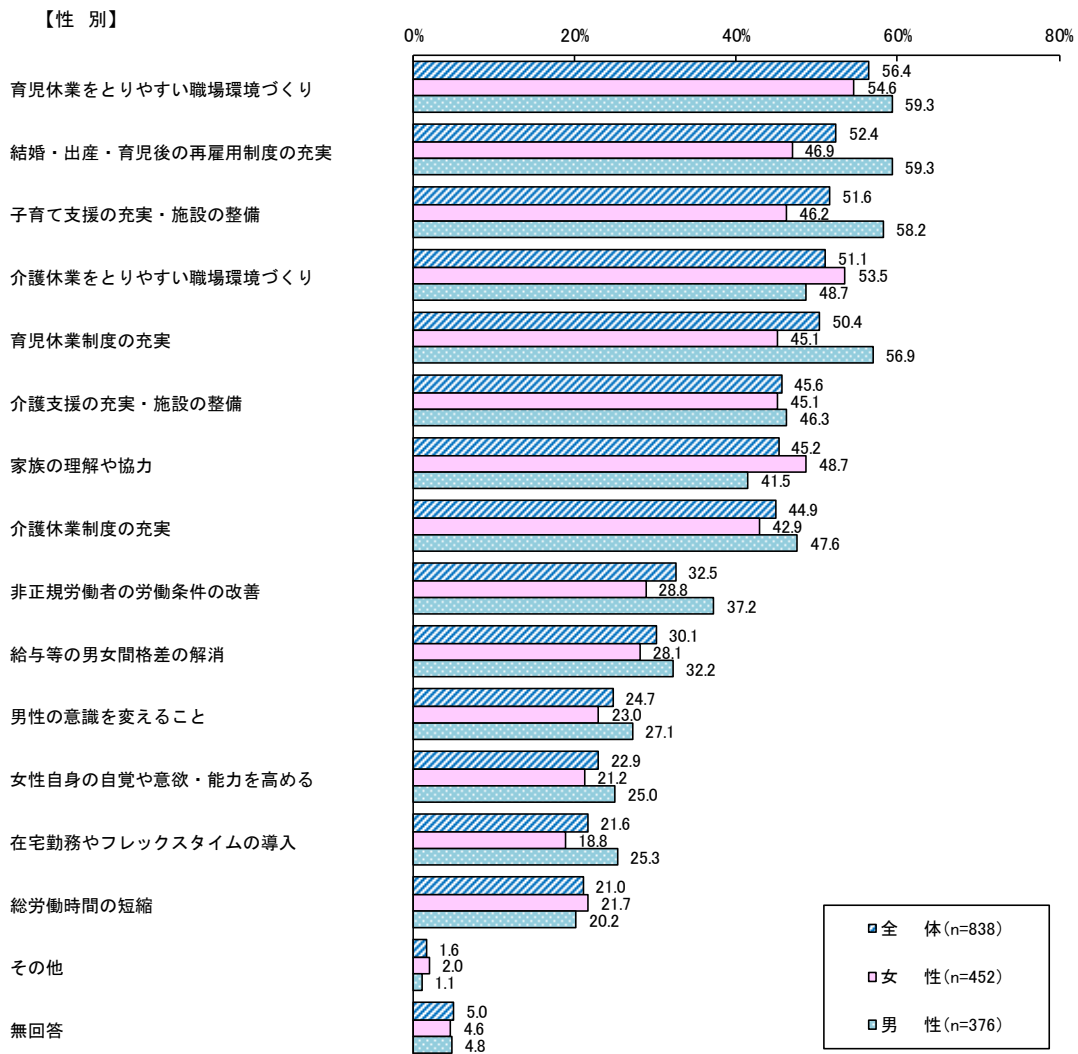
女性が働き続けるために必要なこととして、「育児休業をとりやすい職場環境づくり」をあげた人が最も多く、6割弱の人がこれを回答した。以下、「結婚・出産・育児後の再雇用制度の充実」、「子育て支援の充実・施設の整備」、「介護休業をとりやすい職場環境づくり」、「育児休業制度の充実」が5割台、「介護支援の充実・施設の整備」、「家族の理解や協力」、「介護休業制度の充実」が4割台などとなっている。

前回調査と比べると、「給与等の男女間格差の解消」と「総労働時間の短縮」を除いた項目で割合が減少しており、中でも「結婚・出産・育児後の再雇用制度の充実」では8.7ポイント減少している。

<性別・年齢別>

男女別では、「結婚・出産・育児後の再雇用制度の充実」、「子育て支援の充実・施設の整備」、「育児休業制度の充実」などでは男性の方が、「家族の理解や協力」、「介護休業をとりやすい職場環境づくり」は女性の方が、それぞれ割合が高くなっている。

年齢別では、「育児休業をとりやすい職場環境づくり」、「結婚・出産・育児後の再雇用制度の充実」、「子育て支援の充実・施設の整備」、「育児休業制度の充実」、「男性の意識を変えること」、「在宅勤務やフレックスタイムの導入」の割合が30歳以下で、他年齢層よりも高くなっている。一方、30歳代と40歳代では「給与等の男女間格差の解消」の割合が高くなっている。



上段：回答者数／下段：割合（％）

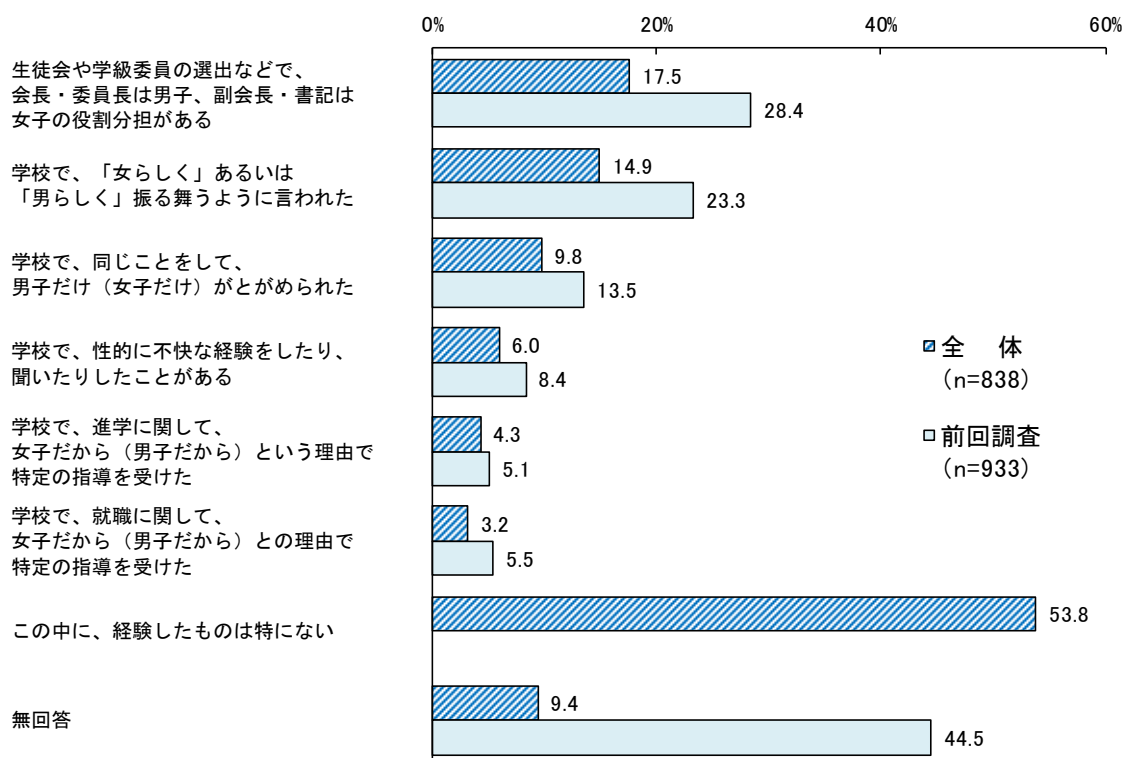
	合計	育児休業制度の充実	介護休業制度の充実	育児休業をとりやすい職場環境づくり	介護休業をとりやすい職場環境づくり	給与等の男女間格差の解消	結婚・出産・育児後の再雇用制度の充実	総労働時間の短縮	非正規労働者の労働条件の改善	
全 体	838 100.0%	422 50.4%	376 44.9%	473 56.4%	428 51.1%	252 30.1%	439 52.4%	176 21.0%	272 32.5%	
前回調査(H27)	100.0%	56.2%	47.4%	60.5%	51.8%	29.9%	61.1%	17.3%	35.3%	
【性別】	男 性	452 100.0%	204 45.1%	194 42.9%	247 54.6%	242 53.5%	127 28.1%	212 46.9%	98 21.7%	130 28.8%
	女 性	376 100.0%	214 56.9%	179 47.6%	223 59.3%	183 48.7%	121 32.2%	223 59.3%	76 20.2%	140 37.2%
	無回答	10 100.0%	4 40.0%	3 30.0%	3 30.0%	3 30.0%	4 40.0%	4 40.0%	2 20.0%	2 20.0%
【年齢別】	20～29歳	49 100.0%	33 67.3%	16 32.7%	38 77.6%	20 40.8%	13 26.5%	32 65.3%	14 28.6%	14 28.6%
	30～39歳	63 100.0%	38 60.3%	25 39.7%	49 77.8%	31 49.2%	25 39.7%	42 66.7%	19 30.2%	20 31.7%
	40～49歳	103 100.0%	47 45.6%	42 40.8%	68 66.0%	59 57.3%	42 40.8%	50 48.5%	18 17.5%	29 28.2%
	50～59歳	134 100.0%	62 46.3%	62 46.3%	72 53.7%	73 54.5%	44 32.8%	66 49.3%	26 19.4%	50 37.3%
	60～69歳	218 100.0%	111 50.9%	107 49.1%	116 53.2%	114 52.3%	61 28.0%	120 55.0%	36 16.5%	83 38.1%
	70歳以上	261 100.0%	127 48.7%	122 46.7%	128 49.0%	129 49.4%	65 24.9%	126 48.3%	63 24.1%	75 28.7%
	無回答	10 100.0%	4 40.0%	2 20.0%	2 20.0%	2 20.0%	2 20.0%	3 30.0%	0 0.0%	1 10.0%

	合計	在宅勤務やフレックスタイムの導入	子育て支援の充実・施設の整備	介護支援の充実・施設の整備	家族の理解や協力	女性自身の自覚や意欲・能力を高める	男性の意識を変えること	その他	無回答	
全 体	838 100.0%	181 21.6%	432 51.6%	382 45.6%	15 45.2%	28 22.9%	8 24.7%	8 1.6%	8 5.0%	
前回調査(H27)	100.0%	22.4%	52.9%	47.6%	47.8%	26.4%	29.3%	1.8%	6.3%	
【性別】	男 性	452 100.0%	85 18.8%	209 46.2%	204 45.1%	220 48.7%	96 21.2%	104 23.0%	9 2.0%	21 4.6%
	女 性	376 100.0%	95 25.3%	219 58.2%	174 46.3%	156 41.5%	94 25.0%	102 27.1%	4 1.1%	18 4.8%
	無回答	10 100.0%	1 10.0%	4 40.0%	4 40.0%	3 30.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	3 30.0%
【年齢別】	20～29歳	49 100.0%	17 34.7%	30 61.2%	12 24.5%	24 49.0%	10 20.4%	16 32.7%	1 2.0%	1 2.0%
	30～39歳	63 100.0%	22 34.9%	39 61.9%	25 39.7%	31 49.2%	9 14.3%	22 34.9%	0 0.0%	1 1.6%
	40～49歳	103 100.0%	32 31.1%	56 54.4%	43 41.7%	52 50.5%	24 23.3%	29 28.2%	3 2.9%	5 4.9%
	50～59歳	134 100.0%	35 26.1%	77 57.5%	74 55.2%	66 49.3%	29 21.6%	35 26.1%	0 0.0%	1 0.7%
	60～69歳	218 100.0%	30 13.8%	123 56.4%	98 45.0%	100 45.9%	52 23.9%	45 20.6%	2 0.9%	6 2.8%
	70歳以上	261 100.0%	45 17.2%	104 39.8%	128 49.0%	104 39.8%	65 24.9%	59 22.6%	7 2.7%	27 10.3%
	無回答	10 100.0%	0 0.0%	3 30.0%	2 20.0%	2 20.0%	3 30.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%

## 5 教育について

### (1) 学校生活の中で経験したこと

問8① あなたは、学校生活の中で、次のようなことを経験したことがありますか。  
次の中から選んでください。



#### <全体結果>

学校生活の中で経験したこととして、「生徒会や学級委員の選出などで、会長・委員長は男子、副会長・書記は女子の役割分担がある」をあげる人が最も多く、2割弱となっている。「学校で、『女らしく』あるいは『男らしく』振る舞うように言われた」が1割台で続いている。

「この中に、経験したものは特にない」の割合は、5割強となっている。

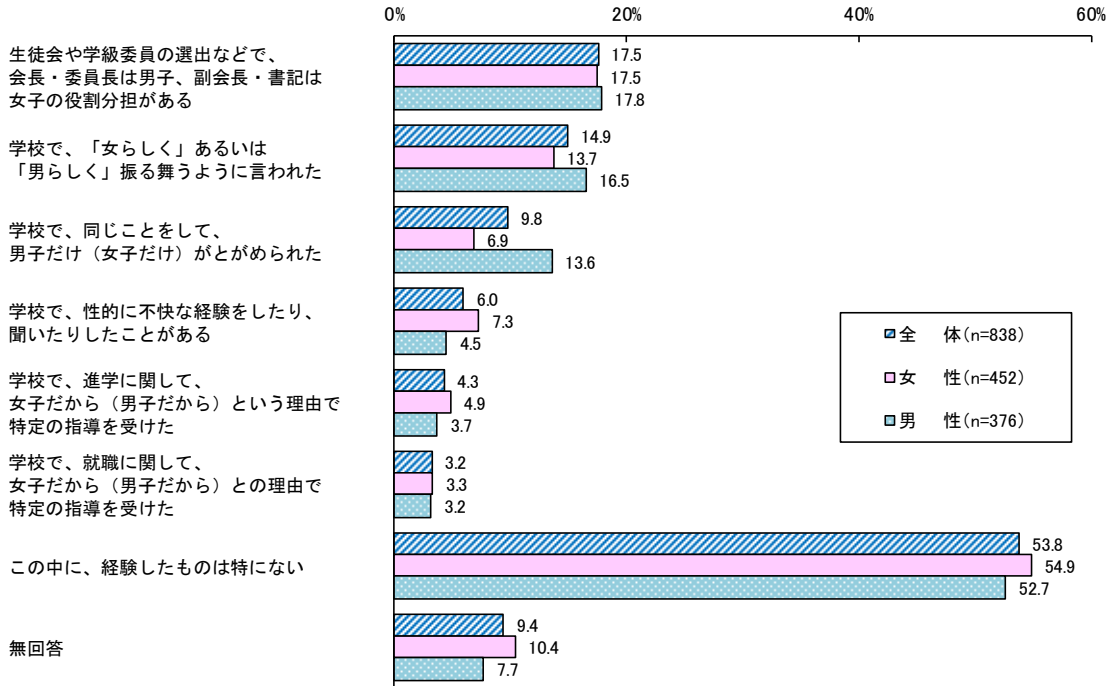
前回調査と比べると、全ての項目で割合が低く、「生徒会や学級委員の選出などで、会長・委員長は男子、副会長・書記は女子の役割分担がある」では10ポイント以上下回っている。

#### <性別・年齢別>

男女別では、特に大きな差はみられないが、男性は「学校で、同じことをして、男子だけ（女子だけ）がとがめられた」や「学校で、『女らしく』あるいは『男らしく』振る舞うように言われた」の割合が女性をやや上回っている。

年齢別では、「この中に、経験したものは特にない」が30歳代以下で半数を下回っている。

【性別】



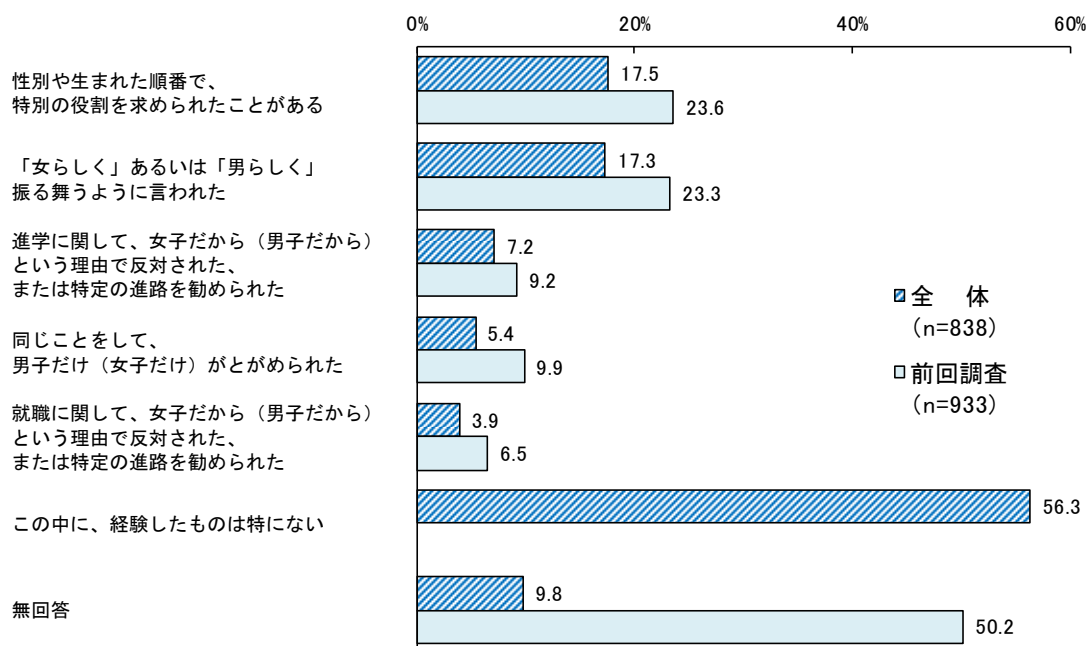
上段：回答者数／下段：割合 (%)

	合計	生徒会や学級委員の選出などで、会長・委員長は男子、副会長・書記は女子の役割分担がある							この中に、経験したものは特にない	
		学校で、進学に関して、女子だから（男子だから）という理由で特定の指導を受けた	学校で、就職に関して、女子だから（男子だから）との理由で特定の指導を受けた	学校で、「女らしく」あるいは「男らしく」振る舞うように言われた	学校で、同じことをして（男子だけ）がとがめられた	学校で、性的に不快な経験をしたり、聞いたりしたことがある	無回答	割合 (%)	割合 (%)	
全体	838	147	36	27	125	82	50	451	79	
前回調査 (H27)	100.0%	28.4%	5.1%	5.5%	23.3%	13.5%	8.4%	-	44.5%	
【性別】	男性	452	79	22	15	62	31	33	248	47
	女性	376	67	14	12	62	51	17	198	29
	無回答	10	1	0	0	1	0	0	5	3
【年齢】	20～29歳	49	8	2	0	11	13	4	24	1
	30～39歳	63	5	4	3	13	15	6	30	2
	40～49歳	103	10	4	2	13	11	9	65	4
	50～59歳	134	32	7	4	24	17	8	73	3
	60～69歳	218	55	10	7	28	12	16	113	16
	70歳以上	261	37	9	10	35	13	7	141	51
	無回答	10	0	0	1	1	1	0	5	2
	割合 (%)	100.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	50.0%	20.0%



## (2) 学校生活以外の場で経験したこと

問8② あなたは、学校生活以外の場（家庭や身のまわり）で、次のようなことを経験したことがありますか。次の中から選んでください。



### <全体結果>

学校生活以外の場で経験したこととして、「性別や生まれた順番で、特別の役割を求められたことがある」をあげる人が最も多く、2割弱となっている。『女らしく』あるいは『男らしく』振る舞うように言われた」が僅差で続いている。

「この中に、経験したものは特にない」の割合は、6割弱となっている。

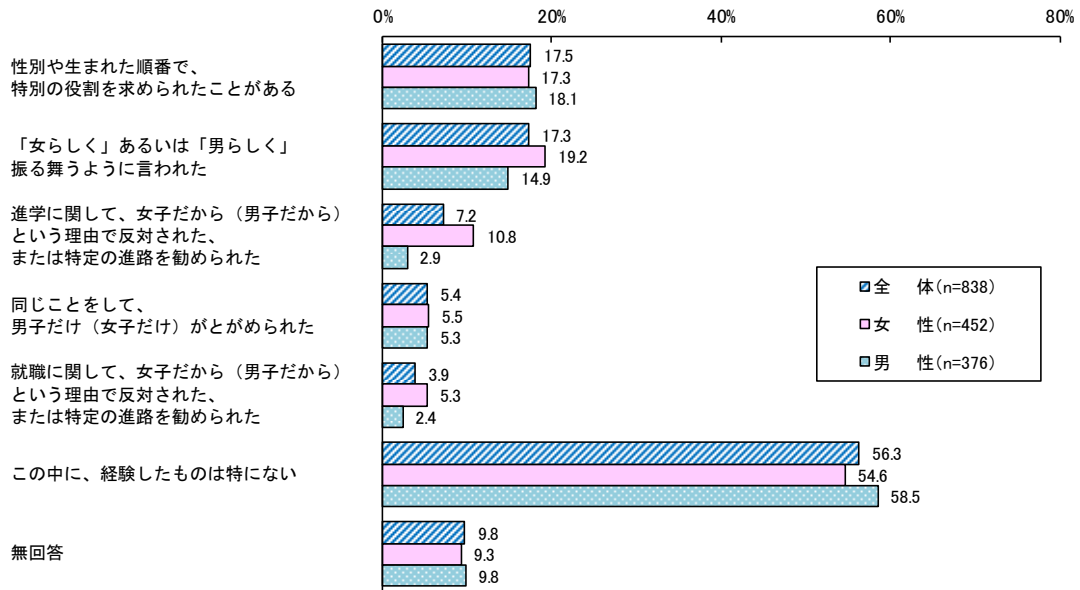
前回調査と比べると、全ての項目で割合が低く、「性別や生まれた順番で、特別の役割を求められたことがある」と『女らしく』あるいは『男らしく』振る舞うように言われた」では6ポイント下回っている。

### <性別・年齢別>

男女別では、女性は「進学に関して、女子だから（男子だから）という理由で反対された、または特定の進路を勧められた」の割合が高く、男性を上回っている。

年齢別では、「性別や生まれた順番で、特別の役割を求められたことがある」は50歳代で、『女らしく』あるいは『男らしく』振る舞うように言われた」は20歳代で、「同じことをして、男子だけ（女子だけ）がとがめられた」は30歳代で、他年齢層よりも高くなっている。

【性別】



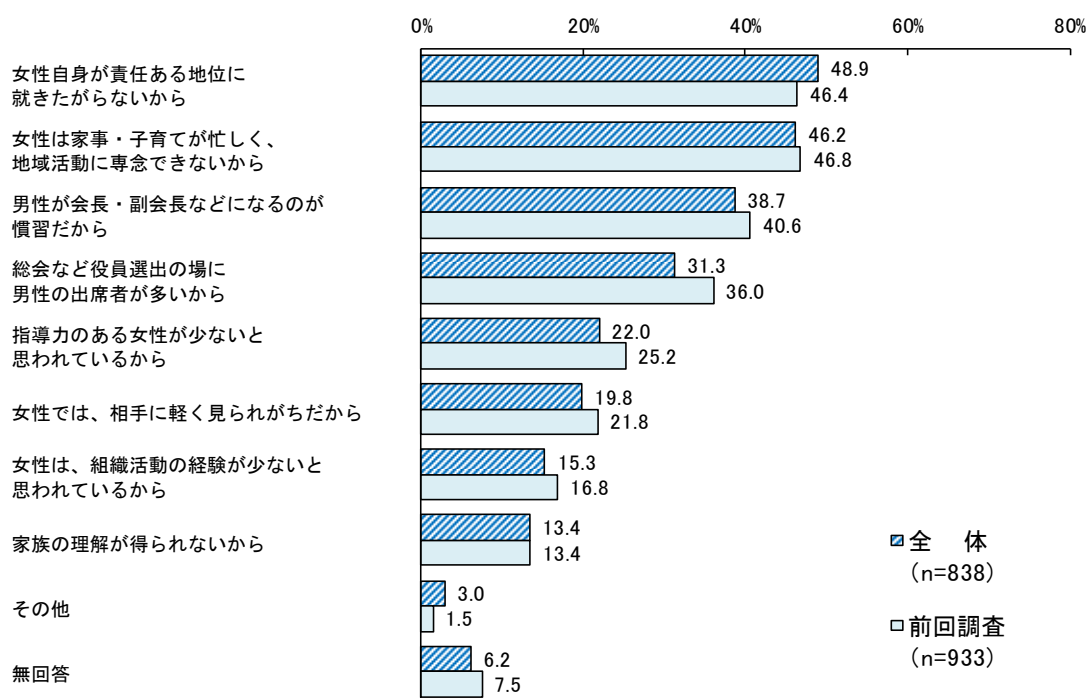
上段:回答者数/下段:割合(%)

	合計	進学に関して、女子だから（男子だから）という理由で反対された、または特定の進路を勧められた	就職に関して、女子だから（男子だから）という理由で反対された、または特定の進路を勧められた	「女らしく」あるいは「男らしく」振る舞うように言われた	同じことをして、男子だけ（女子だけ）がとがめられた	性別や生まれた順番で、特別の役割を求められたことがある	この中に、経験したものは特にない	無回答	
全体	838	60	33	145	45	147	472	82	
	100.0%	7.2%	3.9%	17.3%	5.4%	17.5%	56.3%	9.8%	
前回調査(H27)	100.0%	9.2%	6.5%	23.3%	9.9%	23.6%	-	50.2%	
【性別】	男性	49	24	87	25	78	247	42	
		100.0%	10.8%	5.3%	19.2%	5.5%	17.3%	54.6%	9.3%
	女性	376	11	9	56	20	68	220	37
	100.0%	2.9%	2.4%	14.9%	5.3%	18.1%	58.5%	9.8%	
	無回答	10	0	2	0	1	5	3	
	100.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	10.0%	50.0%	30.0%	
【年齢】	20~29歳	49	3	1	14	4	10	21	2
		100.0%	6.1%	2.0%	28.6%	8.2%	20.4%	42.9%	4.1%
	30~39歳	63	6	4	13	9	14	34	2
		100.0%	9.5%	6.3%	20.6%	14.3%	22.2%	54.0%	3.2%
	40~49歳	103	5	1	17	4	22	65	4
		100.0%	4.9%	1.0%	16.5%	3.9%	21.4%	63.1%	3.9%
	50~59歳	134	13	13	33	10	37	68	6
	100.0%	9.7%	9.7%	24.6%	7.5%	27.6%	50.7%	4.5%	
60~69歳	218	11	5	28	9	28	139	21	
	100.0%	5.0%	2.3%	12.8%	4.1%	12.8%	63.8%	9.6%	
70歳以上	261	22	9	39	9	35	138	45	
	100.0%	8.4%	3.4%	14.9%	3.4%	13.4%	52.9%	17.2%	
	無回答	10	0	1	0	1	7	2	
	100.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	70.0%	20.0%	

## 6 地域活動等について

### (1) 地域団体の役員に男性が多い原因

問9 PTAや町内会などの地域団体では、会長・副会長などの役員は男性が多いようです。その主な原因は何だと思えますか。



#### <全体結果>

地域団体の役員に男性が多い原因として、「女性自身が責任ある地位に就きたがらないから」をあげる人が最も多く、5割弱となっている。以下、「女性は家事・子育てが忙しく、地域活動に専念できないから」が4割台、「男性が会長・副会長などになるのが慣習だから」と「総会など役員選出の場に男性の出席者が多いから」が3割台、「指導力のある女性が少ないと思われているから」が2割台で続いている。

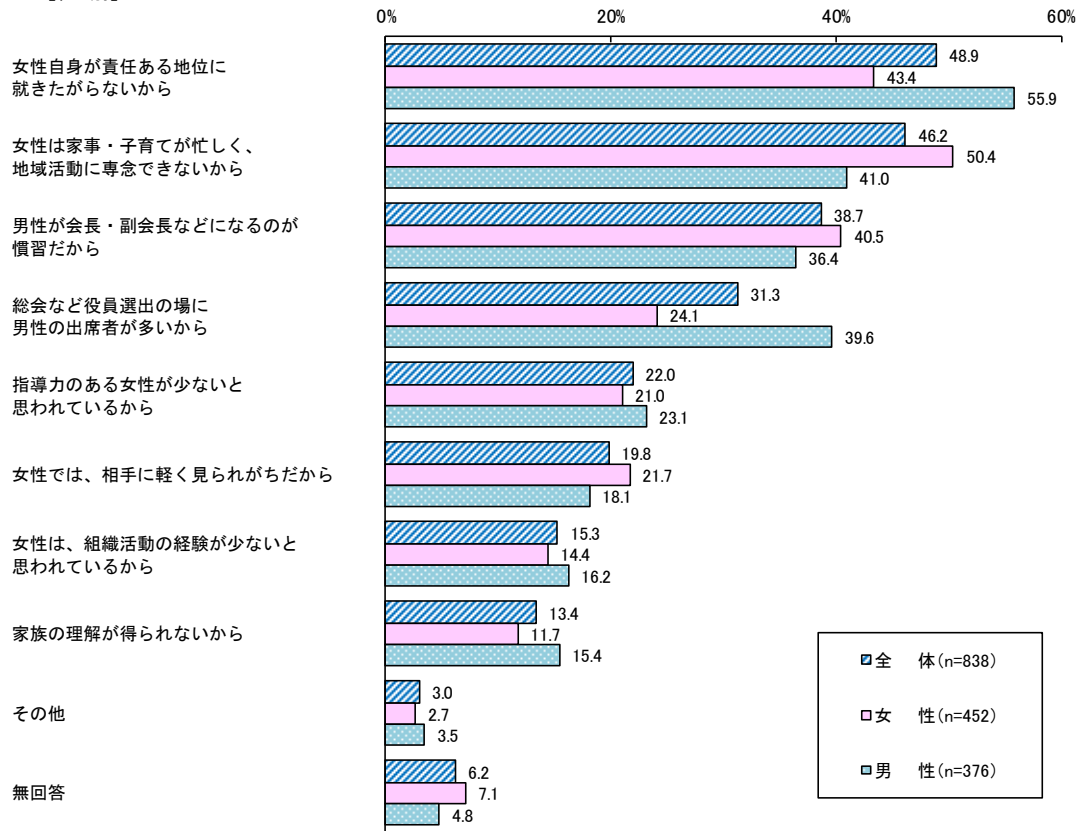
前回調査と比べると、「女性自身が責任ある地位に就きたがらないから」を除いた項目で、割合が減少している。

#### <性別・年齢別>

男女別では、男性は「総会など役員選出の場に男性の出席者が多いから」と「女性自身が責任ある地位に就きたがらないから」の割合が女性よりも高く、女性は「女性は家事・子育てが忙しく、地域活動に専念できないから」の割合が男性よりも高くなっている。

年齢別では、「女性は家事・子育てが忙しく、地域活動に専念できないから」、「男性が会長・副会長などになるのが慣習だから」、「女性では、相手に軽く見られがちだから」が30歳以下で、それぞれ割合が高くなっている。

【性別】



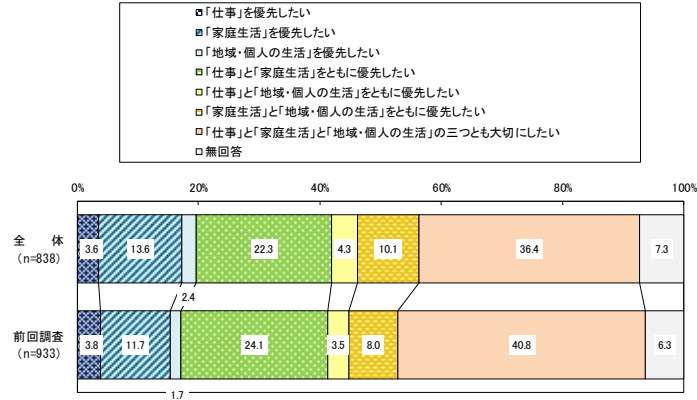
上段: 回答者数 / 下段: 割合 (%)

	合計	女性自身が責任ある地位に就きたがらないから	女性は家事・子育てが忙しく、地域活動に専念できないから	家族の理解が得られないから	女性は、組織活動の経験が少ないと思われるから	女性では、相手に軽く見られがちだから	指導力のある女性が少ないと思われるから	男性が会長・副会長などになるのが慣習だから	総会など役員選出の場に男性の出席者が多いから	その他	無回答	
全体	838 100.0%	410 48.9%	387 46.2%	112 13.4%	128 15.3%	166 19.8%	184 22.0%	324 38.7%	262 31.3%	25 3.0%	52 6.2%	
前回調査(H27)	100.0%	46.4%	46.8%	13.4%	16.8%	21.8%	25.2%	40.6%	36.0%	1.5%	7.5%	
【性別】	男性	452 100.0%	196 43.4%	228 50.4%	53 11.7%	65 14.4%	98 21.7%	95 21.0%	183 40.5%	109 24.1%	12 2.7%	32 7.1%
	女性	376 100.0%	210 55.9%	154 41.0%	58 15.4%	61 16.2%	68 18.1%	87 23.1%	137 36.4%	149 39.6%	13 3.5%	18 4.8%
	無回答	10 100.0%	4 40.0%	5 50.0%	1 10.0%	2 20.0%	0 0.0%	2 20.0%	4 40.0%	4 40.0%	0 0.0%	2 20.0%
	合計	838	410	387	112	128	166	184	324	262	25	52
【年齢】	20~29歳	49 100.0%	24 49.0%	24 49.0%	4 8.2%	8 16.3%	16 32.7%	10 20.4%	24 49.0%	16 32.7%	3 6.1%	1 2.0%
	30~39歳	63 100.0%	30 47.6%	37 58.7%	7 11.1%	13 20.6%	21 33.3%	13 20.6%	33 52.4%	23 36.5%	2 3.2%	2 3.2%
	40~49歳	103 100.0%	54 52.4%	50 48.5%	8 7.8%	12 11.7%	22 21.4%	18 17.5%	46 44.7%	34 33.0%	9 8.7%	3 2.9%
	50~59歳	134 100.0%	68 50.7%	64 47.8%	28 20.9%	22 16.4%	29 21.6%	35 26.1%	56 41.8%	40 29.9%	0 0.0%	2 1.5%
	60~69歳	218 100.0%	115 52.8%	105 48.2%	35 16.1%	35 16.1%	41 18.8%	52 23.9%	80 36.7%	79 36.2%	4 1.8%	6 2.8%
	70歳以上	261 100.0%	114 43.7%	104 39.8%	28 10.7%	38 14.6%	37 14.2%	54 20.7%	83 31.8%	67 25.7%	7 2.7%	37 14.2%
	無回答	10 100.0%	5 50.0%	3 30.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%	2 20.0%	3 30.0%	0 0.0%	1 10.0%
	合計	838	410	387	112	128	166	184	324	262	25	52

## 7 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

### （1）希望のワーク・ライフ・バランス

問 10① 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・つき合い等）」について、あなたの希望に最も近いものを選んでください。



#### <全体結果>

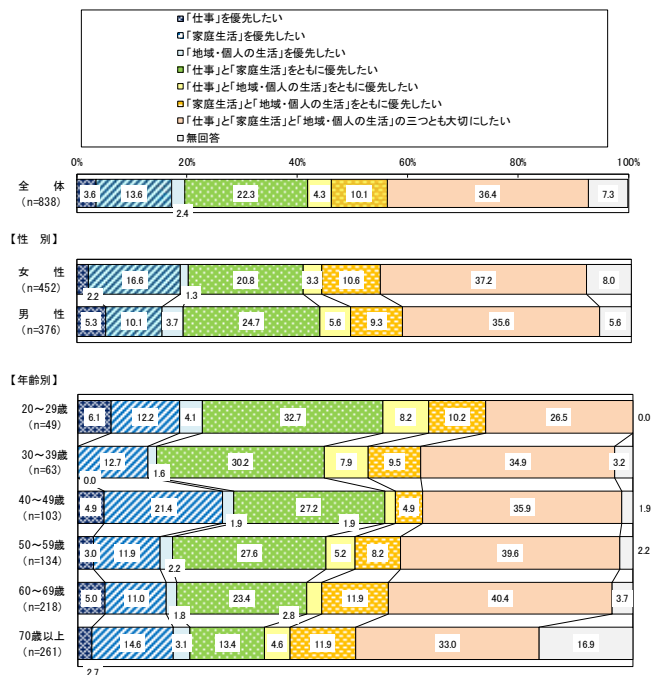
希望のワーク・ライフ・バランスとしては、『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』の三つとも大切にしたいの割合が最も高く、4割強となっている。次いで『仕事』と『家庭生活』をともに優先したいが2割強となっている。

前回調査と比べると、『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』の三つとも大切にしたいの割合は、やや減少している。

#### <性別・年齢別>

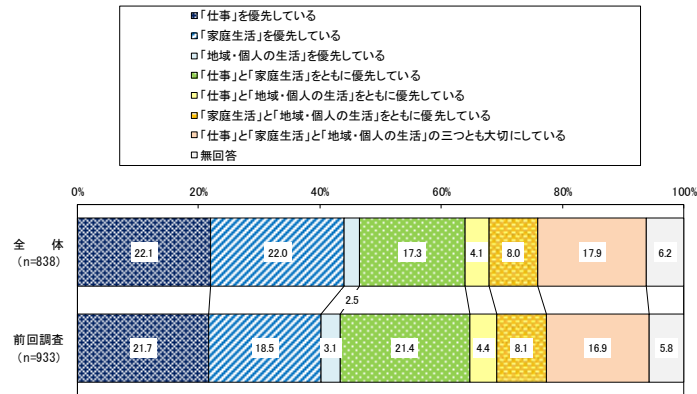
男女別では、女性で『家庭生活』を優先したいが男性を上回っている。

年齢別では、『仕事』と『家庭生活』をともに優先したいの割合は、30歳以下で高く3割強となっている。40歳代では『家庭生活』を優先したいが2割強で、他年齢層よりも高くなっている。



## (2) 現実の生活状況

問 10② あなたの生活で、現実（現状）に最も近いものを選んでください。



### <全体結果>

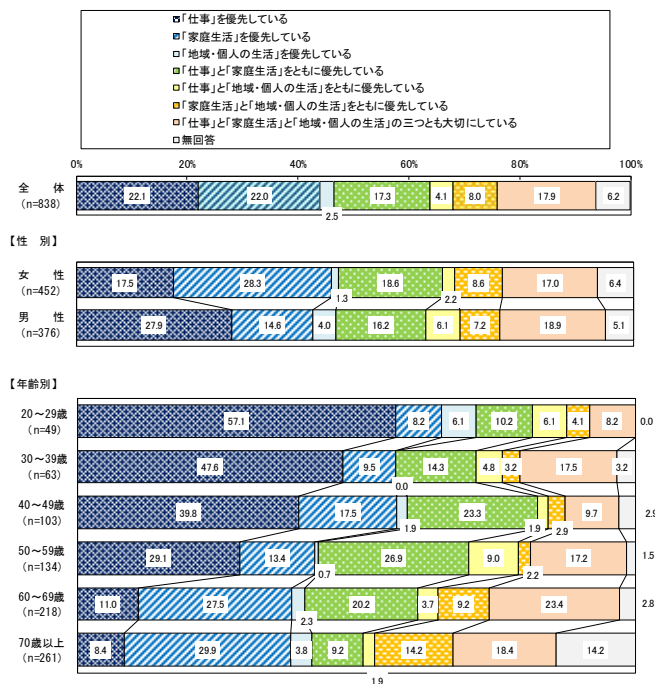
現実の生活状況としては、『仕事』を優先している」と『家庭生活』を優先している」の割合が2割強となっている。以下、『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』の三つとも大切にしている」と『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」が2割弱で続いている。

前回調査と比べると、『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」の割合が、やや減少している。

### <性別・年齢別>

男女別では、女性で『家庭生活』を優先している」が男性を上回り、男性で『仕事』を優先している」が女性を上回っている。

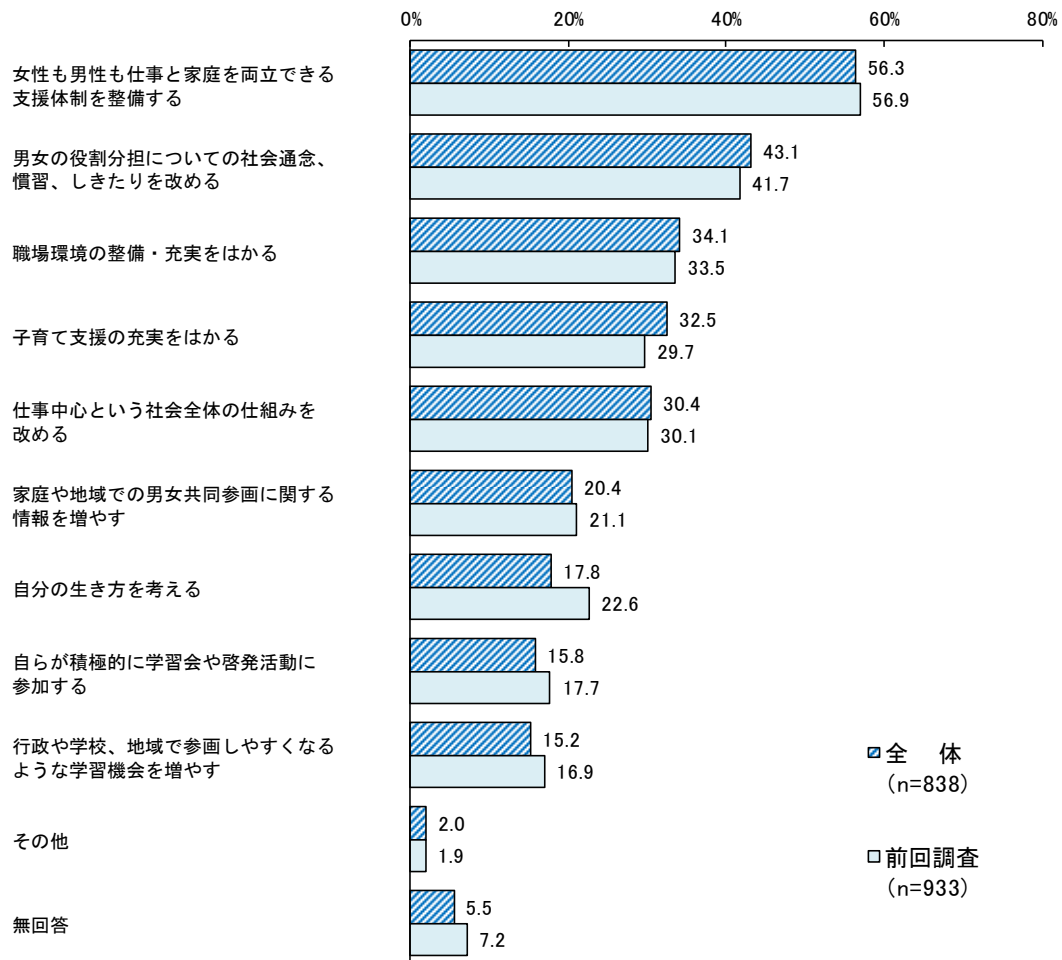
年齢別では、『仕事』を優先している」の割合は40歳以下で高く、中でも20歳代では6割弱を占めている。





### (3) 男女が共に家事や子育て、地域活動に参画していくために必要なこと

問 11 今後、男女がともに家事、子育てや教育、地域活動に積極的に参画していくために、どのようなことが必要だと思いますか。



#### <全体結果>

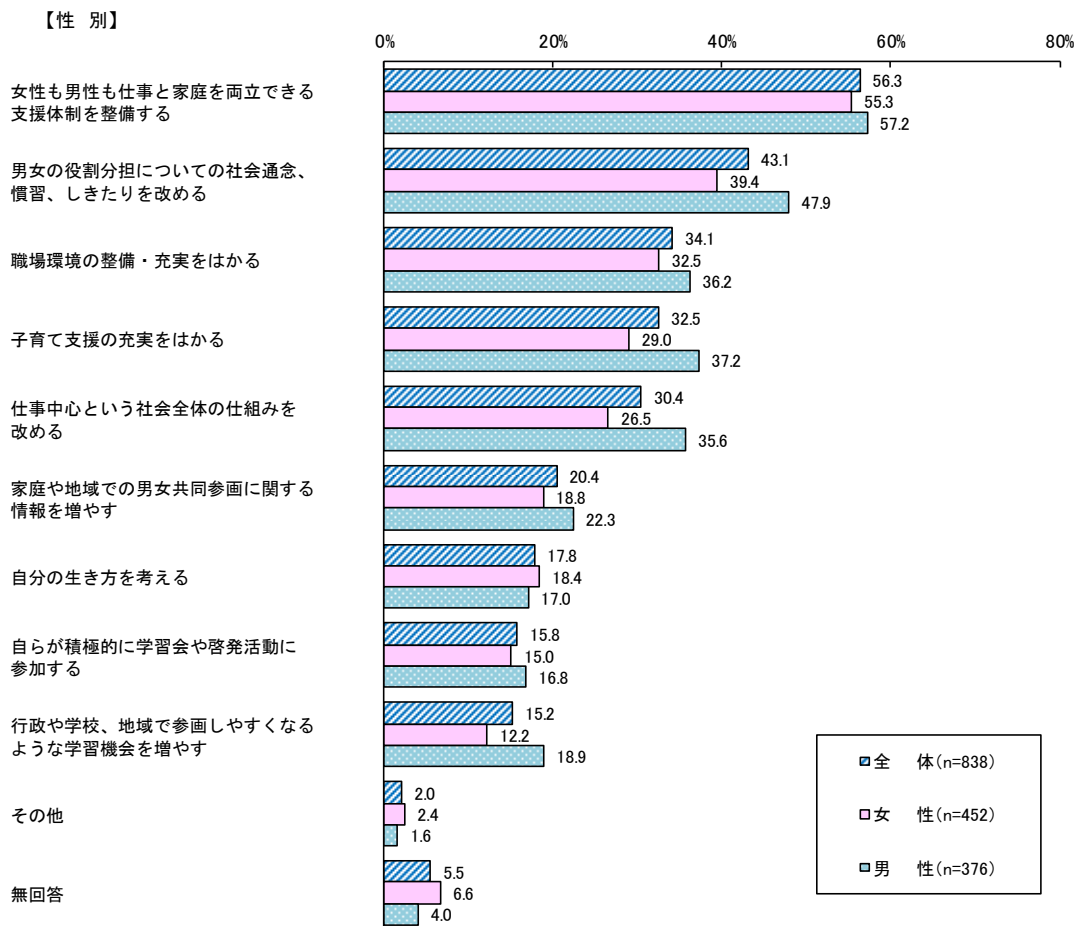
男女が共に家事や子育て、地域活動に参画していくためには、「女性も男性も仕事と家庭を両立できる支援体制を整備する」ことが必要と考える人が最も多く、6割弱となっている。以下、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める」が4割台、「職場環境の整備・充実をはかる」、「子育て支援の充実をはかる」、「仕事中心という社会全体の仕組みを改める」が3割台、「家庭や地域での男女共同参画に関する情報を増やす」が2割台となっている。

前回調査と比べると、「自分の生き方を考える」はやや低下している。

## <性別・年齢別>

男女別では、「自分の生き方を考える」、「その他」を除いた項目で、男性の方が高く、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める」、「子育て支援の充実をはかる」、「仕事中心という社会全体の仕組みを改める」、「行政や学校、地域で参画しやすくなるような学習機会を増やす」では女性を5ポイント以上上回っている。

年齢別で見ると、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める」、「子育て支援の充実をはかる」、「仕事中心という社会全体の仕組みを改める」では、30歳代の割合が他年齢層よりも高くなっている。20歳代では、「職場環境の整備・充実をはかる」、「女性も男性も仕事と家庭を両立できる支援体制を整備する」の割合が高くなっている。



上段:回答者数/下段:割合(%)

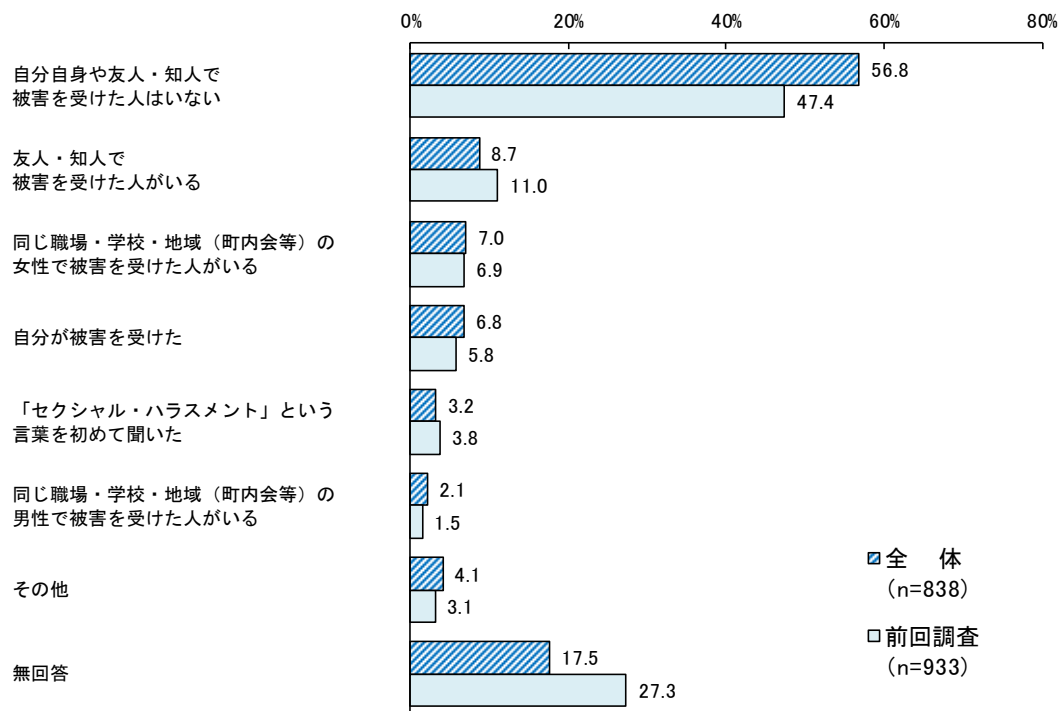
	合計	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める	仕事中心という社会全体の仕組みを改める	職場環境の整備・充実をはかる	行政や学校、地域で参画しやすくなるような学習機会を増やす	家庭や地域での男女共同参画に関する情報を増やす	子育て支援の充実をはかる	女性も男性も仕事と家庭を両立できる支援体制を整備する	
全 体	838 100.0%	361 43.1%	255 30.4%	286 34.1%	127 15.2%	171 20.4%	272 32.5%	472 56.3%	
前回調査(H27)	100.0%	41.7%	30.1%	33.5%	16.9%	21.1%	29.7%	56.9%	
【性別】	男 性	452 100.0%	178 39.4%	120 26.5%	147 32.5%	55 12.2%	85 18.8%	131 29.0%	250 55.3%
	女 性	376 100.0%	180 47.9%	134 35.6%	136 36.2%	71 18.9%	84 22.3%	140 37.2%	215 57.2%
	無回答	10 100.0%	3 30.0%	1 10.0%	3 30.0%	1 10.0%	2 20.0%	1 10.0%	7 70.0%
【年齢別】	20~29歳	49 100.0%	21 42.9%	19 38.8%	28 57.1%	8 16.3%	10 20.4%	26 53.1%	31 63.3%
	30~39歳	63 100.0%	36 57.1%	34 54.0%	35 55.6%	7 11.1%	15 23.8%	36 57.1%	38 60.3%
	40~49歳	103 100.0%	45 43.7%	39 37.9%	43 41.7%	11 10.7%	10 9.7%	35 34.0%	53 51.5%
	50~59歳	134 100.0%	64 47.8%	50 37.3%	58 43.3%	19 14.2%	25 18.7%	49 36.6%	77 57.5%
	60~69歳	218 100.0%	94 43.1%	61 28.0%	63 28.9%	43 19.7%	42 19.3%	68 31.2%	127 58.3%
	70歳以上	261 100.0%	99 37.9%	51 19.5%	57 21.8%	38 14.6%	67 25.7%	57 21.8%	137 52.5%
	無回答	10 100.0%	2 20.0%	1 10.0%	2 20.0%	1 10.0%	2 20.0%	1 10.0%	9 90.0%

	合計	自らが積極的に学習会や啓発活動に参加する	自分の生き方を考える	その他	無回答	
全 体	838 100.0%	132 15.8%	149 17.8%	17 2.0%	46 5.5%	
前回調査(H27)	100.0%	17.7%	22.6%	1.9%	7.2%	
【性別】	男 性	452 100.0%	68 15.0%	83 18.4%	11 2.4%	30 6.6%
	女 性	376 100.0%	63 16.8%	64 17.0%	6 1.6%	15 4.0%
	無回答	10 100.0%	1 10.0%	2 20.0%	0 0.0%	1 10.0%
【年齢別】	20~29歳	49 100.0%	3 6.1%	6 12.2%	1 2.0%	0 0.0%
	30~39歳	63 100.0%	6 9.5%	11 17.5%	0 0.0%	3 4.8%
	40~49歳	103 100.0%	8 7.8%	16 15.5%	3 2.9%	2 1.9%
	50~59歳	134 100.0%	15 11.2%	20 14.9%	2 1.5%	2 1.5%
	60~69歳	218 100.0%	43 19.7%	38 17.4%	4 1.8%	10 4.6%
	70歳以上	261 100.0%	55 21.1%	57 21.8%	7 2.7%	29 11.1%
	無回答	10 100.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%

## 8 暴力等について

### (1) セクシュアル・ハラスメントについて

問 12① セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）についてお答えください。



#### <全体結果>

セクシュアル・ハラスメントについて、「自分自身や友人・知人で被害を受けた人はいない」の割合が最も高く、6割弱となっている。

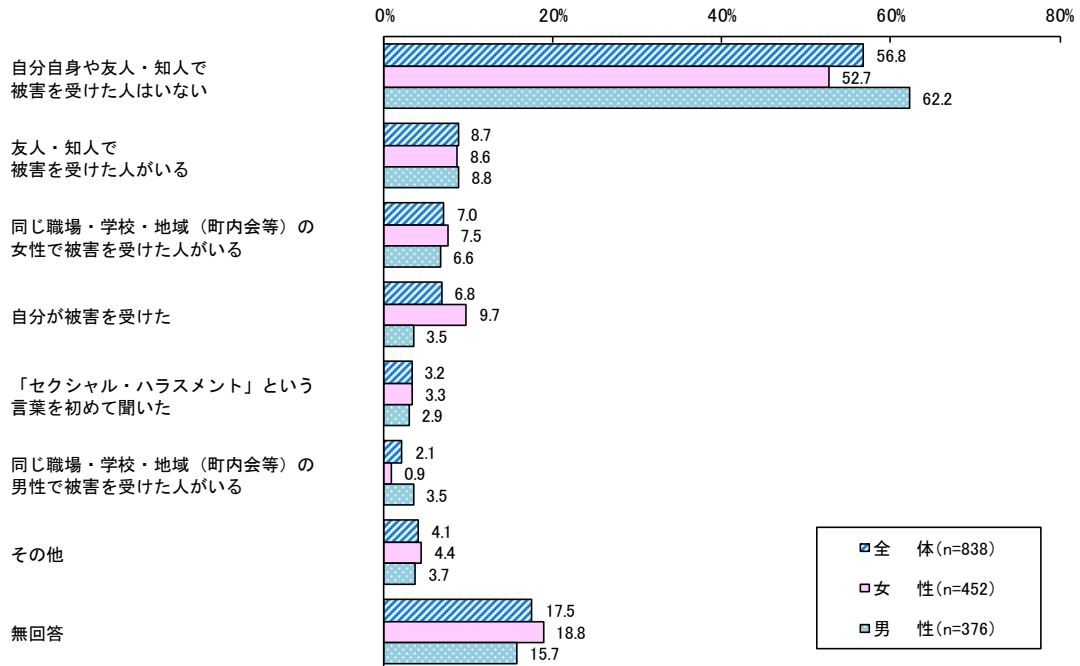
前回調査と比べると、「自分自身や友人・知人で被害を受けた人はいない」の割合が増加している。

#### <性別・年齢別>

男女別では、「自分自身や友人・知人で被害を受けた人はいない」の割合は男性の方が高く、6割を超えている。

年齢別では、「自分自身や友人・知人で被害を受けた人はいない」の割合は40歳代の割合が高く、70歳以上の割合が低くなっている。

【性別】

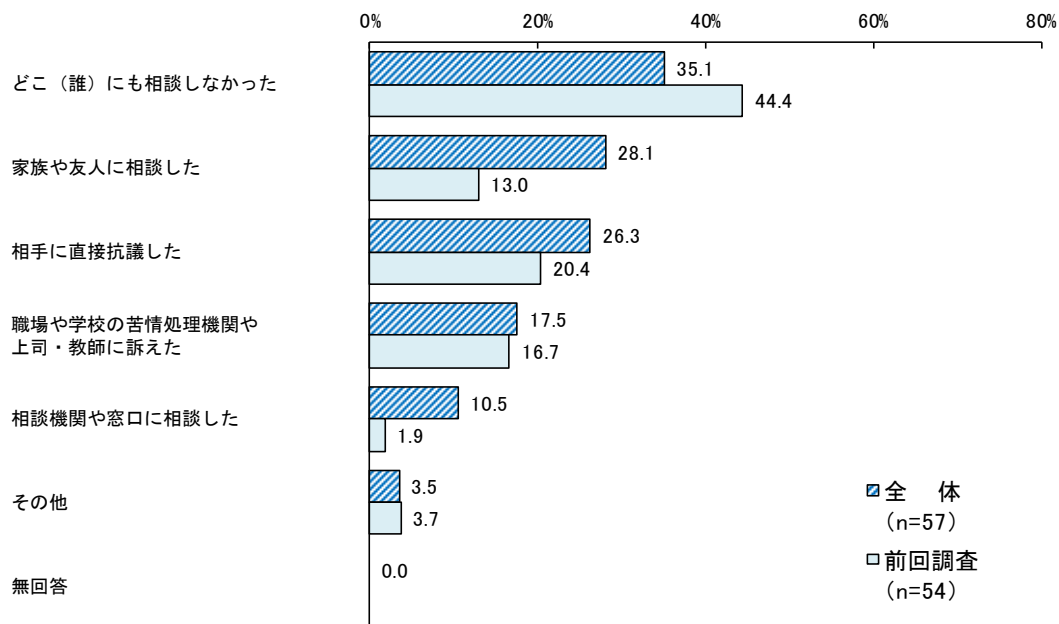


上段：回答者数／下段：割合（％）

	合計	自分が被害を受けた	同じ職場・学校・地域（町内会等）の女性で被害を受けた人がある	同じ職場・学校・地域（町内会等）の男性で被害を受けた人がある	友人・知人で被害を受けた人がある	自分自身や友人・知人で被害を受けた人はいない	「セクシャル・ハラスメント」という言葉を初めて聞いた	その他	無回答
全体	838	57	59	18	73	476	27	34	147
	100.0%	6.8%	7.0%	2.1%	8.7%	56.8%	3.2%	4.1%	17.5%
前回調査(H27)	100.0%	5.8%	6.9%	1.5%	11.0%	47.4%	3.8%	3.1%	27.3%
【性別】									
男性	452	44	34	4	39	238	15	20	85
	100.0%	9.7%	7.5%	0.9%	8.6%	52.7%	3.3%	4.4%	18.8%
女性	376	13	25	13	33	234	11	14	59
	100.0%	3.5%	6.6%	3.5%	8.8%	62.2%	2.9%	3.7%	15.7%
無回答	10	0	0	1	1	4	1	0	3
	100.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	40.0%	10.0%	0.0%	30.0%
【年齢】									
20～29歳	49	8	3	0	8	27	0	5	4
	100.0%	16.3%	6.1%	0.0%	16.3%	55.1%	0.0%	10.2%	8.2%
30～39歳	63	7	7	1	6	38	0	2	6
	100.0%	11.1%	11.1%	1.6%	9.5%	60.3%	0.0%	3.2%	9.5%
40～49歳	103	9	12	1	10	69	1	2	7
	100.0%	8.7%	11.7%	1.0%	9.7%	67.0%	1.0%	1.9%	6.8%
50～59歳	134	12	10	3	14	79	0	5	17
	100.0%	9.0%	7.5%	2.2%	10.4%	59.0%	0.0%	3.7%	12.7%
60～69歳	218	15	18	7	23	126	8	8	34
	100.0%	6.9%	8.3%	3.2%	10.6%	57.8%	3.7%	3.7%	15.6%
70歳以上	261	6	9	5	11	133	16	11	78
	100.0%	2.3%	3.4%	1.9%	4.2%	51.0%	6.1%	4.2%	29.9%
無回答	10	0	0	1	1	4	2	1	1
	100.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	40.0%	20.0%	10.0%	10.0%

## (2) 被害を受けたときの対応

問 12② 問 12①で「自分が被害を受けた」と回答した方におたずねします。  
被害を受けたときに、どのような対応をしましたか。



### <全体結果>

被害を受けたときの対応として、「どこ（誰）にも相談しなかった」をあげる人が最も多く、3割台となっている。次いで「家族や友人に相談した」と「相手に直接抗議した」が3割弱、「職場や学校の苦情処理機関や上司・教師に訴えた」が2割弱となっている。

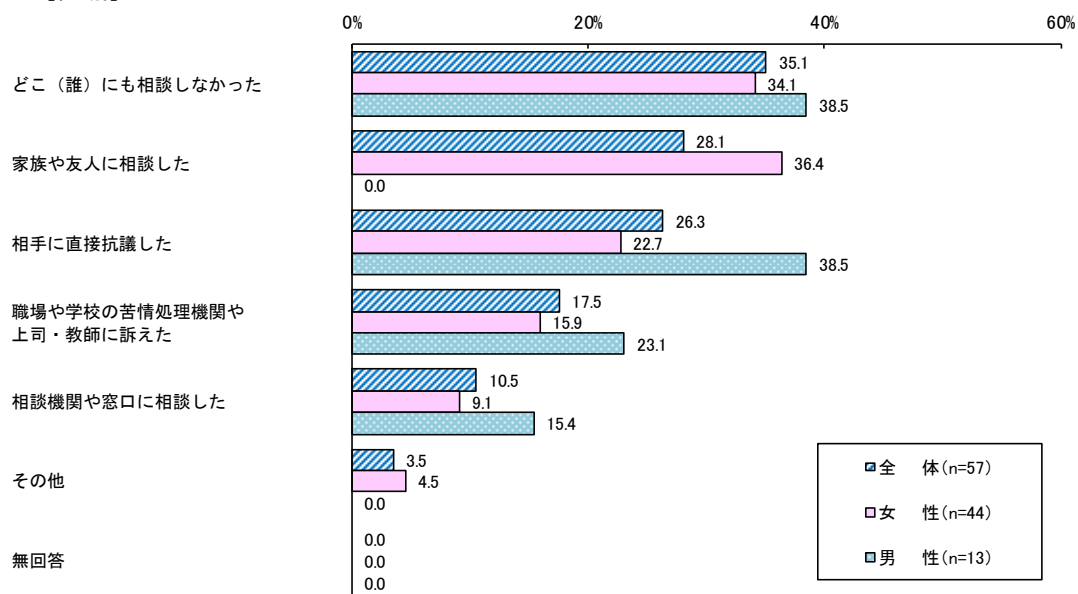
前回調査と比べて、「どこ（誰）にも相談しなかった」が大きく減少し、「家族や友人に相談した」、「相手に直接抗議した」、「相談機関や窓口に相談した」が増加している。

### <性別・年齢別>

該当者が57人と少ないため、図表のみの掲載とする。



【性別】

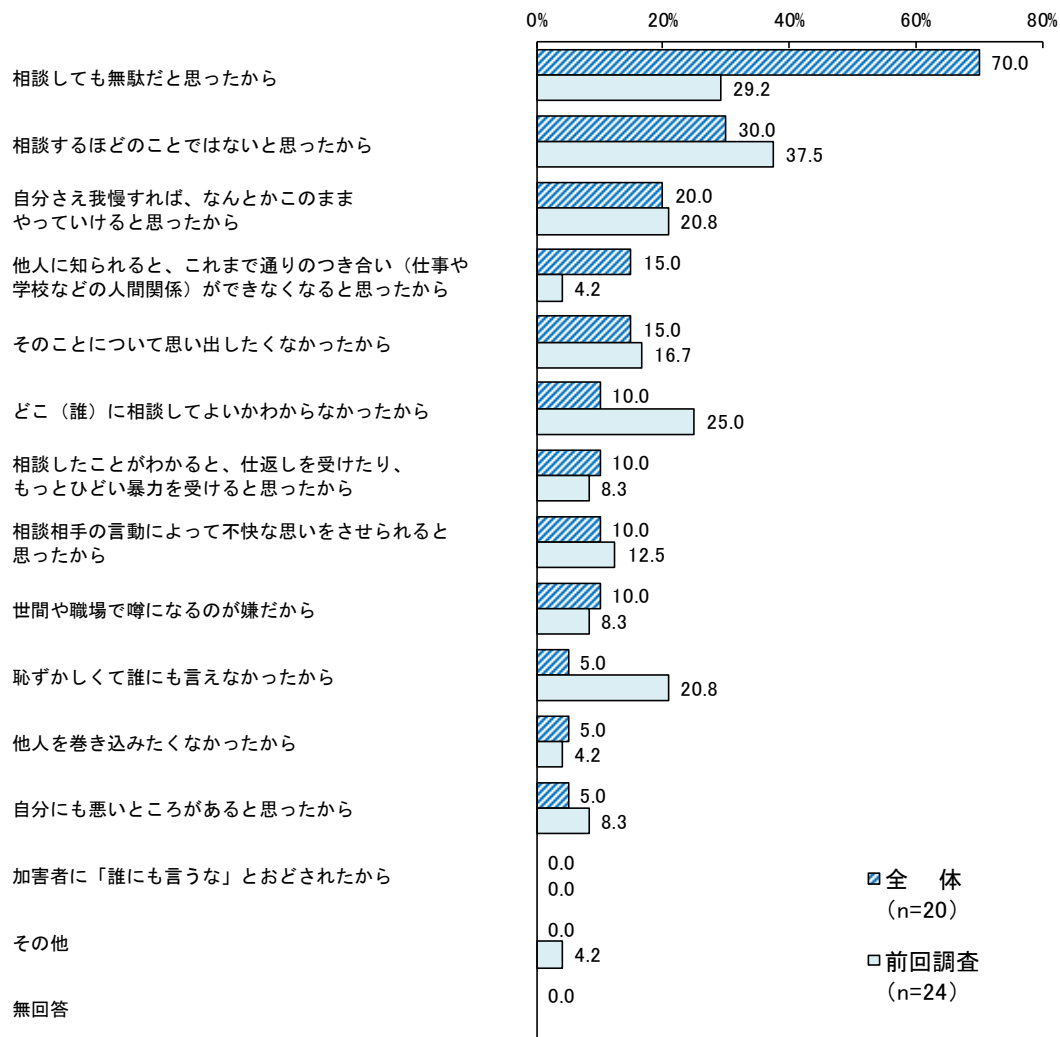


上段:回答者数/下段:割合(%)

	合計	相手に直接抗議した	職場や学校の苦情処理機関や上司・教師に訴えた	相談機関や窓口に相談した	家族や友人に相談した	どこ（誰）にも相談しなかった	その他	無回答	
全体	57 100.0%	15 26.3%	10 17.5%	6 10.5%	16 28.1%	20 35.1%	2 3.5%	0 0.0%	
前回調査(H27)	100.0%	20.4%	16.7%	1.9%	13.0%	44.4%	3.7%	-	
【性別】	男性	44 100.0%	10 22.7%	7 15.9%	4 9.1%	16 36.4%	15 34.1%	2 4.5%	0 0.0%
	女性	13 100.0%	5 38.5%	3 23.1%	2 15.4%	0 0.0%	5 38.5%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
【年齢】	20~29歳	8 100.0%	1 12.5%	4 50.0%	1 12.5%	3 37.5%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%
	30~39歳	7 100.0%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	3 42.9%	0 0.0%	0 0.0%
	40~49歳	9 100.0%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	4 44.4%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%
	50~59歳	12 100.0%	4 33.3%	3 25.0%	1 8.3%	3 25.0%	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%
	60~69歳	15 100.0%	5 33.3%	1 6.7%	1 6.7%	2 13.3%	8 53.3%	0 0.0%	0 0.0%
	70歳以上	6 100.0%	2 33.3%	1 16.7%	2 33.3%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

### (3) 相談しなかった理由

問 12③ 問 12②で「どこ（誰）にも相談しなかった」と回答した方におたずねします。  
相談しなかった理由は何ですか



#### <全体結果>

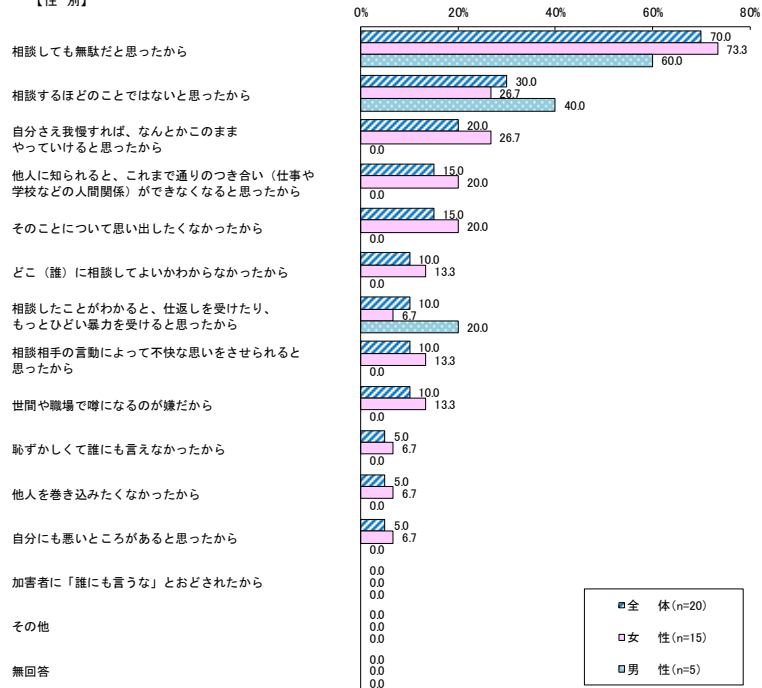
どこ（誰）にも相談しなかった理由としては、「相談しても無駄だと思ったから」と考える人が最も多く、7割となっている。以下、「相談するほどのことではないと思ったから」が3割、「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」が2割となっている。

前回調査と比べると、「相談しても無駄だと思ったから」が大きく増加している。

#### <性別・年齢別>

該当者が20人と少ないため、図表のみの掲載とする。

【性別】



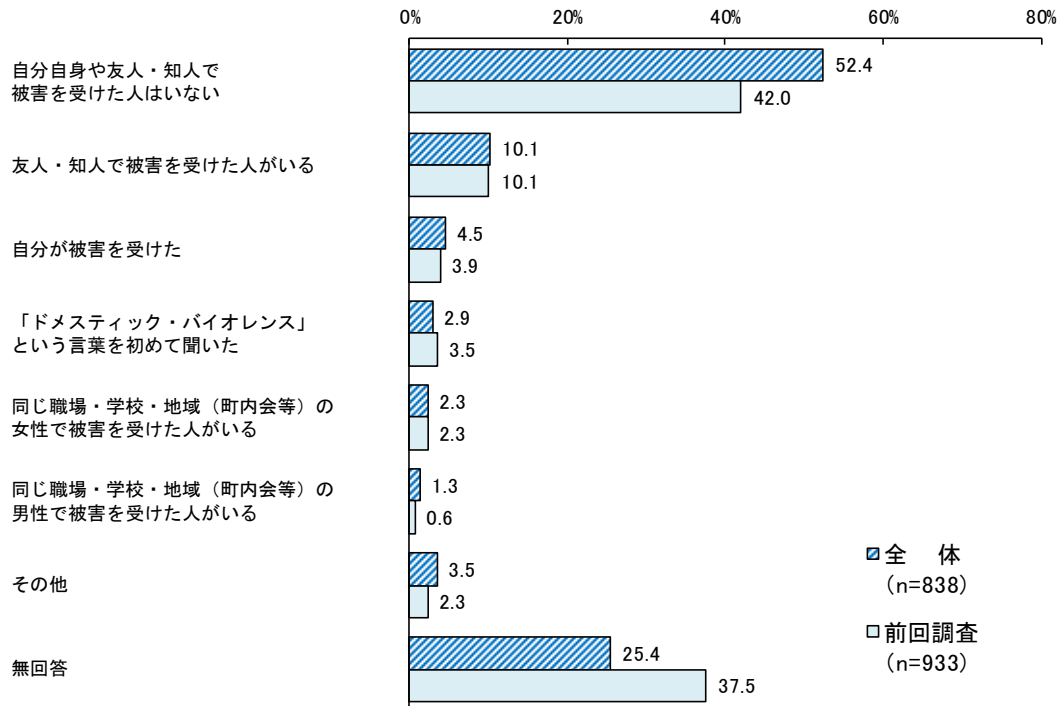
上段：回答者数／下段：割合（％）

	合計	どこ（誰）に相談してよいかわからなかったから	恥ずかしくて誰にも言えなかったから	相談しても無駄だと思ったから	相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから	加害者に「誰にも言うな」とおどされたから	相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	世間や職場で噂になるのが嫌だから
全体	20	2	1	14	2	0	2	4	2
	100.0%	10.0%	5.0%	70.0%	10.0%	0.0%	10.0%	20.0%	10.0%
前回調査 (H27)	100.0%	25.0%	20.8%	29.2%	8.3%	0.0%	12.5%	20.8%	8.3%
性別									
男性	15	2	1	11	1	0	2	4	2
	100.0%	13.3%	6.7%	73.3%	6.7%	0.0%	13.3%	26.7%	13.3%
女性	5	0	0	3	1	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢									
20～29歳	1	0	0	1	1	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	3	0	0	3	0	0	1	1	0
	100.0%	0.0%	33.3%	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%
40～49歳	4	0	0	3	0	0	0	1	0
	100.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
50～59歳	2	1	0	1	0	0	0	1	0
	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
60～69歳	8	1	0	4	0	0	1	0	2
	100.0%	12.5%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	25.0%
70歳以上	2	0	0	2	1	0	0	1	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	合計	他人を巻き込みたくなかったから	他人に知られると、これまで通りのつき合い（仕事や学校などの人間関係）がでなくなると思ったから	そのことについて思い出したくなかったから	自分にも悪いところがあると思ったから	相談するほどのことではないと思ったから	その他	無回答
全体	20	1	3	3	1	6	0	0
	100.0%	5.0%	15.0%	15.0%	5.0%	30.0%	0.0%	0.0%
前回調査 (H27)	100.0%	4.2%	4.2%	16.7%	8.3%	37.5%	4.2%	-
性別								
男性	15	1	3	3	1	4	0	0
	100.0%	6.7%	20.0%	20.0%	6.7%	26.7%	0.0%	0.0%
女性	5	0	0	0	0	2	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢								
20～29歳	1	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	3	0	2	0	1	1	0	0
	100.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
40～49歳	4	0	1	1	0	2	0	0
	100.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
50～59歳	2	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60～69歳	8	1	0	1	0	3	0	0
	100.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%
70歳以上	2	0	0	1	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

#### (4) ドメスティック・バイオレンスについて

問 13① ドメスティック・バイオレンス (DV) についてお答えください。



#### <全体結果>

ドメスティック・バイオレンスについて、「自分自身や友人・知人で被害を受けた人はいない」の割合が最も高く、5割強となっている。「友人・知人で被害を受けた人がいる」が約1割で続くが、その他の項目は1割に満たない。

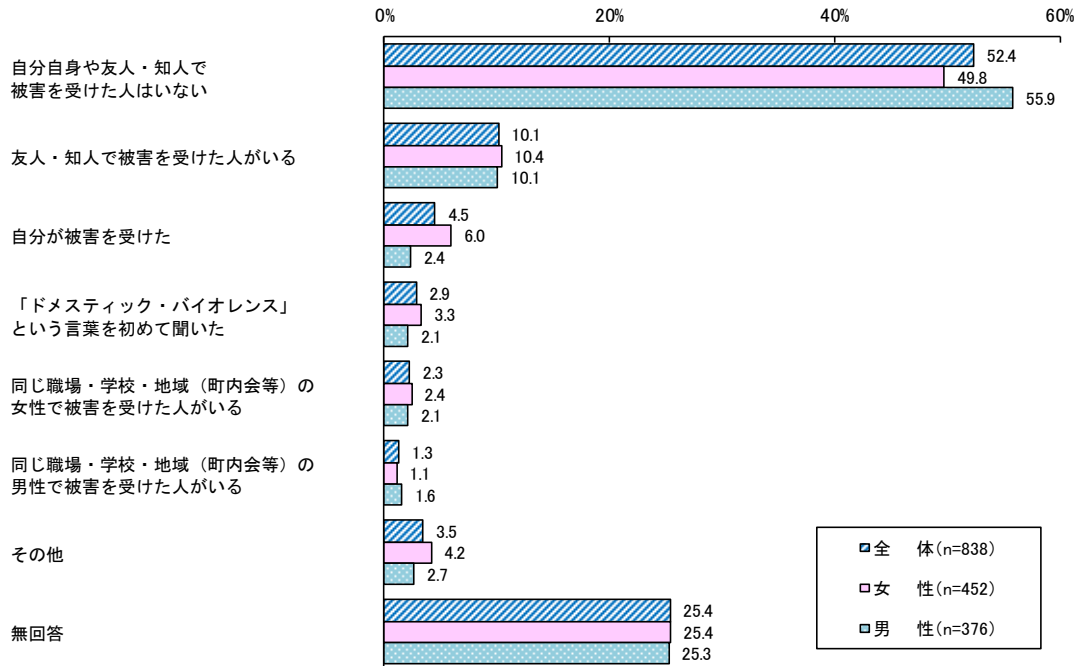
前回調査と比べると、「自分自身や友人・知人で被害を受けた人はいない」の割合が増加している。

#### <性別・年齢別>

男女別では、「自分自身や友人・知人で被害を受けた人はいない」の割合は男性の方が高くなっている。

年齢別では、「自分自身や友人・知人で被害を受けた人はいない」の割合は40歳以下の割合が高く6割を超え、70歳以上の割合が4割弱と低くなっている。

【性別】

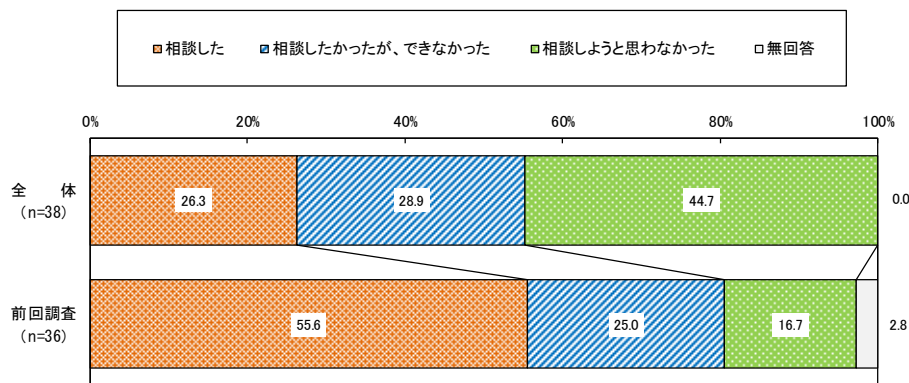


上段：回答者数／下段：割合（％）

	合計	自分が被害を受けた	同じ職場・学校・地域（町内会等）の女性で被害を受けた人がある	同じ職場・学校・地域（町内会等）の男性で被害を受けた人がある	友人・知人で被害を受けた人がある	自分自身や友人・知人で被害を受けた人はいない	「ドメスティック・バイオレンス」という言葉を初めて聞いた	その他	無回答	
全体	838	38	19	11	85	439	24	29	213	
前回調査(H27)	100.0%	4.5%	2.3%	1.3%	10.1%	52.4%	2.9%	3.5%	25.4%	
【性別】	男性	452	27	11	5	47	225	15	19	115
		100.0%	6.0%	2.4%	1.1%	10.4%	49.8%	3.3%	4.2%	25.4%
	女性	376	9	8	6	38	210	8	10	95
		100.0%	2.4%	2.1%	1.6%	10.1%	55.9%	2.1%	2.7%	25.3%
【年齢】	無回答	10	2	0	0	0	4	1	0	3
		100.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	10.0%	0.0%	30.0%
	20～29歳	49	2	2	1	9	32	0	2	4
		100.0%	4.1%	4.1%	2.0%	18.4%	65.3%	0.0%	4.1%	8.2%
	30～39歳	63	3	1	1	11	40	0	2	6
		100.0%	4.8%	1.6%	1.6%	17.5%	63.5%	0.0%	3.2%	9.5%
	40～49歳	103	4	1	0	12	72	2	2	10
		100.0%	3.9%	1.0%	0.0%	11.7%	69.9%	1.9%	1.9%	9.7%
50～59歳	134	7	4	3	16	75	0	7	23	
	100.0%	5.2%	3.0%	2.2%	11.9%	56.0%	0.0%	5.2%	17.2%	
60～69歳	218	14	8	6	25	116	3	6	51	
	100.0%	6.4%	3.7%	2.8%	11.5%	53.2%	1.4%	2.8%	23.4%	
70歳以上	261	7	3	0	12	99	17	9	118	
	100.0%	2.7%	1.1%	0.0%	4.6%	37.9%	6.5%	3.4%	45.2%	
無回答	10	1	0	0	0	5	2	1	1	
	100.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	20.0%	10.0%	10.0%	

## (5) 被害を受けたときの相談経験の有無

問 13② 問 13①で「自分が被害を受けた」と回答した方におたずねします。  
被害を受けたときに相談しましたか。



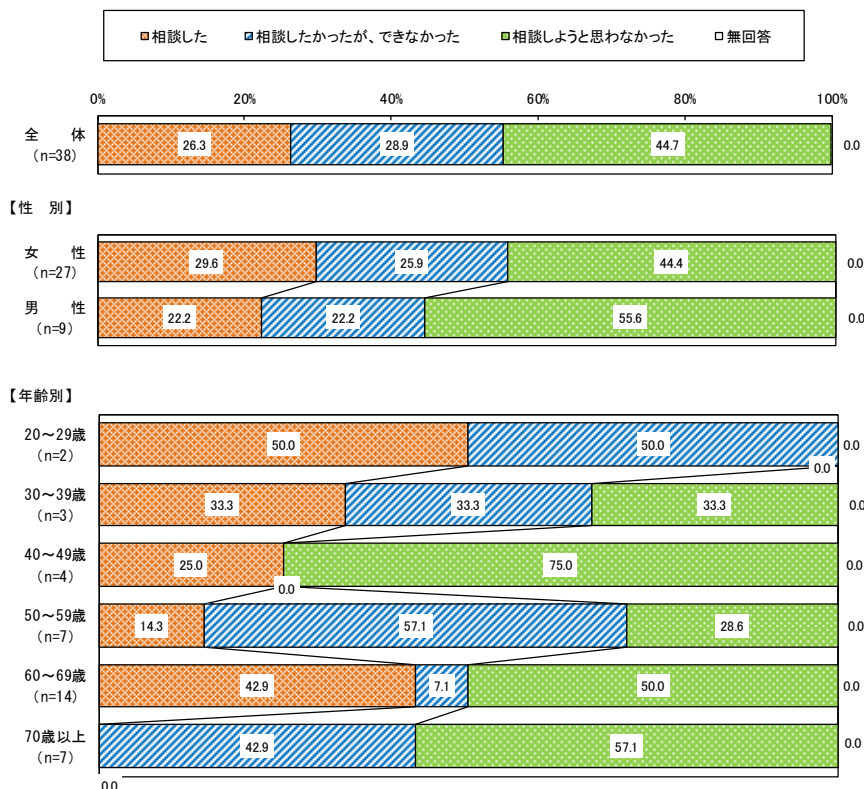
### <全体結果>

被害を受けたとき、「相談しようと思わなかった」と回答した割合が最も高く、4割強となっている。以下、「相談したかったが、できなかった」と「相談した」が3割弱で続いている。

前回調査と比べると、「相談した」の割合が大きく減少し、「相談しようと思わなかった」の割合が大きく増加している。

### <性別・年齢別>

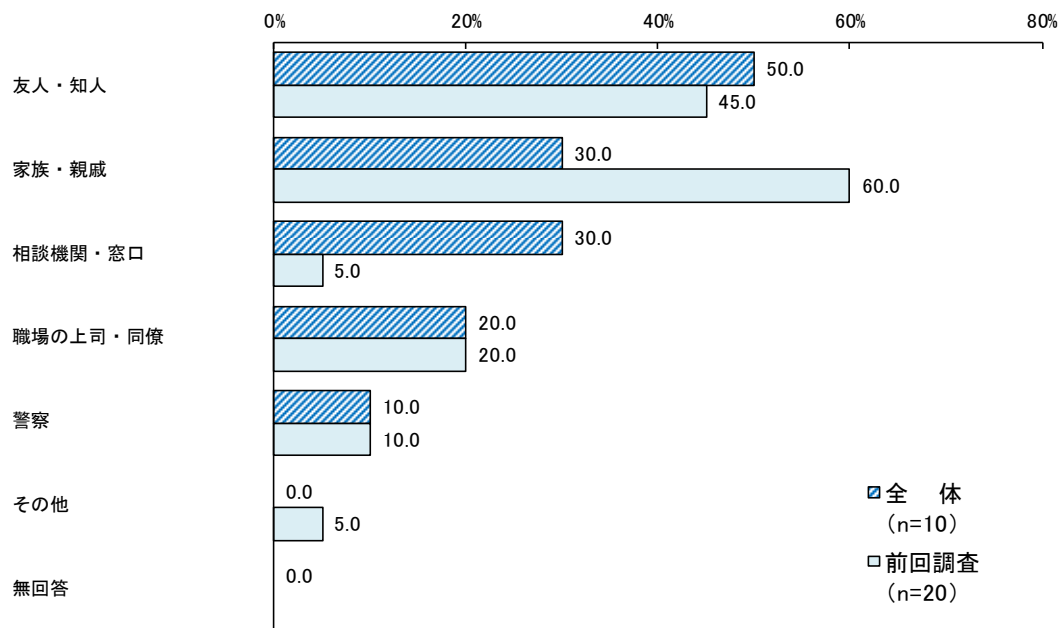
該当者が36人と少ないため、図表のみの掲載とする。





## (6) 被害を受けたときの相談先

問 13③ 問 13②で「相談した」と回答した方におたずねします。  
被害を受けたとき、誰（どこ）に相談しましたか。



### <全体結果>

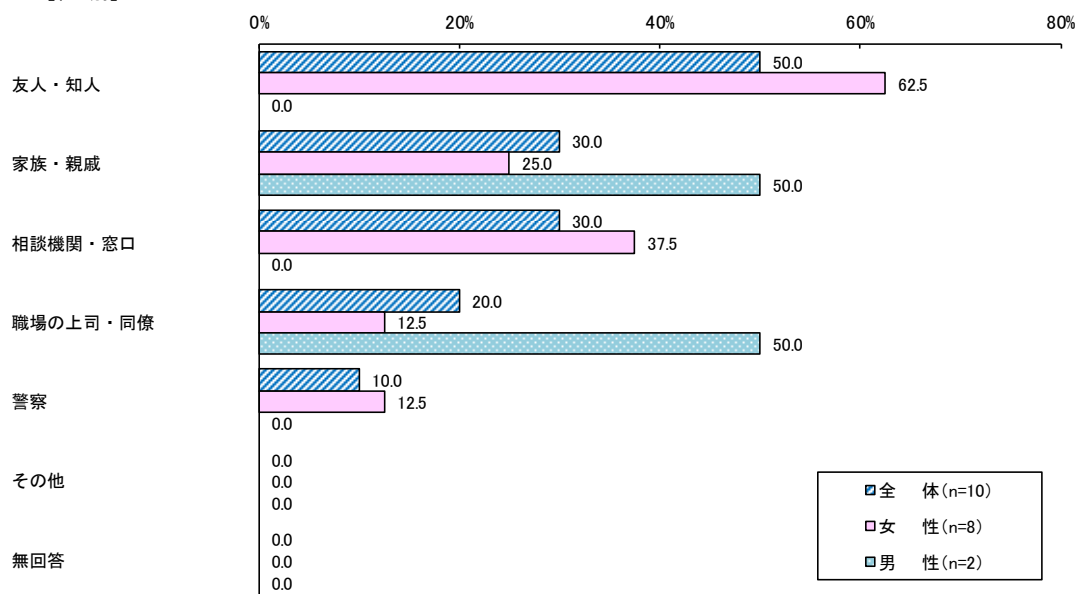
被害を受けたときの相談先として、「友人・知人」をあげる人が最も多く、5割となっている。次いで「家族・親戚」と「相談機関・窓口」が3割、「職場の上司・同僚」が2割となっている。

前回調査と比べて、「友人・知人」と「相談機関・窓口」が増加し、「家族・親戚」が大きく減少している。

### <性別・年齢別>

該当者が10人と少ないため、図表のみの掲載とする。

【性別】

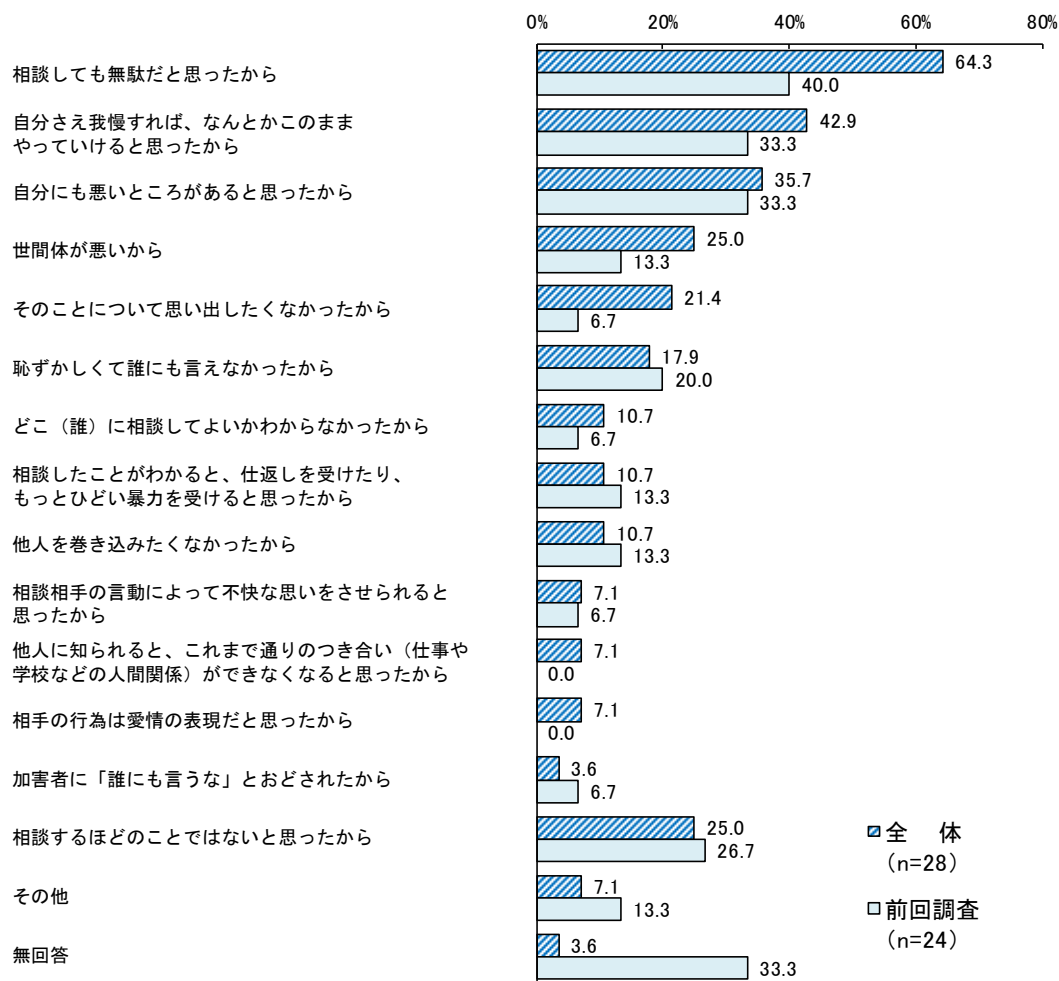


上段:回答者数/下段:割合(%)

	合計	家族・親戚	友人・知人	職場の上司・同僚	警察	相談機関・窓口	その他	無回答	
全体	10 100.0%	3 30.0%	5 50.0%	2 20.0%	1 10.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	
前回調査(H27)	100.0%	60.0%	45.0%	20.0%	10.0%	5.0%	5.0%	-	
【性別】	男性	8 100.0%	2 25.0%	5 62.5%	1 12.5%	1 12.5%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%
	女性	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
【年齢】	20~29歳	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30~39歳	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40~49歳	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	50~59歳	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	60~69歳	6 100.0%	1 16.7%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

## (7) 相談しなかった理由

問13④ 問13②で「相談したかったができなかった」または「相談しようと思わなかった」と回答した方におたずねします。  
相談しなかった理由は何ですか。



### <全体結果>

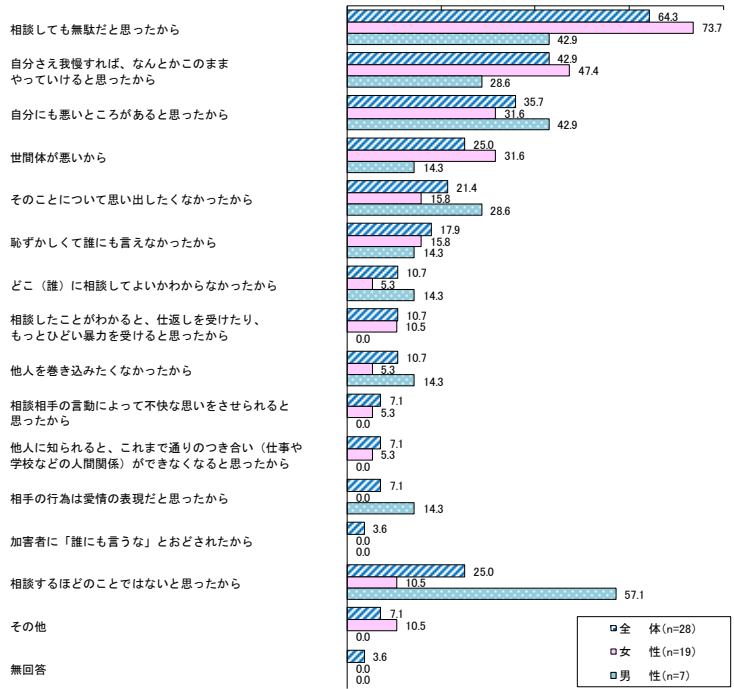
相談しなかった理由としては、「相談しても無駄だと思ったから」と考える人が最も多く、6割強となっている。以下、「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」が4割台、「自分にも悪いところがあると思ったから」が3割台、「世間体が悪いから」と「そのことについて思い出したくなかったから」が2割台となっている。

前回調査と比べると、「相談しても無駄だと思ったから」、「そのことについて思い出したくなかったから」、「世間体が悪いから」が大きく増加している。

### <性別・年齢別>

該当者が28人と少ないため、図表のみの掲載とする。

【性別】



上段：回答者数／下段：割合(%)

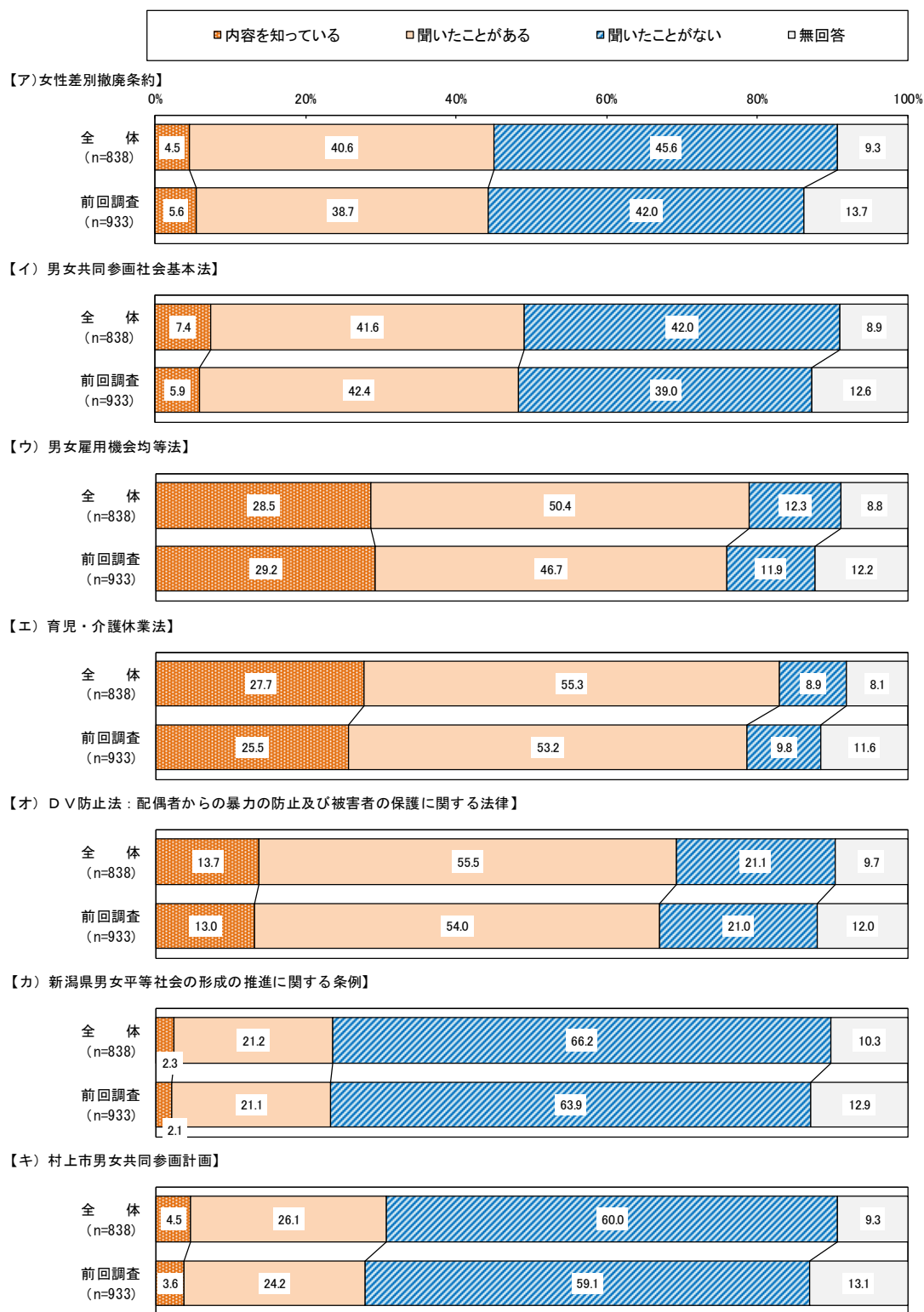
性別	年齢	合計	どこ（誰）に相談してよいかわからなかったから	恥ずかしくて誰にも言えなかったから	相談しても無駄だと思ったから	相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから	加害者に「誰にも言うな」とおどされたから	相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	世間体が悪いから					
											人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数
全体		28	3	5	18	3	1	2	12	7					
前回調査(H27)		100.0%	6.7%	20.0%	40.0%	13.3%	6.7%	6.7%	33.3%	13.3%					
女性	男性	19	1	3	14	2	0	1	9	6					
	女性	7	1	1	3	0	0	0	2	1					
	無回答	2	1	1	1	1	1	1	1	0					
年齢	20～29歳	1	0	0	1	0	0	0	1	0					
	30～39歳	2	0	1	0	0	0	0	1	2					
	40～49歳	3	0	1	2	0	0	0	3	1					
	50～59歳	6	1	1	5	2	0	1	1	1					
	60～69歳	8	0	1	5	0	0	0	3	1					
	70歳以上	7	2	1	5	1	1	1	3	2					
	無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0					
	無回答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					

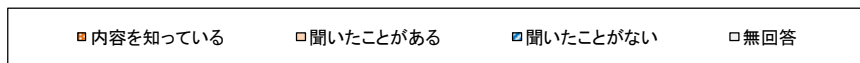
性別	年齢	合計	他人を巻き込みたくなかったから	他人に知られると、これまで通りのつき合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思ったから	そのことについて思い出したくなかったから	自分にも悪いところがあると思ったから	相手の行為は愛情の表現だと思ったから	相談するほどのことではないと思ったから	その他	無回答
全体		28	3	2	6	10	2	7	2	1
前回調査(H27)		100.0%	13.3%	0.0%	6.7%	33.3%	0.0%	26.7%	13.3%	33.3%
女性	男性	19	1	1	3	6	0	2	2	0
	女性	7	1	0	2	3	1	4	0	0
	無回答	2	1	1	1	1	1	1	0	1
年齢	20～29歳	1	1	0	1	0	0	0	0	0
	30～39歳	2	1	0	0	2	0	1	0	0
	40～49歳	3	0	0	0	1	0	0	0	0
	50～59歳	6	0	1	1	2	0	1	1	0
	60～69歳	8	0	0	2	2	1	4	1	0
	70歳以上	7	1	1	2	3	1	1	0	0
	無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	無回答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

## 9 男女共同参画の推進について

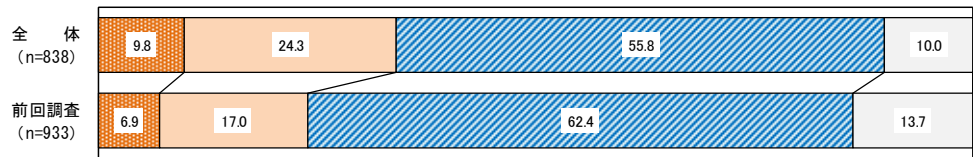
### (1) 法律や制度の認知度

問 14 あなたは、次に挙げる法律や制度の名称などについてご存知ですか。

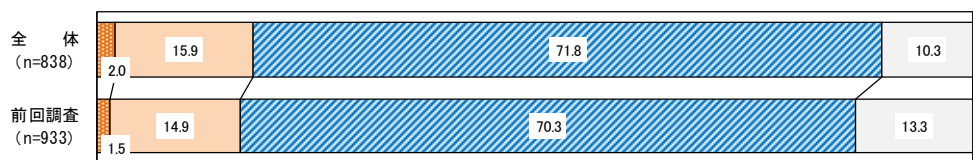




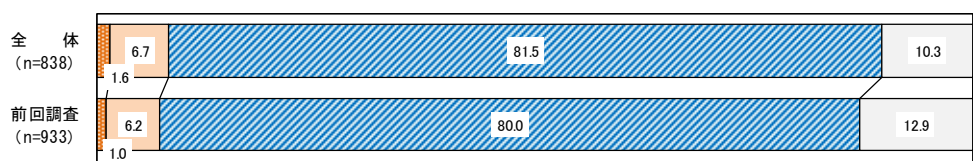
【ク）ジェンダー（社会的性別）】



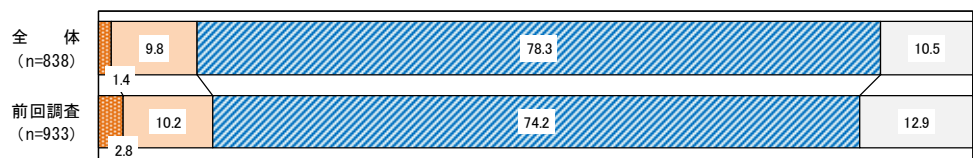
【ケ）ポジティブ・アクション(積極的改善措置)】



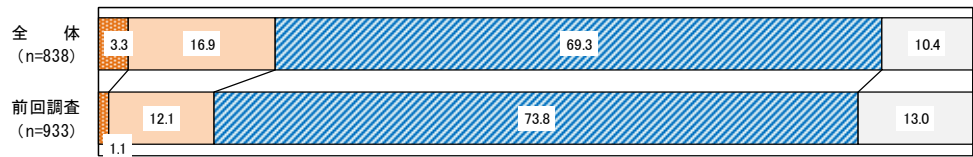
【コ）リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する女性の健康と権利）】



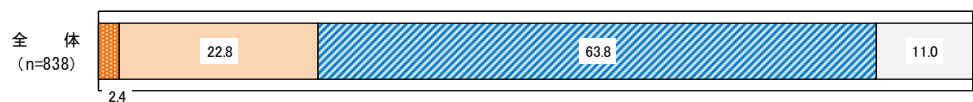
【サ）家族経営協定】



【シ）ハッピー・パートナー企業】



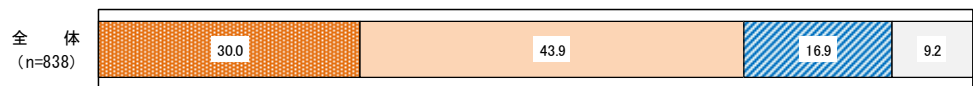
【ス）女性活躍推進法（女性の職場生活における活躍の推進に関する法律）】



【セ）イクボス（従業員や部下の育児参加における活躍の推進に関する法律）】



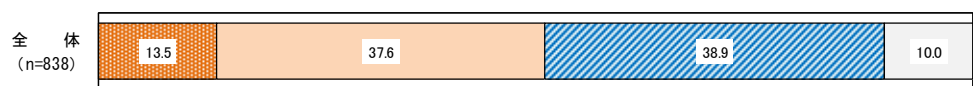
【ソ）マタニティ・ハラスメント（働く女性が妊娠・出産を理由に職場で受ける嫌がらせ）】



【タ）パタニティ・ハラスメント（育児のため休暇などを希望する男性が、職場で受ける嫌がらせ）】



【チ）ワーク・ライフ・バランス（家庭と生活の調和）】





## ＜全体結果＞

法律や制度の認知度について17項目で調査した。

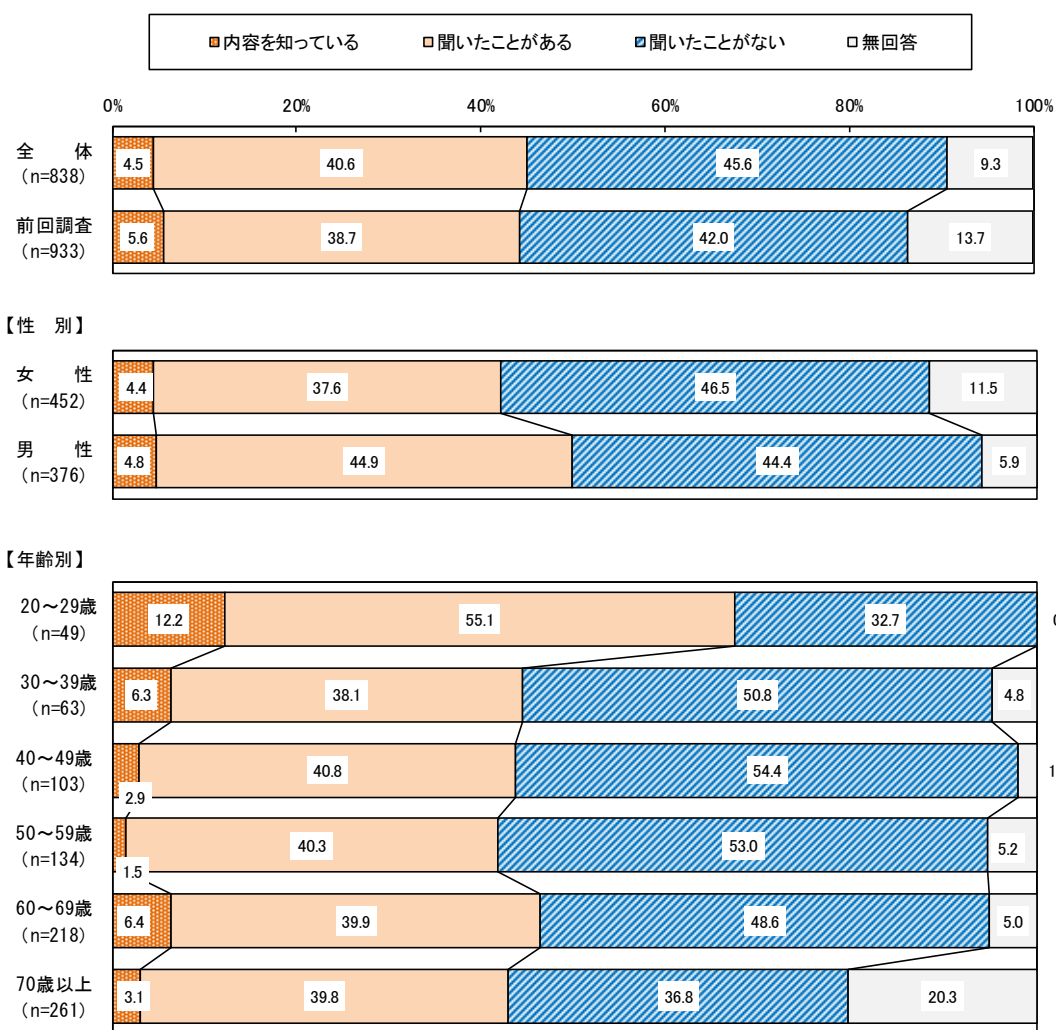
「内容を知っている」では、【ソ）マタニティ・ハラスメント（働く女性が妊娠・出産を理由に職場で受ける嫌がらせ）】の割合が最も高く、3割を占めている。次いで、【ウ）男女雇用機会均等法】、【エ）育児・介護休業法】が3割弱となっている。

「聞いたことがある」では、【オ）DV防止法：配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律】、【エ）育児・介護休業法】、【ウ）男女雇用機会均等法】の順で割合が高く、いずれも5割台となっている。

一方、「聞いたことがない」では、【コ）リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する女性の健康と権利）】の割合が最も高く、8割を超えている。以下、【サ）家族経営協定】、【ケ）ポジティブ・アクション（積極的改善措置）】が7割台、【シ）ハッピー・パートナー企業】、【カ）新潟県男女平等社会の形成の推進に関する条例】、【ス）女性活躍推進法（女性の職場生活における活躍の推進に関する法律）】、【キ）村上市男女共同参画計画】が6割台で続いている。

前回調査と比べると、【ク）ジェンダー（社会的性別）】で「聞いたことがある」の割合が増加し、「聞いたことがない」の割合が減少している。

## ① 女性差別撤廃条約



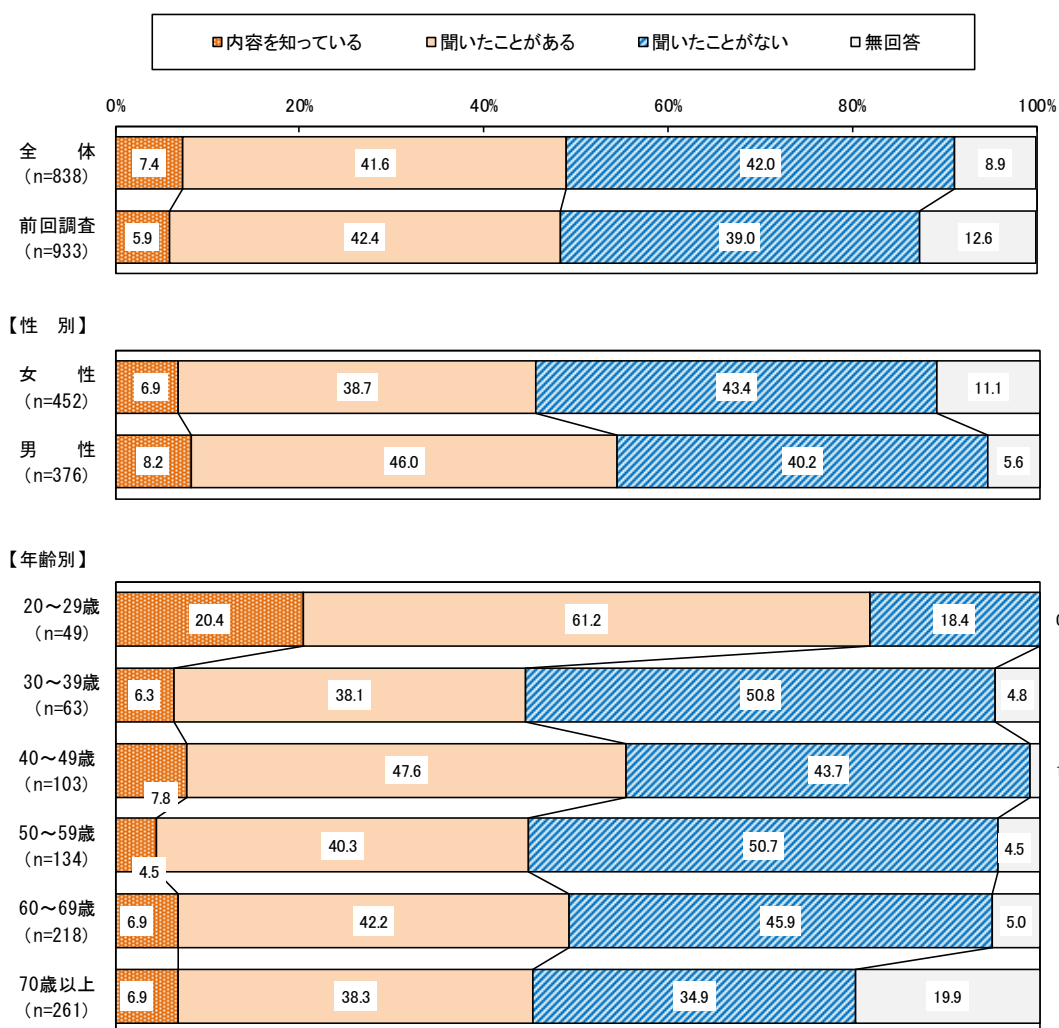
### <全体結果>

【女性差別撤廃条約】は、「聞いたことがない」の割合が最も高く、半数弱を占めている。「聞いたことがある」が4割強で続いている。前回結果と比べ、特に大きな差は見られない。

### <性別・年齢別>

男女別では、「聞いたことがある」の割合は、男性の方が高くなっている。年齢別では、「聞いたことがある」の割合が20歳代で高く、半数を超えている。一方、「聞いたことがない」の割合は、40歳代で最も高くなっている。

## ② 男女共同参画社会基本法



### <全体結果>

【男女共同参画社会基本法】は、「聞いたことがある」と「聞いたことがない」の割合が同程度で、いずれも4割強となっている。

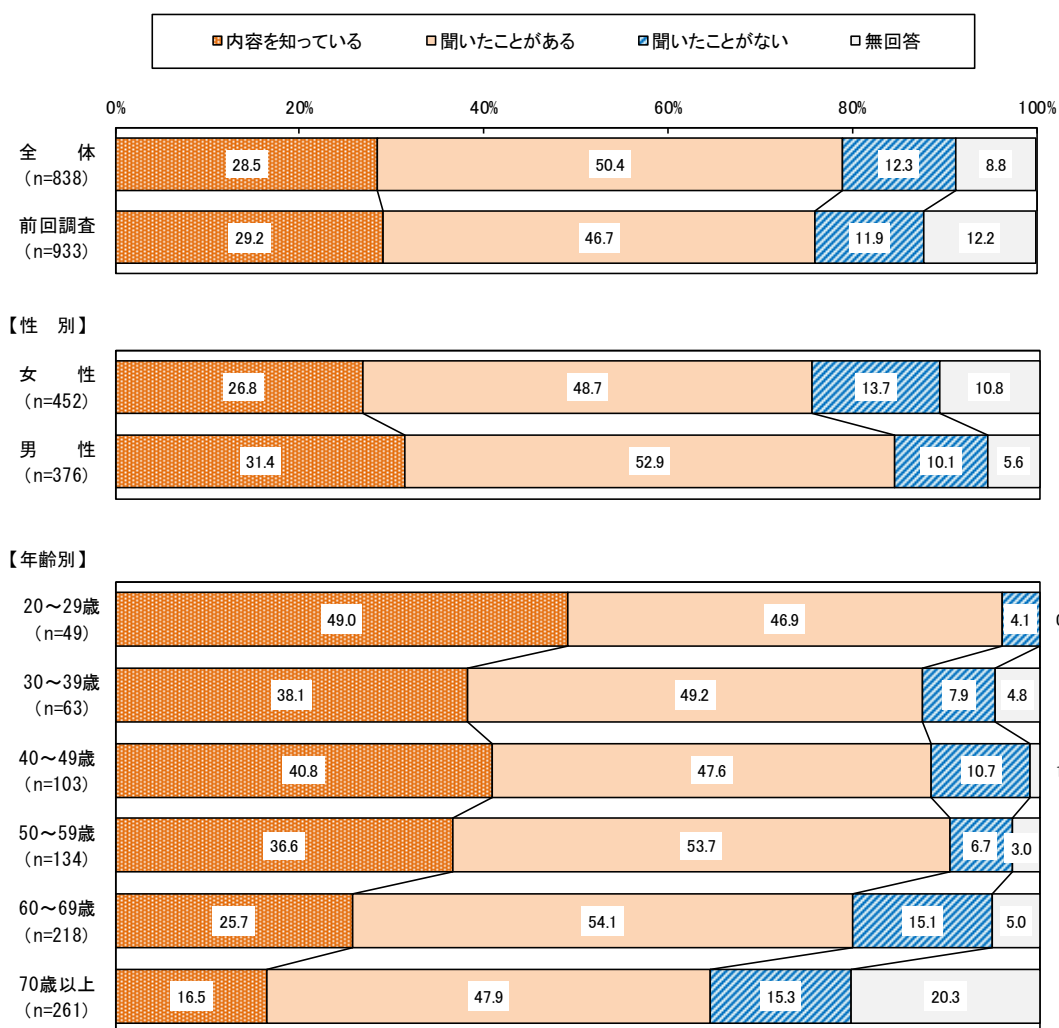
前回結果と比べ、特に大きな差は見られない。

### <性別・年齢別>

男女別では、「聞いたことがある」の割合は、男性の方が高くなっている。

年齢別では、「内容を知っている」と「聞いたことがある」の割合は、20歳代で高く、他の年齢層を大きく上回っている。

### ③ 男女雇用機会均等法



#### <全体結果>

【男女雇用機会均等法】は、「聞いたことがある」の割合が最も高く、半数強となっている。「内容を知っている」が3割弱で続いている。

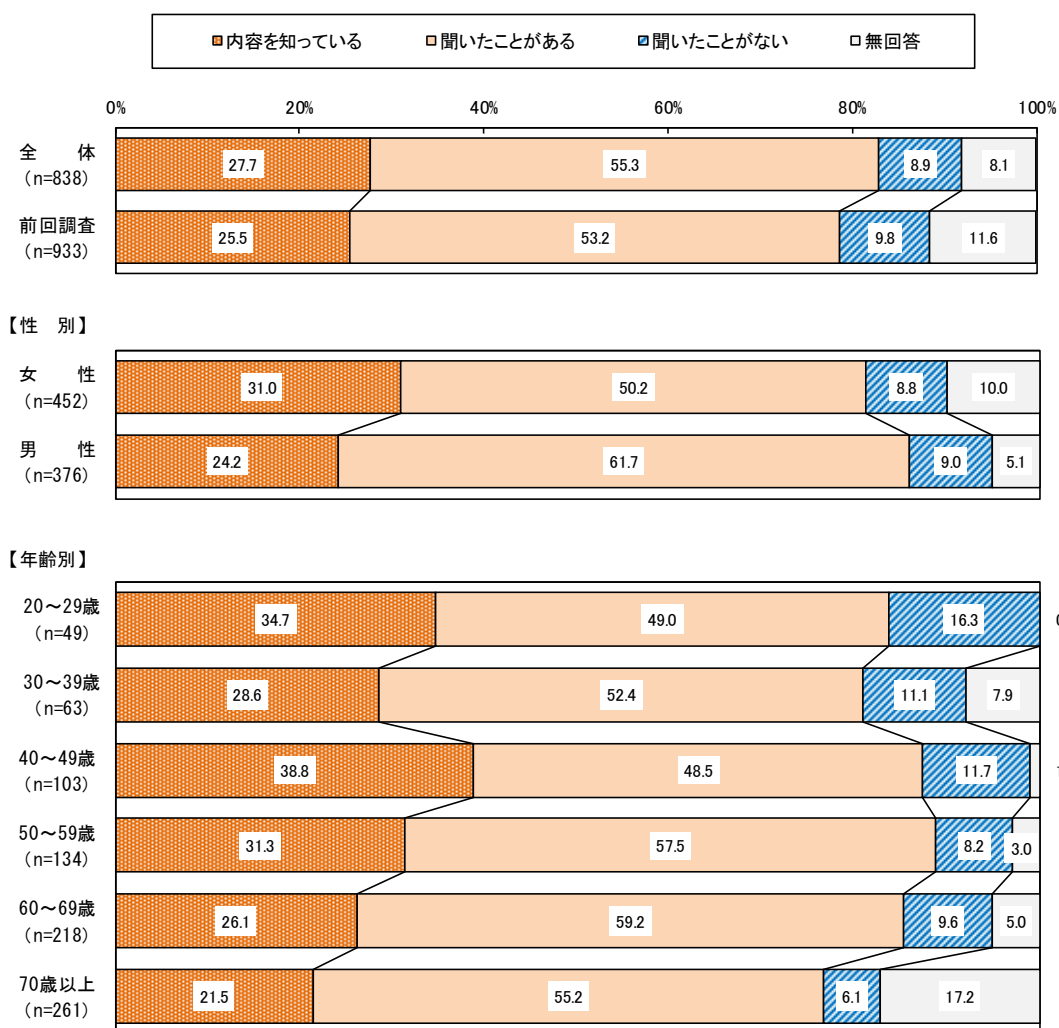
前回結果と比べ、特に大きな差は見られない。

#### <性別・年齢別>

男女別では、「内容を知っている」と「聞いたことがある」の割合は、男性の方がやや高くなっている。

年齢別では、50歳以下で「内容を知っている」の割合が高く、中でも20歳代では半数弱を占めている。

#### ④ 育児・介護休業法



#### <全体結果>

【育児・介護休業法】は、「聞いたことがある」の割合が最も高く、半数を超えている。「内容を知っている」が3割弱で続いている。

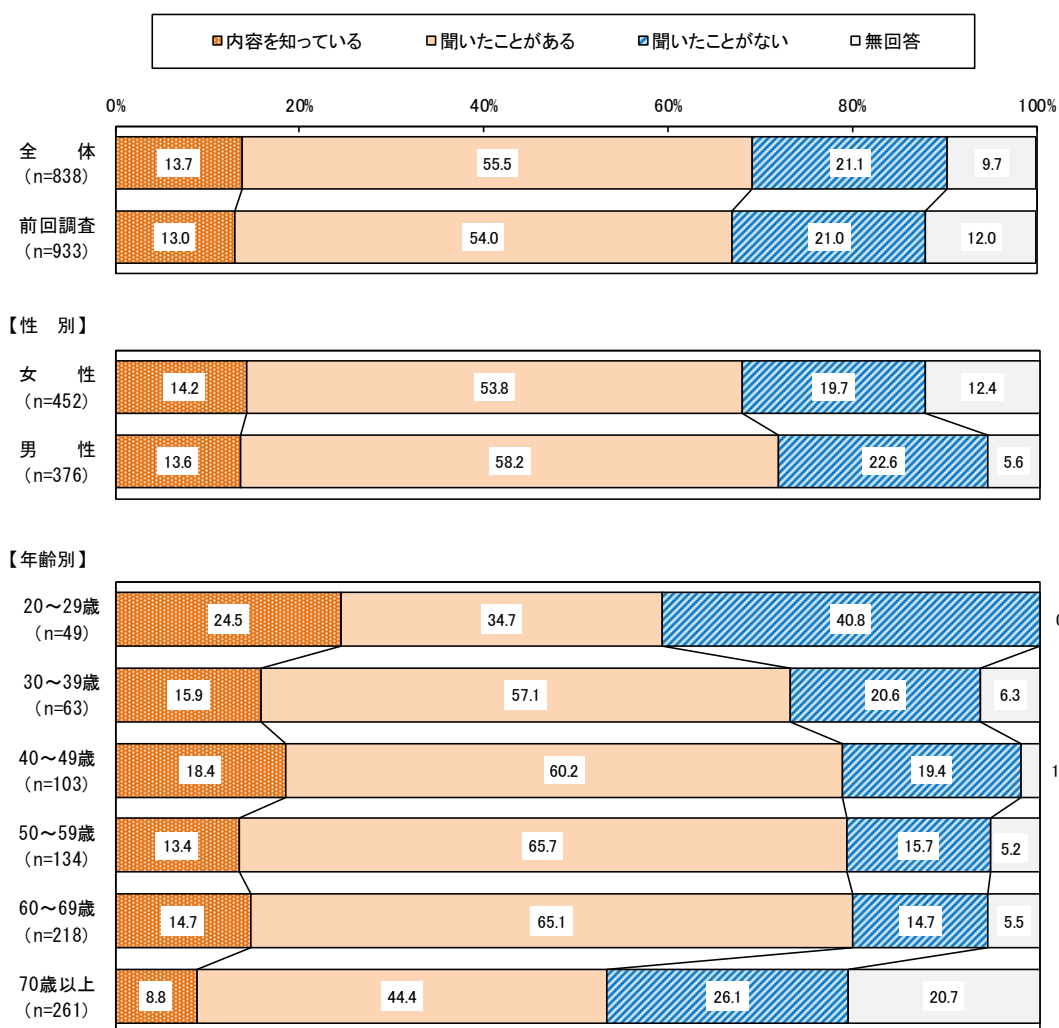
前回結果と比べ、特に大きな差は見られない。

#### <性別・年齢別>

男女別では、「内容を知っている」の割合は、女性の方が高く、「聞いたことがある」の割合は、男性の方が高くなっている。

年齢別では、「内容を知っている」の割合が40歳代で高く、4割弱を占めている。

### ⑤ DV防止法：配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律



#### <全体結果>

【DV防止法：配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律】は、「聞いたことがある」の割合が最も高く、半数を超えている。「聞いたことがない」が2割強で続いている。

前回結果と比べ、特に大きな差は見られない。

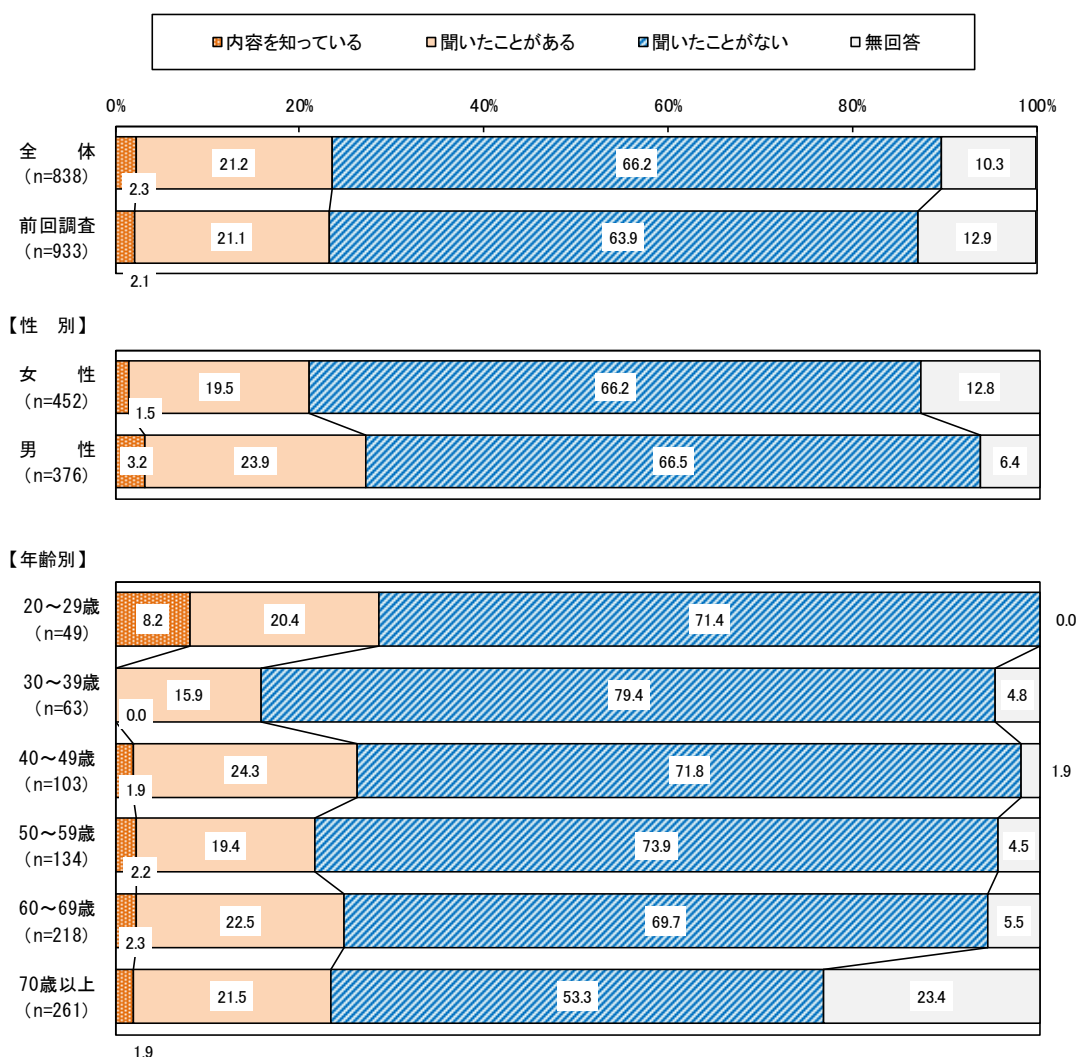
#### <性別・年齢別>

男女別では、「聞いたことがある」の割合は、男性の方がやや高くなっている。

年齢別では、「聞いたことがある」の割合は、50歳代と60歳代が高くなっている。20歳代では、「内容を知っている」の割合が高いが、「聞いたことがない」の割合も高く、他の年齢層を大きく上回っている。



## ⑥ 新潟県男女平等社会の形成の推進に関する条例



### <全体結果>

【新潟県男女平等社会の形成の推進に関する条例】は、「聞いたことがない」の割合が最も高く、7割弱を占めている。「聞いたことがある」が2割強で続いている。

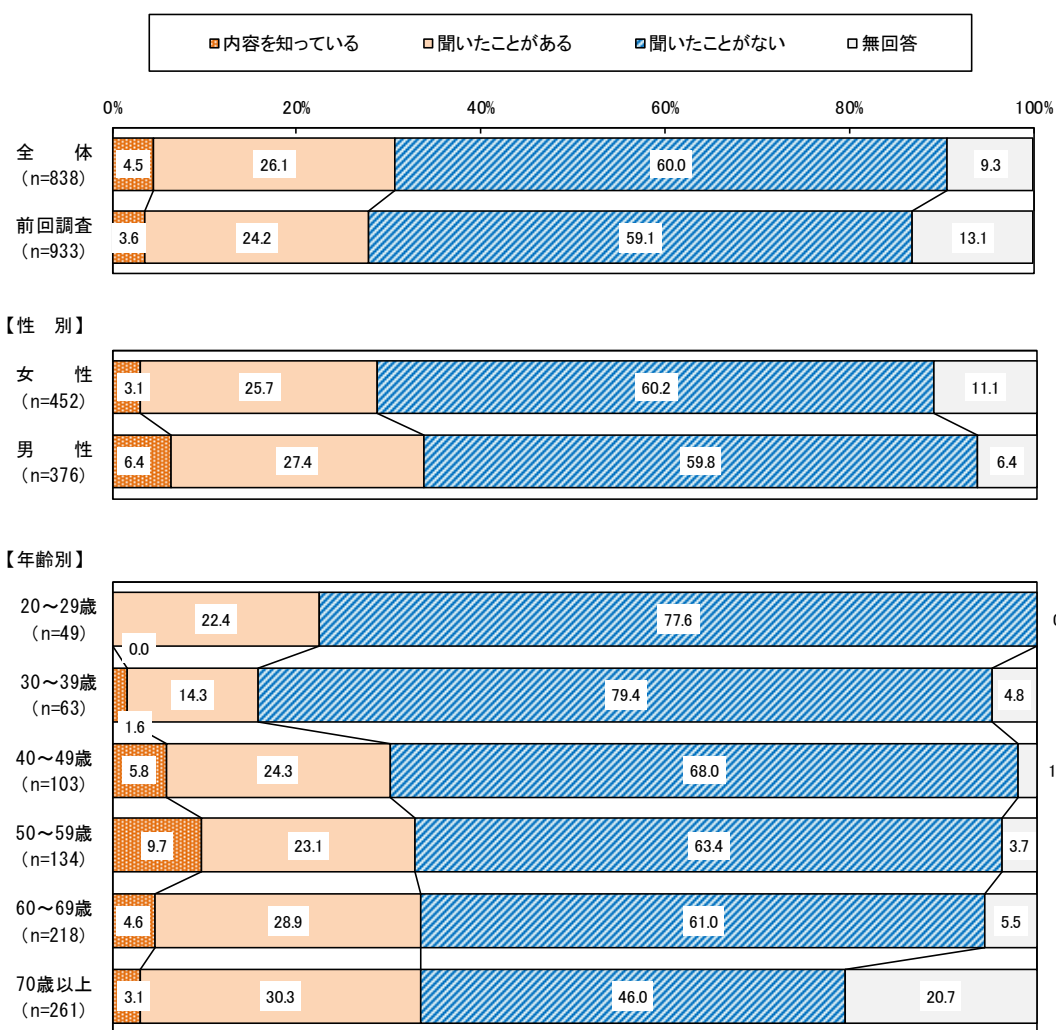
前回結果と比べ、特に大きな差は見られない。

### <性別・年齢別>

男女別では、「聞いたことがある」の割合は、男性の方がやや高くなっている。

年齢別では、「聞いたことがない」の割合は、30歳代で最も高く、8割弱を占めている。

## ⑦ 村上市男女共同参画計画



### <全体結果>

【村上市男女共同参画計画】は、「聞いたことがない」の割合が最も高く、6割を占めている。「聞いたことがある」が3割弱で続いている。

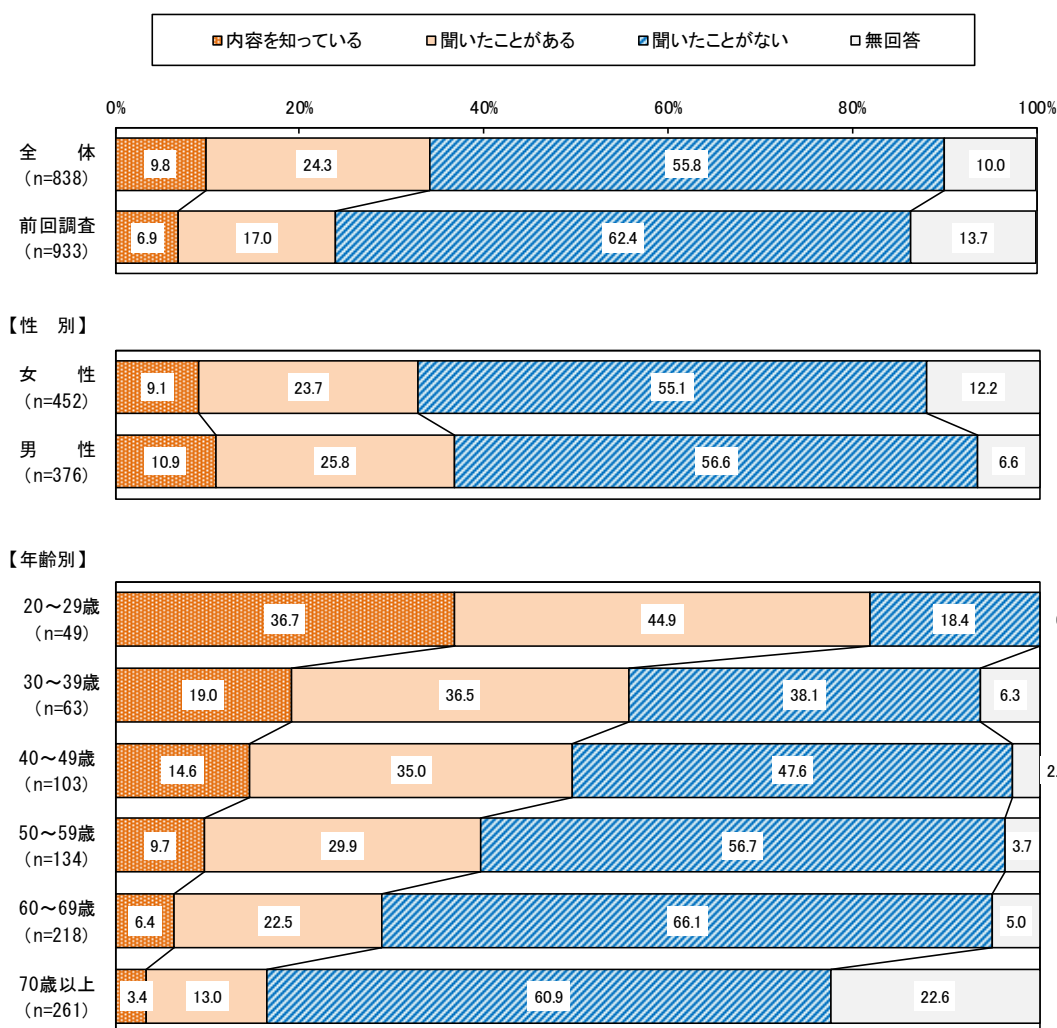
前回結果と比べ、特に大きな差は見られない。

### <性別・年齢別>

男女別では、特に大きな差は見られない。

年齢別では、「聞いたことがない」の割合が40歳以下で高く、中でも30歳代では8割弱を占めている。

## ⑧ ジェンダー（社会的性別）



### <全体結果>

【ジェンダー（社会的性別）】は、「聞いたことがない」の割合が最も高く、6割弱を占めている。「聞いたことがある」が2割強で続いている。

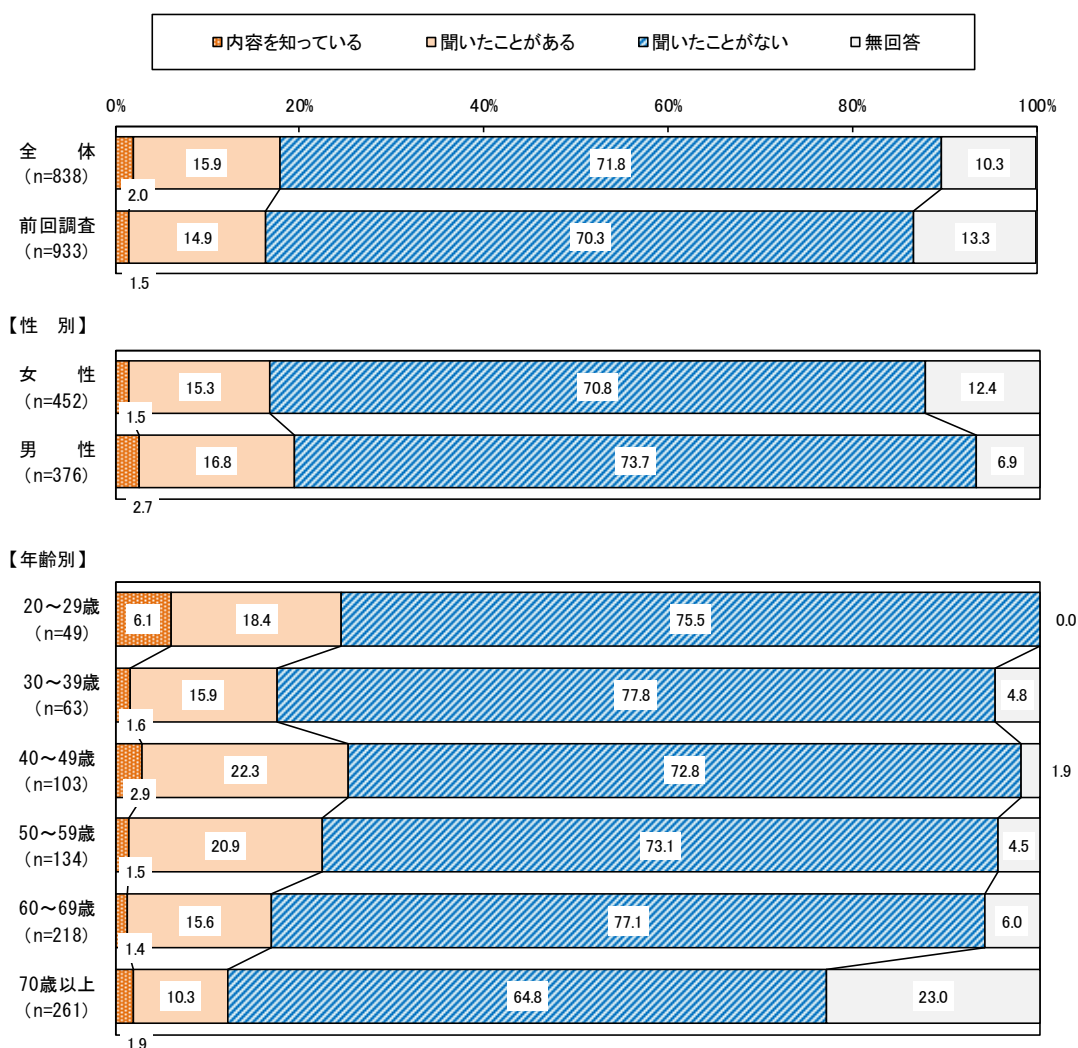
前回結果と比べ、「聞いたことがある」が増加し、「聞いたことがない」が減少している。

### <性別・年齢別>

男女別では、特に大きな差は見られない。

年齢別では、20歳代で「内容を知っている」と「聞いたことがある」の割合が目立って高く、「聞いたことがある」では30歳代、40歳代でも高くなっている。一方、60歳代以上では、「聞いたことがない」の割合が高く、他の年齢層を上回っている。

### ⑨ ポジティブ・アクション（積極的改善措置）



#### <全体結果>

【ポジティブ・アクション（積極的改善措置）】は、「聞いたことがない」の割合が最も高く、7割強を占めている。

前回結果と比べ、特に大きな差は見られない。

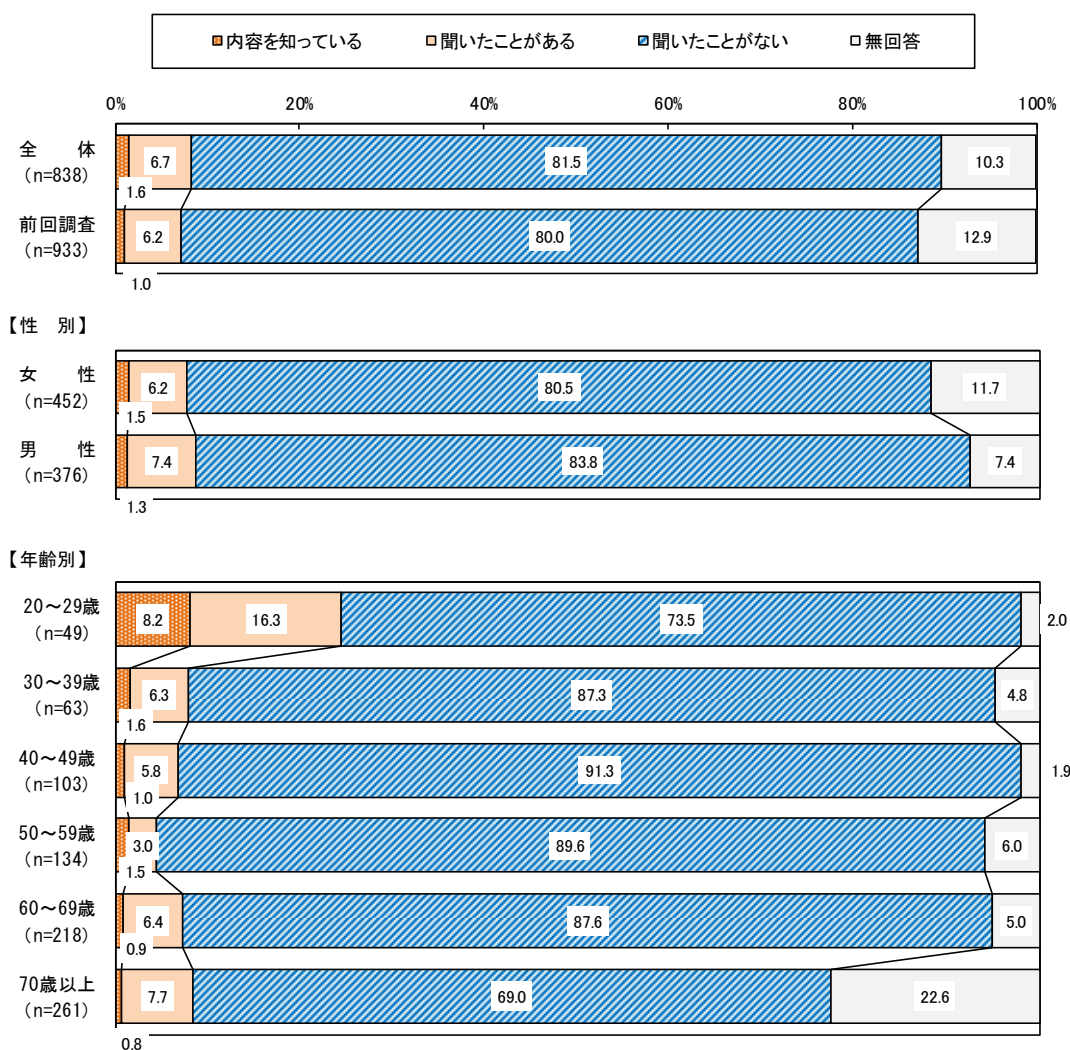
#### <性別・年齢別>

男女別では、特に大きな差は見られない。

年齢別では、40歳代、50歳代で「聞いたことがある」の割合が高く、30歳代、60歳代では「聞いたことがない」の割合が高くなっている。



## ⑩ リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する女性の健康と権利）



### <全体結果>

【リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する女性の健康と権利）】は、「聞いたことがある」の割合が最も高く、8割強を占めている。

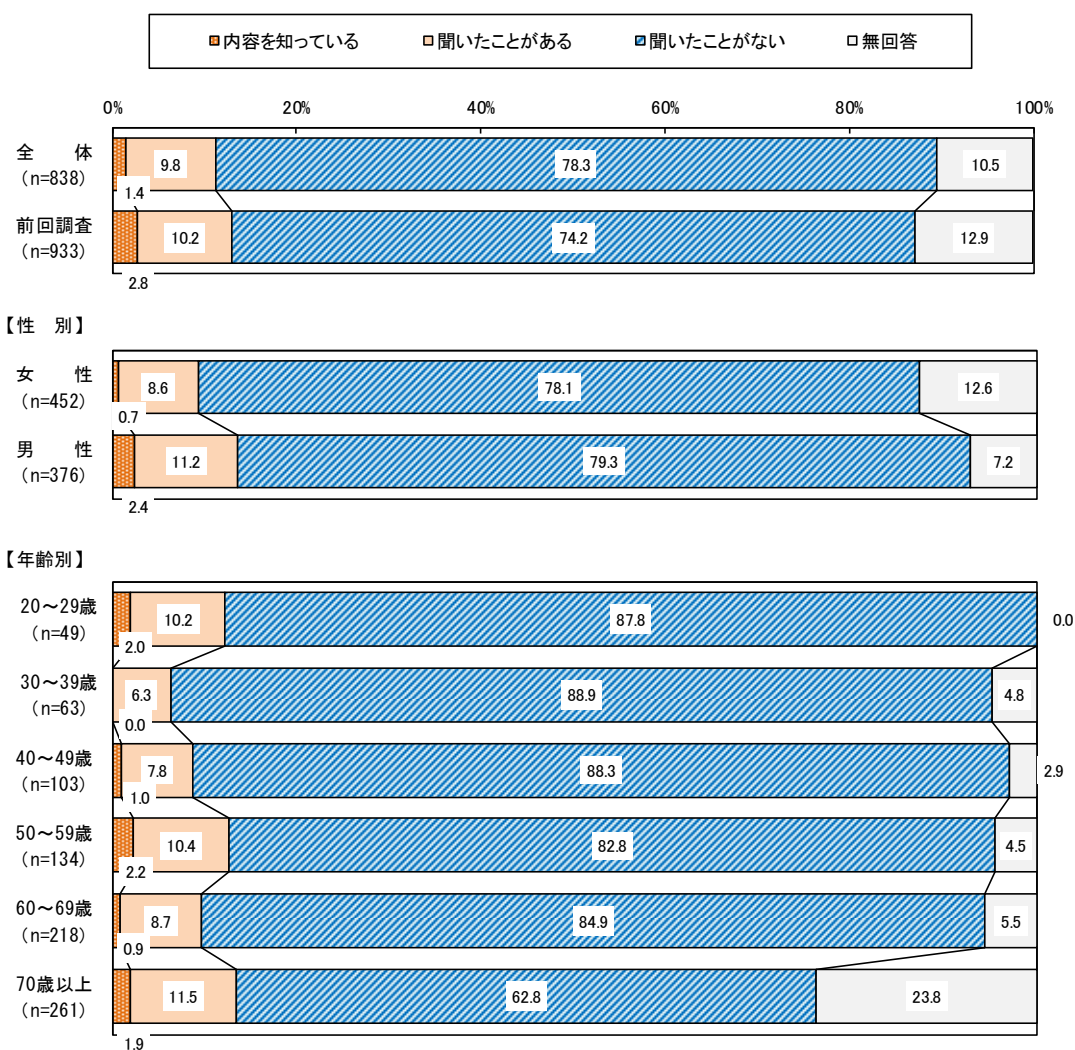
前回結果と比べ、特に大きな差は見られない。

### <性別・年齢別>

男女別では、特に大きな差は見られない。

年齢別では、「聞いたことがない」の割合は30～60歳代で高く、中でも40歳代では9割を超えている。一方、20歳代では「内容を知っている」「聞いたことがある」の割合が、他年齢層よりも高くなっている。

## ⑪ 家族経営協定



### <全体結果>

【家族経営協定】は、「聞いたことがない」の割合が最も高く、8割弱を占めている。前回結果と比べ、「聞いたことがない」の割合が、やや増加している。

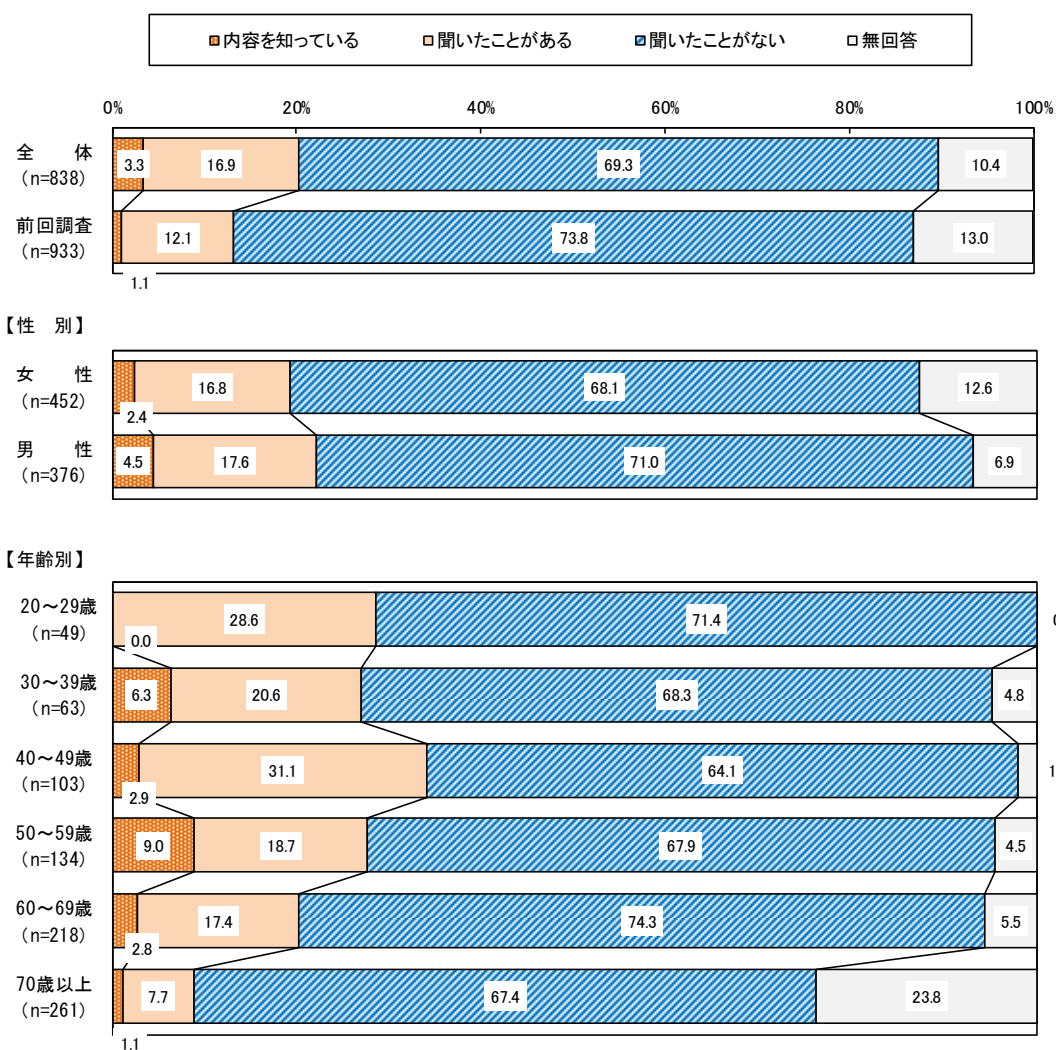
### <性別・年齢別>

男女別では、特に大きな差は見られない。

年齢別では、「聞いたことがある」の割合は、20歳代、30歳代、40歳代で高く、9割弱を占めている。



## ⑫ ハッピー・パートナー企業



### <全体結果>

【ハッピー・パートナー企業】は、「聞いたことがない」の割合が最も高く、7割弱を占めている。

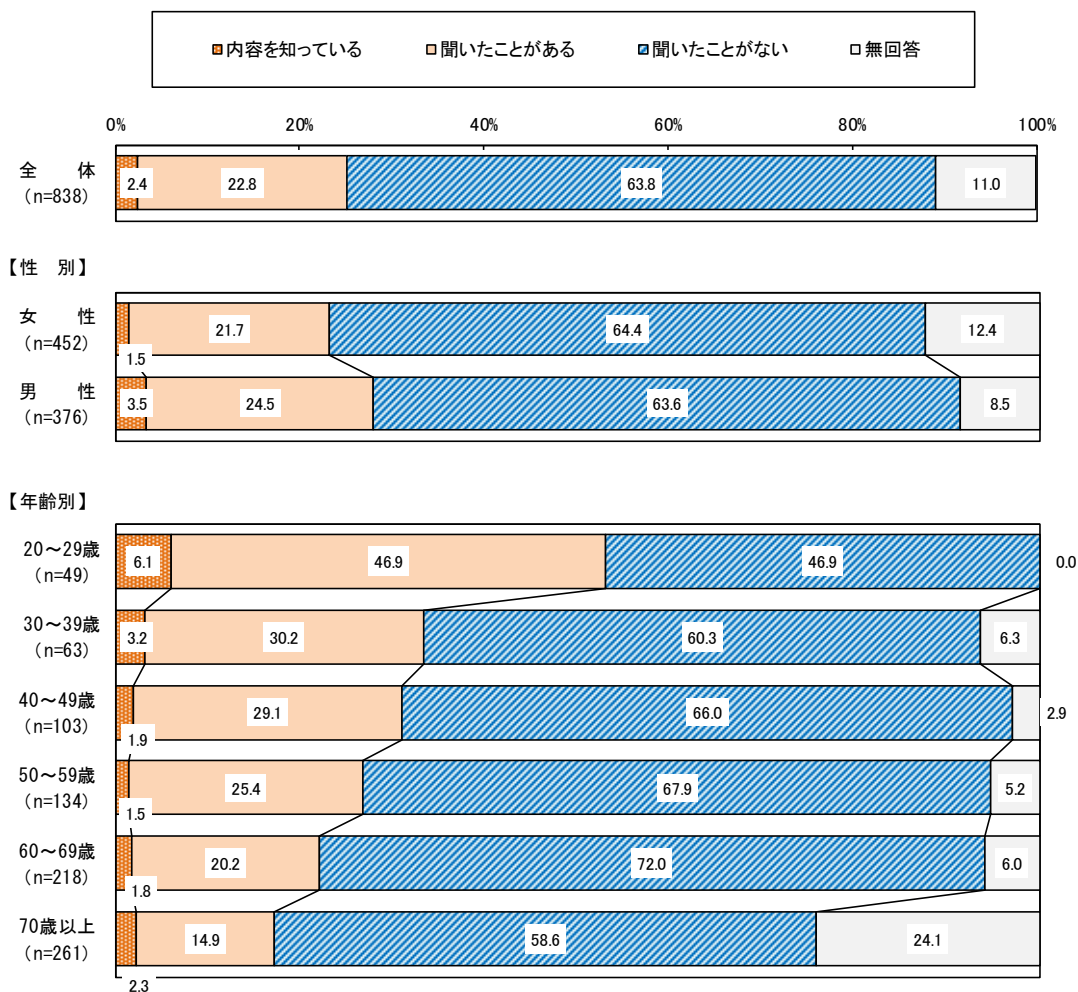
前回結果と比べ、「聞いたことがある」の割合はやや増加し、「聞いたことがない」の割合はやや減少している。

### <性別・年齢別>

男女別では、特に大きな差は見られない。

年齢別では、「聞いたことがある」の割合は、20歳代と40歳代で高く、3割前後を占めている。「聞いたことがない」の割合は、60歳代で高く、全体の約4分の3を占めている。

⑬ 女性活躍推進法（女性の職場生活における活躍の推進に関する法律）



<全体結果>

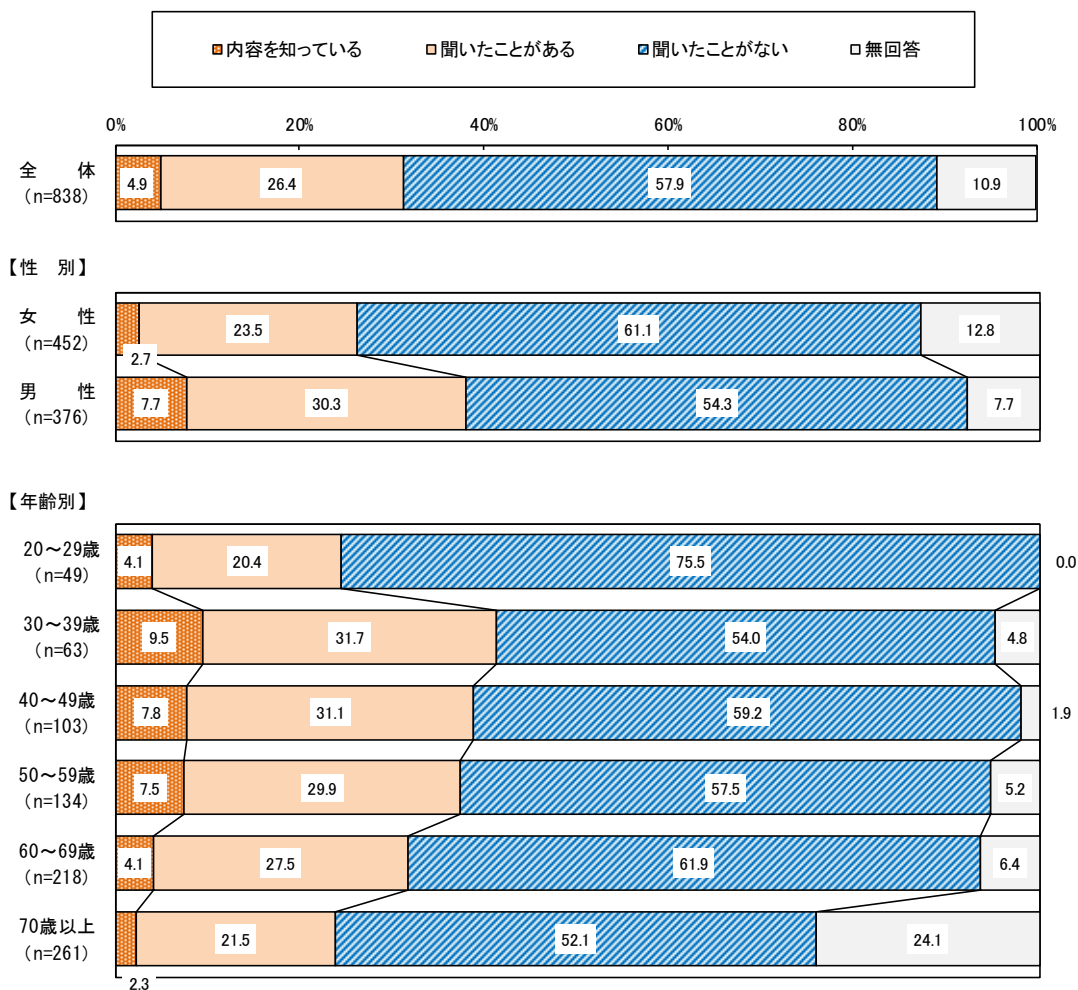
【女性活躍推進法（女性の職場生活における活躍の推進に関する法律）】は、「聞いたことがない」の割合が最も高く、6割強を占めている。

<性別・年齢別>

男女別では、特に大きな差は見られない。

年齢別では、「聞いたことがある」の割合は、20歳代で半数弱と高く、他年齢層を大きく上回っている。「聞いたことがない」の割合は、60歳代で高く、7割強を占めている。

⑭ イクボス（従業員や部下の育児参加における活躍の推進に関する法律）



<全体結果>

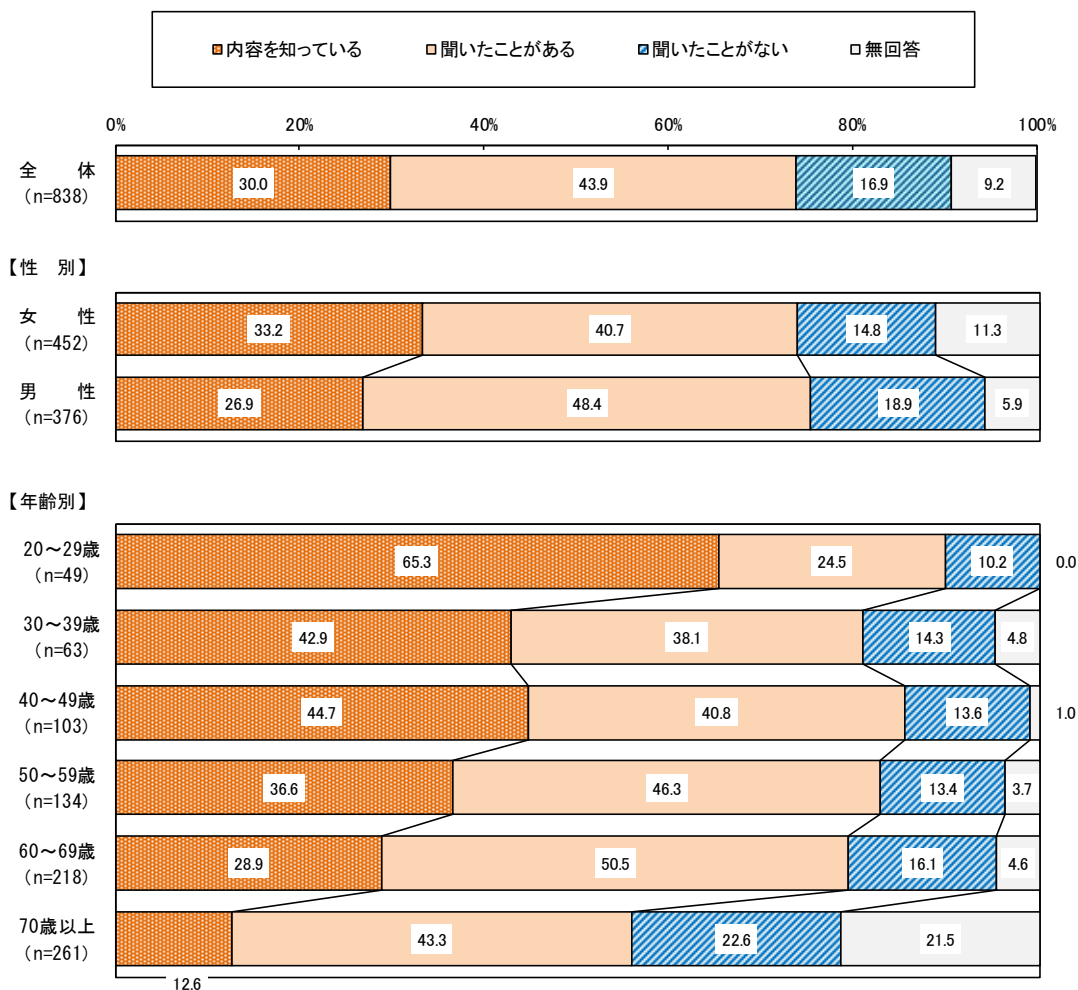
【イクボス（従業員や部下の育児参加における活躍の推進に関する法律）】は、「聞いたことがない」の割合が最も高く、6割弱を占めている。次いで、「聞いたことがある」が全体の4分の1を占めている。

<性別・年齢別>

男女別では、「内容を知っている」と「聞いたことがある」の割合は、男性の方が高く、「聞いたことがない」の割合は、女性の方が高くなっている。

年齢別では、「聞いたことがある」の割合は、30歳代と40歳代が高く、3割強となっている。20歳代では、「聞いたことがない」の割合が高く、全体の約4分の3を占めている。

⑮ マタニティ・ハラスメント（働く女性が妊娠・出産を理由に職場で受ける嫌がらせ）



<全体結果>

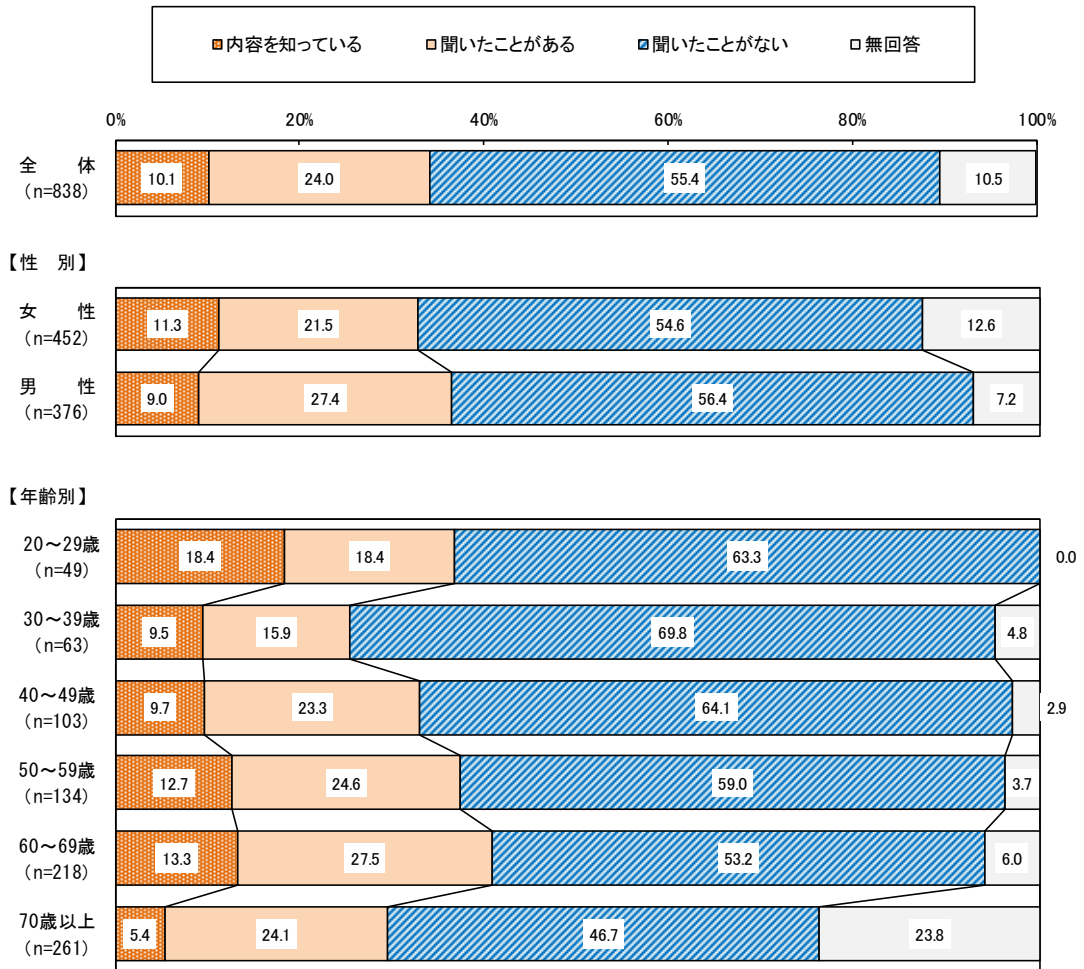
【マタニティ・ハラスメント（働く女性が妊娠・出産を理由に職場で受ける嫌がらせ）】は、「聞いたことがある」の割合が最も高く、4割強を占めている。「内容を知っている」が3割で続いている。

<性別・年齢別>

男女別では、「内容を知っている」の割合は、女性の方が高く、「聞いたことがある」と「聞いたことがない」の割合は、男性の方が高くなっている。

年齢別では、「内容を知っている」の割合は、40歳以下で高く、中でも20歳代では6割を超えている。「聞いたことがある」では60歳代、「聞いたことがない」では70歳以上で、それぞれ割合が高くなっている。

⑩ パタニティ・ハラスメント（育児のため休暇などを希望する男性が、職場で受ける嫌がらせ）



<全体結果>

【パタニティ・ハラスメント（育児のため休暇などを希望する男性が、職場で受ける嫌がらせ）】は、「聞いたことがない」の割合が最も高く、6割弱を占めている。「聞いたことがある」が2割強で続いている。

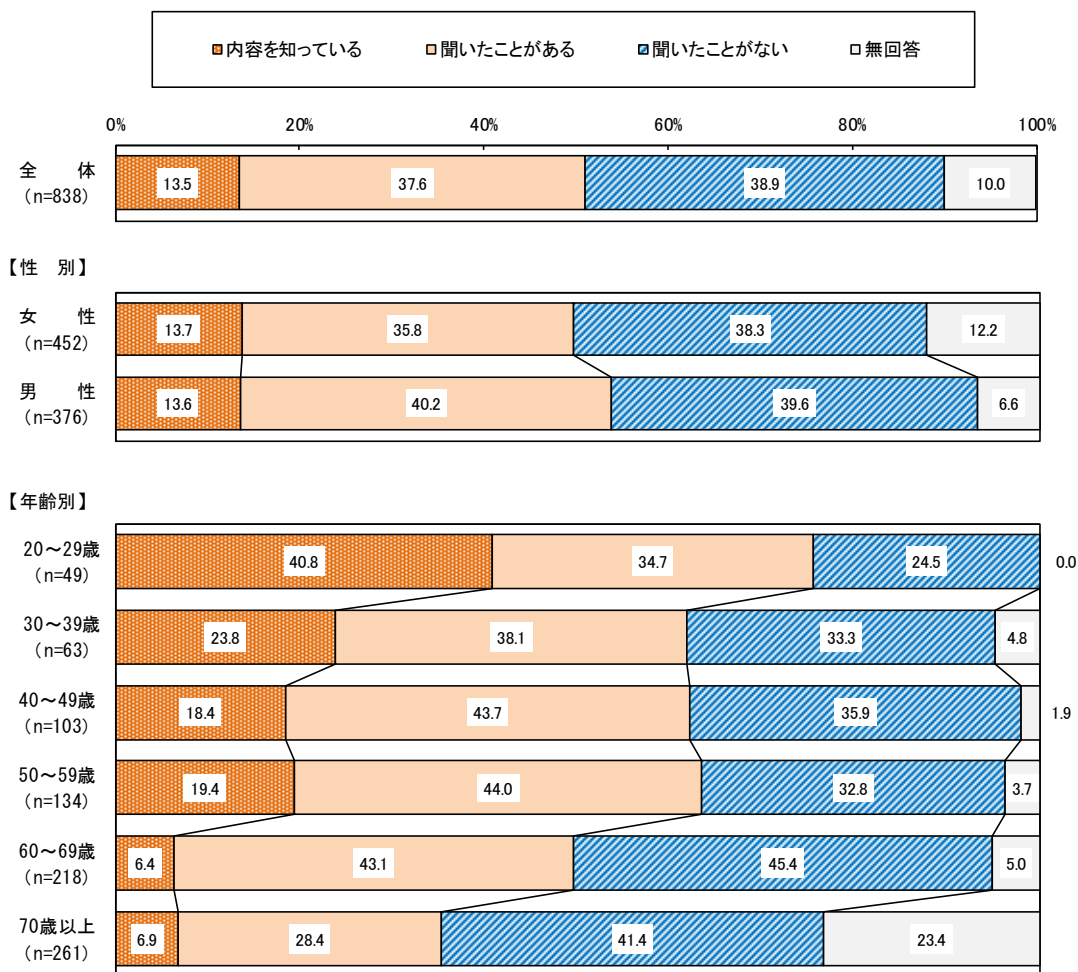
<性別・年齢別>

男女別では、「聞いたことがある」の割合は、男性の方が高くなっている。

年齢別では、「内容を知っている」の割合は、20歳代で高く、2割弱となっている。「聞いたことがない」の割合は、40歳以下で高く、中でも30歳代では7割弱を占めている。



## ⑰ ワーク・ライフ・バランス（家庭と生活の調和）



### <全体結果>

【ワーク・ライフ・バランス（家庭と生活の調和）】は、「聞いたことがある」と「聞いたことがない」の割合が拮抗しており、いずれも4割弱となっている。

### <性別・年齢別>

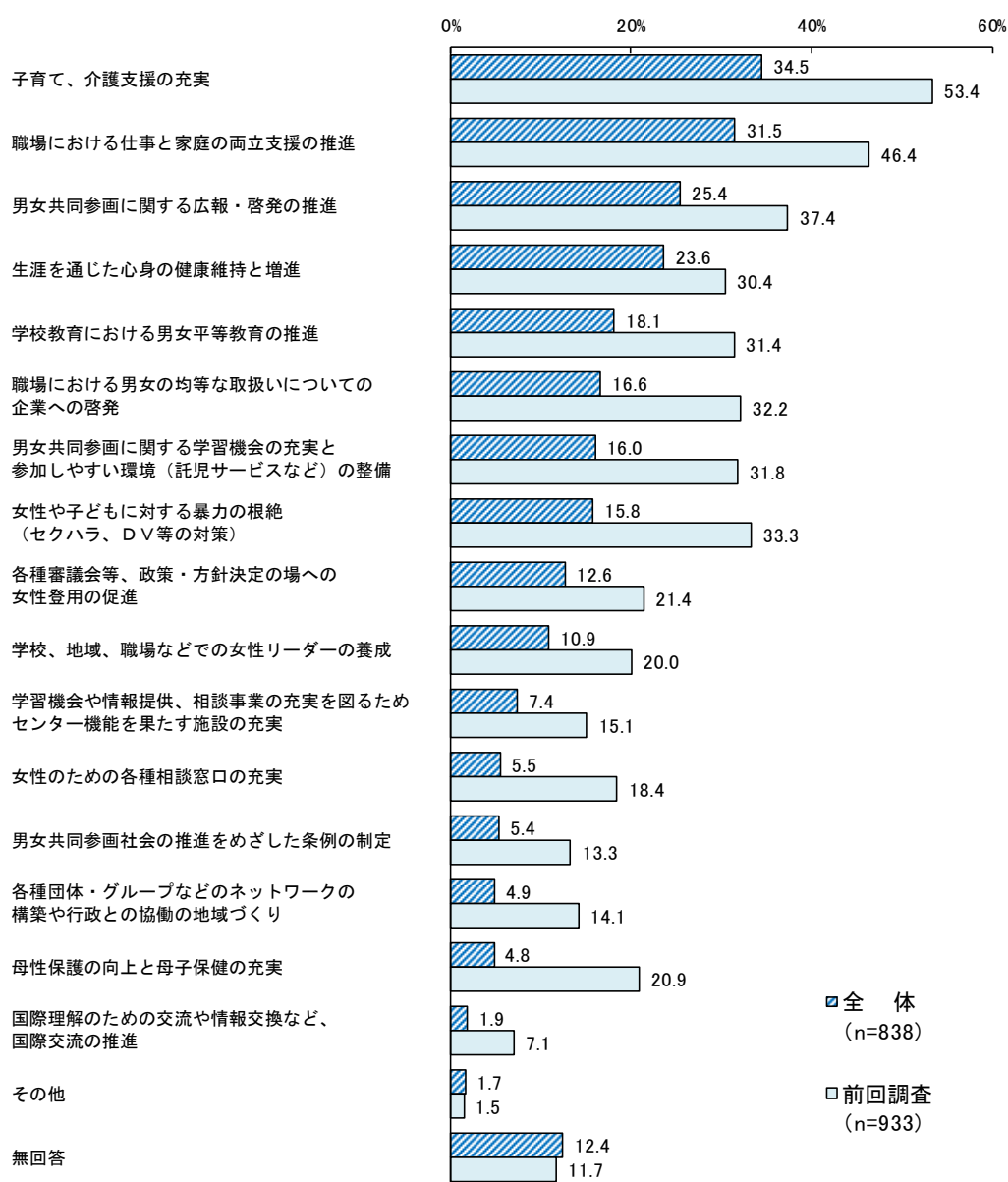
男女別では、「聞いたことがある」の割合は、男性の方がやや高くなっている。

年齢別では、「聞いたことがある」の割合は、40～60歳代で高く、4割強となっている。また、60歳代では「聞いたことがない」の割合も他年齢層よりも高くなっている。一方、30歳以下では「内容を知っている」の割合が高く、中でも20歳代では4割を超えている。



## (2) 男女共同参画社会推進のために、今後市が力を入れていくべきこと

問 15 あなたは「男女共同参画社会」を推進していくために、村上市は、今後どのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。次の中からお選びください。



### <全体結果>

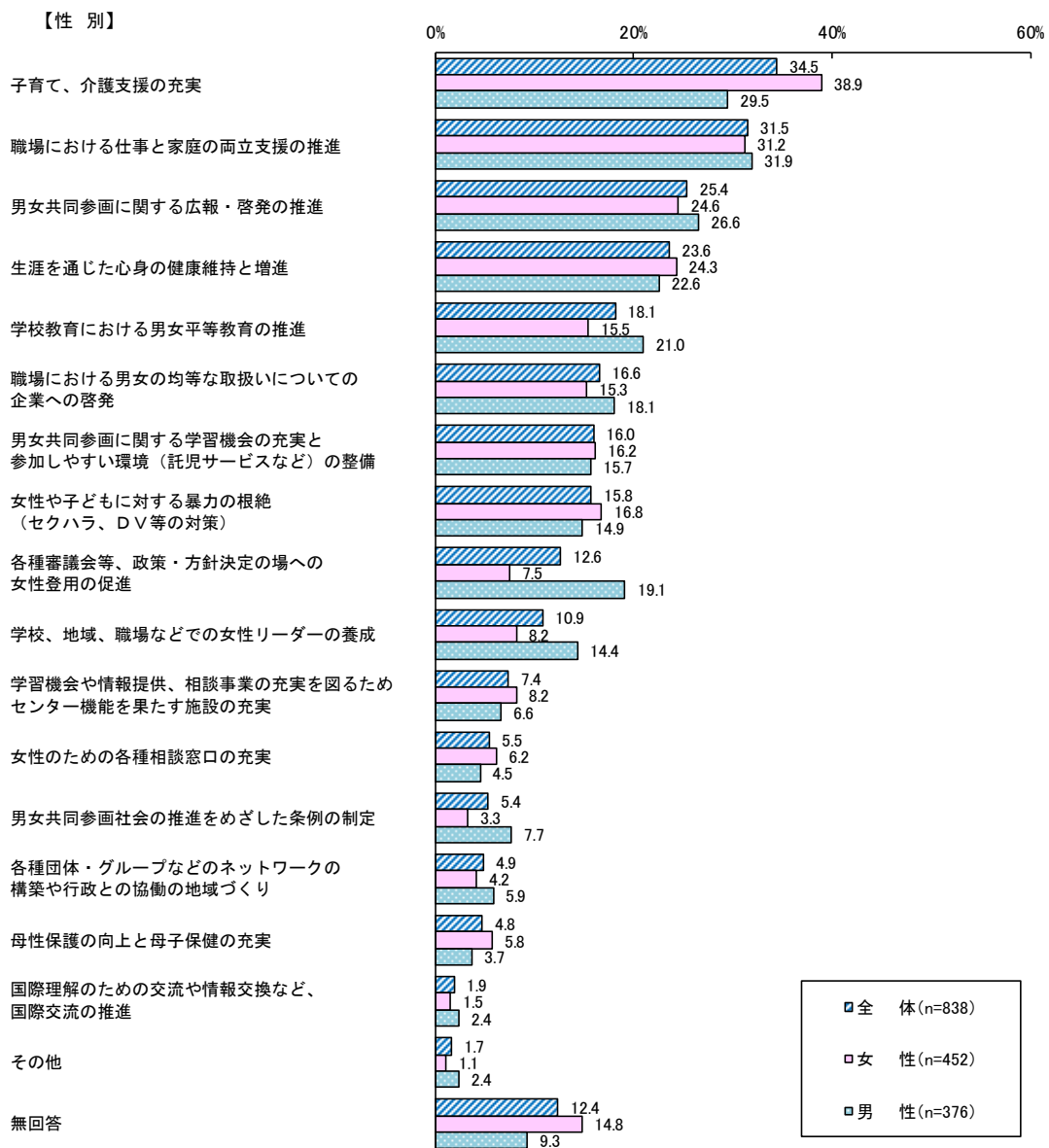
男女共同参画社会を推進していくために、村上市は「子育て、介護支援の充実」に、最も力を入れてほしいと考える人が多く、3割強となっている。次いで、「職場における仕事と家庭の両立支援の推進」が3割台、「男女共同参画に関する広報・啓発の推進」、「生涯を通じた心身の健康維持と増進」が2割台などとなっている。

前回調査と比べると、「子育て、介護支援の充実」が第1位であるのは同じだが、すべての項目で割合が減少している。

## <性別・年齢別>

男女別では、「子育て、介護支援の充実」の割合は女性の方が高くなっている。一方、「各種審議会等、政策・方針決定の場への女性登用の促進」、「学校、地域、職場などでの女性リーダーの養成」、「学校教育における男女平等教育の推進」の割合は男性の方が高くなっている。

年齢別では、20歳代では「職場における仕事と家庭の両立支援の推進」、「職場における男女の均等な取扱いについての企業への啓発」、「女性や子どもに対する暴力の根絶（セクハラ、DV等の対策）」の割合が他年齢層よりも高くなっている。また、「職場における仕事と家庭の両立支援の推進」では、30歳代でも割合が高く、5割弱となっている。



上段: 回答者数 / 下段: 割合 (%)

	合計	男女共同参画に関する広報・啓発の推進	学校教育における男女平等教育の推進	各種審議会等、政策・方針決定の場への女性の登用の促進	女性や子どもに対する暴力の根絶(セクハラ、DV等の対策)	生涯を通じた心身の健康維持と増進	母性保護の向上と母子保健の充実	学校、地域、職場などでの女性のリーダーの養成	男女共同参画に関する学習機会の充実と参加しやすい環境(託児サービスなど)の整備	職場における男女の均等な取扱いについての企業への啓発	職場における仕事と家庭の両立支援の推進	
全体	838 100.0%	213 25.4%	152 18.1%	106 12.6%	132 15.8%	198 23.6%	40 4.8%	91 10.9%	134 16.0%	139 16.6%	264 31.5%	
前回調査(H27)	100.0%	37.4%	31.4%	21.4%	33.3%	30.4%	20.9%	20.0%	31.8%	32.2%	46.4%	
性別	男性	452 100.0%	111 24.6%	70 15.5%	34 7.5%	76 16.8%	110 24.3%	26 5.8%	37 8.2%	73 16.2%	69 15.3%	141 31.2%
	女性	376 100.0%	100 26.6%	79 21.0%	72 19.1%	56 14.9%	85 22.6%	14 3.7%	54 14.4%	59 15.7%	68 18.1%	120 31.9%
	無回答	10 100.0%	2 20.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%	2 20.0%	3 30.0%
年齢別	20~29歳	49 100.0%	8 16.3%	11 22.4%	5 10.2%	18 36.7%	8 16.3%	6 12.2%	5 10.2%	6 12.2%	13 26.5%	24 49.0%
	30~39歳	63 100.0%	12 19.0%	11 17.5%	13 20.6%	12 19.0%	14 22.2%	4 6.3%	5 7.9%	10 15.9%	8 12.7%	29 46.0%
	40~49歳	103 100.0%	24 23.3%	17 16.5%	11 10.7%	19 18.4%	21 20.4%	9 8.7%	13 12.6%	12 11.7%	15 14.6%	40 38.8%
	50~59歳	134 100.0%	31 23.1%	25 18.7%	18 13.4%	18 13.4%	25 18.7%	3 2.2%	15 11.2%	24 17.9%	32 23.9%	48 35.8%
	60~69歳	218 100.0%	69 31.7%	43 19.7%	25 11.5%	34 15.6%	54 24.8%	7 3.2%	26 11.9%	47 21.6%	39 17.9%	74 33.9%
	70歳以上	261 100.0%	69 26.4%	41 15.7%	33 12.6%	31 11.9%	73 28.0%	11 4.2%	27 10.3%	32 12.3%	30 11.5%	44 16.9%
	無回答	10 100.0%	0 0.0%	4 40.0%	1 10.0%	0 0.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 30.0%	2 20.0%	5 50.0%

	合計	子育て、介護支援の充実	女性のための各種相談窓口の充実	国際理解のための交流や情報交換など、国際交流の推進	各種団体・グループなどのネットワークの構築や行政との協働の地域づくり	男女共同参画社会の推進をめざした条例の制定	学習機会や情報提供、相談事業の充実を図るためセンター機能を果たす施設の充実	その他	無回答	
全体	838 100.0%	289 34.5%	46 5.5%	16 1.9%	41 4.9%	45 5.4%	62 7.4%	14 1.7%	104 12.4%	
前回調査(H27)	100.0%	53.4%	18.4%	7.1%	14.1%	13.3%	15.1%	1.5%	11.7%	
性別	男性	452 100.0%	176 38.9%	28 6.2%	7 1.5%	19 4.2%	15 3.3%	37 8.2%	5 1.1%	67 14.8%
	女性	376 100.0%	111 29.5%	17 4.5%	9 2.4%	22 5.9%	29 7.7%	25 6.6%	9 2.4%	35 9.3%
	無回答	10 100.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%
年齢別	20~29歳	49 100.0%	18 36.7%	1 2.0%	1 2.0%	2 4.1%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 8.2%
	30~39歳	63 100.0%	26 41.3%	2 3.2%	1 1.6%	3 4.8%	5 7.9%	4 6.3%	0 0.0%	7 11.1%
	40~49歳	103 100.0%	43 41.7%	6 5.8%	1 1.0%	6 5.8%	4 3.9%	6 5.8%	3 2.9%	6 5.8%
	50~59歳	134 100.0%	46 34.3%	9 6.7%	4 3.0%	2 1.5%	8 6.0%	13 9.7%	4 3.0%	13 9.7%
	60~69歳	218 100.0%	72 33.0%	15 6.9%	6 2.8%	11 5.0%	14 6.4%	16 7.3%	4 1.8%	16 7.3%
	70歳以上	261 100.0%	82 31.4%	12 4.6%	3 1.1%	17 6.5%	12 4.6%	22 8.4%	3 1.1%	57 21.8%
	無回答	10 100.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%

## 10 自由記入の結果

自由記入欄に記載してあった内容を整理したものを全て原文のまま以降に掲載する。

なお、ここで指摘された内容は、市民の具体的な声であるため、男女共同参画プランを見直す際に、十分考慮する必要があると考えられる。

- 最後に、男女共同参画についてご意見やご要望などがございましたら、ご自由にご記入ください。

	自由意見	属性	
		性別	年齢別
1	うさんくさいです。	女性	60歳～69歳
2	男女平等の思想があたりまえの時代、女性が強くなったと言われて久しいが女性が賢くなったとはあまり聞こえてこない。平等を望むなら仕事が出る前に人として利ハツ？になる人間教養お互いに深めてゆかなければと思う。人間すべてスマホみたいに思われて仕方ない。年寄りのたわごとか？以上	女性	70歳以上
3	11Pに挙げてある法律や制度の名称について聞いたことがないものが多くて、自信の勉強不足に思知らされました。	女性	60歳～69歳
4	何事もそうですが山村（山林）、漁村（漁業）、農業等すべての職業において、隅々まで皆で参加できるようだったらいいと思います。市の中心部には人も集まるし、すべてにおいて進んでいます。私はどちらかというと山に近いですががんばります。	女性	60歳～69歳
5	内容の意味があまり良くわからない。村上市の事はあまり良く知らない。	男性	70歳以上
6	育児休みが短い、又介護者に対する援助	女性	70歳以上
7	職場においては能力、職場での貢献を第一とすべきで男女の差で格差をすべきではない。女だからといって優遇すべきではない。家庭においては、夫婦間で判断すべきで行政が立ち入るべきではない。社会においては職場と同様、能力、実力で判断すべきである。「男女共同参画社会」は個々家庭、社会、職場で考えていくものと思われ、行政（市役所）が無駄に税金を使い関与することに疑問を感じる。	男性	60歳～69歳
8	山北で働いて（賃金が低く）生活出来る職場を確保し、若い人が生活出来る環境を作ってほしい	男性	60歳～69歳
9	いまのわかい人達は、あまりにも年よりをばかにしています	女性	70歳以上
10	私は結婚していないので分からないことがたくさんありますが女性は結婚して出産し子供を育てることが当たり前でそれをしていない女性はだめなんだという考えが強いと思います。結婚してようがしていなかろうか、関係なく全ての人々が気にせず生活できる世の中になってほしいと思います。	女性	30歳～39歳
11	各地域のリーダー養成を基本に地域間の格差多岐における考え方等に平等を考える学習の物作りが必要である。特に人口減少集落が多くなるための策	男性	70歳以上
12	意見、要望等は特にないですが、80才も過ぎてる為今回の調査回答が大変でした。出来ましたら今後、選ばれないことを願いたいものです。	女性	70歳以上
13	村上市を住み良い街にしていって下さい	男性	30歳～39歳
14	つたない回答で失礼しました。男女同格。質と機能が違うだけ。この年になるまで常にそう思ってきた気がします。その違いをお互い尊び合えるといいですね。	女性	60歳～69歳
15	学校、職場、家庭の円満社会になるような暮らしの共同参画であってほしい。負担ばかり先立たないようバランスである互いの尊重であるような計画を進められる事を希望します。公務員職場と民間企業では色々な温度差があるように感じますので取り組みについて将来性ある村上市のため推進して頂きます事を願っています。	女性	60歳～69歳
16	村上市は高齢者には優しいが、子育て世代には本当に優しい。金銭的、物質的な支援もなく、職もない。働きながら子育てをしていると毎日目まぐるしく、大変な思いをしているのに支援もないと本当に辛い。中でも予防接種は初回は立て続けにあるので、忘れないが、1年後に受ける追加はつい忘れがちになるので、予防票などはその時期になったら郵送してもらいたい。他の地区では当たり前です。	女性	30歳～39歳
17	子育てや女性・男性に関わらず支援してもらえ、暮らしやすいまちになるのなら、住む人も働く人も増え、活気あるまちづくりにもなると思います。高齢化で、人工も減っていますが、次の世代に住みよいまちになると良いと思っています。	女性	20歳～29歳
18	現在運動クラブ、ワークるに所属しているが女性会員が8割いますが、会のサブリーダー、会計等の役をたのむと引き受けてもらえず、リーダーも大変です。	男性	70歳以上
19	広報、啓発、活動が大切と思います	男性	50歳～59歳
20	①第一次村上市男女共同参画計画を初めて拝見しました。基本目標、重点分野、具体的事業、成果指標といった構造になっています。5年間が終わってH29年度で終了ということですが、第二次計画策定にむけてこの第一次の成果と課題を明確にすることが大切だと思います。②計画・実践・評価の評価をどうしていくのか。難しいところですが、考察が必要なのかもしれません。5年間は長すぎるようにも思います。	男性	70歳以上
21	70才以上のアンケートではないように感じました。	女性	70歳以上

	自 由 意 見	属 性	
		性 別	年 齢 別
22	私みたいに男女共同参画を調査するよりまだ若い人が居ると思う。ただ私の集落は結婚もせず独り者が多い。婦人会も無くなり男女で共同でやる集まりも無くなりました。現在は何にもやる人も男とOGです。若い女性とのコミュニケーションも無くなりました。	男 性	60歳～69歳
23	外来語を片仮名で記載して済ますやり方では駄目、ここは日本である。古代の日本人は中国より漢字の草書体よりひらがなを発明して方言まで表現できる日本語とした。明治人は外来語を日本の漢字に直し意味までわかるようにした。現代はジェンダーとか外来語を片仮名にしたらだけ。外来語そのものではないか。日本人も劣化したもの、将来があやぶまれる	男 性	70歳以上
24	具体的にはっきりと言う事が出来ません。知識がない為です。	女 性	60歳～69歳
25	村上がより住みやすいまちになるよう「帰って来たい」と思えるまちになるよう願っています	女 性	20歳～29歳
26	職場の人間関係の改善を一番に考えてほしい。男・女もそうだが、上下関係や好き嫌いに対する対応等も顕著。このような環境が結婚、出産、育児の妨げになっていると思う。心のゆとりがほしい。	女 性	20歳～29歳
27	長時間労働や残業手当を昇給によりつけない会社がある。男性の疲弊→家庭内での不和→離婚が多いのでは？子供に手がかかるのはほんのわずかな期間です。子供への支援よりも企業自体の長時間労働への監視強化をした方が良くと思う。団塊の世代の引退後の体を壊している方が多いのは長時間労働のせいかと思っています。	女 性	30歳～39歳
28	まだまだ封建的な雰囲気が残っている世の名ですが、少しずつでも、男女共に協力してより良い村上市にしていただけようよろしくお願い致します。	女 性	50歳～59歳
29	年老いた私には意識調査難しくよくお答えできませんでした。	女 性	70歳以上
30	男女共同参画を市が実施しているとの事ですが初耳です。良いと思う事はスピードを持って行う。民間企業ならあたりまえの事です。がんばれ、村上市	男 性	50歳～59歳
31	市の対応が遅い他市町村より	男 性	60歳～69歳
32	この様なアンケートは記入してもらって年齢を考えてほしい	女 性	60歳～69歳
33	65歳以上、高齢者の女性はまだまだ元気なので様々な場面での登用（活用）を。	男 性	60歳～69歳
34	市長のメッセージが種々あるので理解しにくい。種々な取組みをしているが形だけ、内容はわかりにくくそして人選も、よくされてない。どうしてこんな人がここにいるのという人が、大事なところにいたりする。よく考えてほしいところである。	男 性	60歳～69歳
35	このアンケートには関係ないのですが、私達の年代だとまごの就職の事ですが、これは昔から聞いている事ですが、いまでも市職員になるために大金をやったと耳にしたのですが、そんな事いまでもやっているのですか。	女 性	70歳以上
36	母シス92才のため長男（新発田市居住）63才が代筆いたしました。アンケートは市民会員でなく、現在働いている方、子育て最中の方に絞って実施した方が良いのではないかと感じました。	女 性	70歳以上
37	80才にもなる高齢のため良く知りませんでした。子育て、介護支援に力を入れる事だと思います。	女 性	70歳以上
38	後期高齢者の仲間入りをして難聴や物忘れ（特に眼鏡をはずしぼっと置いた場所）等の厳しさを実感している日々です。当地区は高齢者の一人暮らしが大勢おられるので先ず親類、近所等の人達におはよう、元気ですかとの何かこげている臭いがするが大丈夫ですかとか声を掛けているが長い間の風習もあって少々難しいところもありますが出来るだけ助け合って行きたいと心掛けています。	男 性	70歳以上
39	80才を超えた人には無理なアンケートと思います。	女 性	70歳以上
40	職場の理解が必要だと思う	男 性	40歳～49歳
41	子供や若い人達が将来地元で働けるよう働ける職場をたくさん増やしてほしい。	女 性	40歳～49歳
42	各々の町や集落においても一定のまとめ役の人（女性）が必要と思います。年代別とか？集落の役員等も女性が役にについても構わないと思うけど、長年風習なのか？総代は男性とか？だんだん年寄りが増えた時耳をかたむける女性もいれば相談でもできるかも（一人暮らしとかの人）	女 性	60歳～69歳
43	民間企業等を見た場合まだまだ男女の平等性についてはおこなれていると思う。この地域独特のものが存在しているかもしれない。若い人たちは流されることなく自分を発揮してもらいたい。	男 性	60歳～69歳
44	村上市は他の地域と比較して、保守的で、男性（特に長男）を大切にしている考え方が強いところや経済が弱く、労働条件が悪いことが女性の成長を阻害しているように感じます。また、男女ともに教育に対する理解や関心が低いことも問題だと思います。（進学しないので、他県や他国の考え方に接する機会が少ない）	女 性	30歳～39歳

	自 由 意 見	属 性	
		性 別	年 齢 別
45	私には、必要がない事ばかりで協力は出来ませんでした。仕事も、子育ても終わり、母親の介護だけの生活、自分の休をまもるくらいの生活です。	女 性	60歳～69歳
46	男女共同もよいが女性が前に出すぎると良くないと思う。男性がかせぎ悪いから、女性が働かなければならない男性の給料上げられる様に取りくんだら、女性は家庭に専念できるのではないか。女性からすると古い考え方で、言われるだろうがその方が世の中うまくいくと思う。	男 性	50歳～59歳
47	男女で何もかも同じような役割を担うことが必ずしも良いこととは思いません。男だから得意なこと、女だから得意なことがあると感じています。一人一人が自分を知り、それを活かしながら生活すること、また同じように他者を知り、認めることがよりよい社会となっていくのではないのでしょうか。	女 性	30歳～39歳
48	近年女性は強くなってきたと思います。若い人達は男性女性の共同社会は進んでいると思います。老人世代が60%を占める時代はこの年代の人達の意識を変えて（ステキな人もいますが）楽しく前向きな社会・行政をお願いします。	男 性	60歳～69歳
49	年齢が高くなるにつれ女性を見下す男性が多いと感じる。そういう年齢の男性たちが議員として活動し女性に対し差別的な発言を繰り返し問題となっているが。そのような方々が社会の上にいる以上、何も変わらないのではないのでしょうか。	女 性	40歳～49歳
50	特記事項なし	男 性	40歳～49歳
51	私の年令76才で今迄生きてきた状況などからこの設問はどうか？と思えるものも多くありもっと若い人に解答してもらったらよかった。	女 性	70歳以上
52	孫は「ママ、ママ」とは言うが「パパ、パパ」とはあまり言わない。どちらが好きかと問えば迷わず「ママ」と言う。同じように「パパ、パパ」とは言うが「ジジ、ジジ」とは言わない。子育てに限っては女性に適正があるようだ。男女間には体方面でも精神面でも違いがあり「適正」というものがある。何でもかんでも平等がいいとは思わない。	男 性	70歳以上
53	本当の意味で男女共同参画を推進する為には基本的な教育レベルを底上げ（向上）させなければなりません。優秀な人材が居ないと何事も成就しませんから。	女 性	50歳～59歳
54	男女でおなじ仕事をしている場合、給料の差をなくすべきだと思う。すごく不公平だと思う。まだまだ男尊女卑が根強い社会で腹が立つ	女 性	30歳～39歳
55	テレビで報道されるいろいろな公の会議、会合の様子を見るたびに「どうしてこんな男ばかりなのだ」と思います。政治・経済の分野において特にもっともっと女性が進出しなければ今の社会は変わらない。平和が世界に訪れません。まずは村上市が率先して変えたらどうでしょう？市役所の課長さんの半分を助成にするとか…。とにかく男女比をできるだけ半々に人選してほしい。	男 性	60歳～69歳
56	子供が小さいうちは、できれば仕事をしないで家事や育児に専念したいですが、生活の為に働かなければいけません。毎日あわただしく生活しているので子供の学校生活の事などおろそかになってしまうので、もっと心にゆとりをもって生活できたらいいなと思います。児童手当でアップをして母親が働かなくても良くなる…など考えてほしいものです。	女 性	30歳～39歳
57	80才を過ぎた人間には答え様もない事が多くもっと若い人に連らくなさればと思いました。	女 性	70歳以上
58	婚活イベントを村上市で実施してほしいです。子供は宝です。	男 性	40歳～49歳
59	結婚しない、また子どもがいない（できない）事について周りの理解が得られないことが不満です。なので、「婚活」を推進しすぎないでほしい。子どもについても子育てばかり優遇する風潮にならないで欲しい	女 性	20歳～29歳
60	今は物資や食べ物は豊富だが心は貧しく成って来ていると思う。思いやりや助け合いに欠けて居る気がします。自分優先他はどうでも良い。特に年寄りには邪魔者扱いしている家庭が多く見られる	男 性	70歳以上
61	労働力確保の為に女性の社会進出を促す時風になっているが、目先の問題をその場しのぎで対処しているにすぎず、長期的には女性の社会進出により出生率の低下が起き将来的に我が国は衰退する。前時代的な意見かもしれないが女性が働かなくても良い経済向上や社会作りが必要であり、将来の為に出生率の大幅な向上の策が求められる。	男 性	20歳～29歳
62	アンケートの内容が多くてつかれました。	男 性	70歳以上
63	若者が働ける場所をつくってほしい。村上市は保育士の臨時が多い。若い人はほとんど他の市町村へ出て行っている！！	女 性	50歳～59歳
64	特にございません！	男 性	60歳～69歳
65	各種の行事等行っている様ですが参加率等がよく見えていない様です。	男 性	60歳～69歳
66	村上市はまだ（土族）などと平気で言う人が多すぎる。土農工商の考え方がまだ残っていると思う。自分は土族出身などと思っている事が村上市の人々の中に居ること自体が変である。（元服式）（鮭っ子）などは土族の人々の考え方であり、やめさせるべきだと思っています。（68才）	男 性	60歳～69歳



	自 由 意 見	属 性	
		性 別	年 齢 別
67	高齢者にこの質問は理解出来ない	女 性	70歳以上
68	実現可能なことから少しずつでも進めていってほしいと思います。古い考えにとらわれず、若い人の意見を取り入れてより良い村上市になるように期待しています。	女 性	40歳～49歳
69	男女平等といわれても、まだまだ家事育児の負担は女性の方が多いのではないでしょうか。しかし家事育児を経験したからこそ、生活に根づいた考え方や見方ができるのも女性です。これから村上市もリーダー的な存在になる小池百合子さんのような人が出てくれたら理想です。	女 性	50歳～59歳
70	名古屋市長の年取と同じすればある程度施策ができる。副業な感じで議員をやっているのならやめさせる。選挙の時りっこうほ者の年取も発表する。議員になるまでイッパン人だから、プライバシーの侵害とかいうけど議員になればすべてこひょうしなればいけない。新潟県知事、ほくりく新幹線、県内でとまるように話をするように。	男 性	40歳～49歳
71	男女・既婚・未婚・子供の有無に関係なく住み良い町にしたいです。	女 性	30歳～39歳
72	アンケートのあて名の者は現在89才、視力もほとんどなく、耳も遠いので市民課にTELした後、代理が記入しました。つい私の意見に○印をつけたようにも思います。いくら無作為の抽出とはいえ、せつかくのアンケートこれって無駄というかも、可能ならF3は5に○F5は1に○してもらえれば私の意見になります。	女 性	70歳以上
73	男女が同じことをする必要は全く無いと思います。できる必要も無いと思います。性差による差別は無くす必要はあるかもしれませんが区別は必要です。	女 性	60歳～69歳
74	質問と違いますが年金（国民）生活では入れる介護施設がありません。有ったとしても何年待ちとの事	女 性	70歳以上
75	今後は関心を持って市報等の記載物を読みたいと思っております。住み良い村上市になる為、少しでも関われば嬉しいです。	女 性	60歳～69歳
76	村上市男女共同参画社会を推進していく為にはまだまだわからない住民が多いし、知る機会も少ない。初めて知りましたという人もいると思う。具体的にわかりやすく住民に発信してほしい。	女 性	60歳～69歳
77	DVやセクハラ以外、職場のいじめについても相談窓口が必要だと思います。	女 性	50歳～59歳
78	家族の仲がうまくいっている時はバランスが取れて尊重しあえる関係ができていくけど、不仲になったらそれでギクシャクしてしまう。村上市、子供も県外に出て老いた。親を残し離れる地域についてのアンケート市民としての意識がうすすぎて、もう支え合うときを過ぎてしまった。	女 性	50歳～59歳
79	「村上市男女共同参画計画庁内推進委員会」設置とありますが、聞くところによると団体から代表者も参加しているそうですが選考基準と代表団体名、推進委員会名等を公表して下さい。20才以上の市民から2,000人を抽出とあるが年代層を20代～30代、40代～50代、60代～年齢層によって抽出人数を決めたらどうですか？（質問内容から考えられます）高齢者が多くては良い結果は得られません内容もあります。アンケートの結果を必ず公表してください。H24～H28までの取組み結果は？成果は？問題解決出来たものはあるか公表してください。アンケートで終わるだけでは意味がありません。アンケート→問題点さぐり→取組む点出す→解決の施策・方策・計画→問題解決を出さなければ無意味です。推進委員の構成メンバー庁内○名、団体○名と公表してください。年代別に答える方法が良いと思うものがあり、高齢者には答えるには難しいものがありました。この件に関しての予算はいくら計上していますが29年度の予算を公表して下さい。概要版の「計画進行管理では平成28年度に市民意識調査を実施し、その後の計画に反映させます」とありますがこのアンケートの表題には「第1次計画」が平成29年度で終了し、見直しをする為意識調査を実施するとあります。年度の違いは変ですネ。「概要版」が1年間違ったものだったのかそれとも28年度に実施の調査を怠ったのかははっきりして下さい。	女 性	70歳以上
80	忘れ物や、おこりっぽくならないように。いつもにこにこ、していきたい。79才です。	女 性	70歳以上
81	私は自衛隊を満期退職した者ですが、職務上該当するところに回答できないところが殆んどでした。俸夫婦も自衛隊なので同じ状況です。（病後で字を書く事が出来なくなりました。）	無回答	70歳以上
82	職場における女性の地位や賃金が低い企業が村上市は多いと思います。	男 性	50歳～59歳
83	若者達の働く場を作って下さい。いくら良い話しや計画があつたとしても生活と時間に余裕がなければ出席出来ません。村上に働く場を…	女 性	70歳以上
84	がんばって下さい。	女 性	60歳～69歳
85	男性女性が互いに思いやり協力し合い、知恵を出し合い生きる力を養い、仕事や結婚生活、子育て、介護等が不安無く出来る社会になったら素晴らしいと思います。	女 性	70歳以上
86	今でも家庭内には古いしきたり等がある。まずは家庭内改革しないと…。年代別（例）50～60代、40～50代と分けて集まれる場があればいいと思う	女 性	60歳～69歳
87	個人の差は男女を問わずあると思う。男女を問わず得意な分野を分担し協力すれば良い。有能な人材がリーダーになれば良い。時代は変わりつつある。（若い世代へのパトタッチが必要不可欠）余計な公費をさくべきではない。	女 性	60歳～69歳

	自 由 意 見	属 性	
		性 別	年 齢 別
88	大変良い事だと思う。力を合わせて話し合っ良い町を作って行く事を願う	男 性	50歳～59歳
89	女性の多い職場（会社）であったとしても、結局は、役職に就くのはわずかな男性社員になることが多い。たとえ仕事ができない能力の低い男性でも女性が多い会社に就職すれば、能力のある女性よりも出世し、女性社員をパワハラしている姿を見ていると村上の企業に将来は無いとさえ思ってしまう。	女 性	40歳～49歳
90	参加しやすい環境づくりと目的に対しての興味づくりが協働、男女共同参画につながるのではないかと	男 性	60歳～69歳
91	平等であることは当然だが女性らしさ男性らしさ女性だから男性だからあることも大事にした方がいいと思う。子供がいる女性には支援があるけれど、ない人にも配慮がほしい。子供がいるというだけで優先されるのはいかなるものか？なら躰をきちんとしてほしい。	女 性	40歳～49歳
92	後期高齢者の意見を聞いてどうするんだろうと思いました。若い方々の考えを一人でも多く聞いてほしかったです。	女 性	70歳以上
93	さらなる人権の尊重と法治国家の尊さを感じました。私、高齢であるのでおいては子に從えの主義であり真に平和主義に健康に生存しています。共同参画の要望に答えたか疑問ですが書類送付します。市民課に敬意を表します。	男 性	70歳以上
94	同じ人間として、性別が違うというだけで不遇を受けるというのは、理不尽なことだと思います。しかし、このアンケートでは「平等」というものが過剰化され、「家庭内において決めるべきこと」すらも「共同参画」という「鍋」の中に入れてしまっており、自分の中にある具体的な意見を述べる事ができませんでした。必要なのは、「なぜそれが必要なのか」「どこにおいて必要なのか」「それをどこへ向けて方向づけるのか」だと思います。	男 性	20歳～29歳

**平成29年度  
男女共同参画についての市民意識調査  
報告書**

平成30年3月発行

村上市 市民課 生活人権室

〒958-8501 新潟県村上市三之町1番1号

TEL 0254-53-2111 (代表)

FAX 0254-53-2541 (直通)

E-mail [shimin-ji@city.murakami.lg.jp](mailto:shimin-ji@city.murakami.lg.jp)

調査機関：株式会社ITスクエア